

令和 2 年 6 月 12 日現在

機関番号：14301

研究種目：新学術領域研究(研究領域提案型)

研究期間：2015～2019

課題番号：15H05874

研究課題名(和文) ヒト脳発振現象の直接記録

研究課題名(英文) recording and analysis of neuronal oscillation in humans

研究代表者

池田 昭夫(Ikeda, Akio)

京都大学・医学研究科・特定教授

研究者番号：90212761

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 85,500,000円

研究成果の概要(和文)：難治てんかん患者の脳内脳波記録への数理モデルの適用や、手術病理標本の解析、動物実験などを通じ、てんかん焦点の脳波バイオマーカーとしてのActive ictal DC shiftsの存在を確立し、てんかん発作における、神経細胞、能動的グリア、受動的グリアの3成分、特に前2者の重要性を明らかにした。また、てんかん発作前状態ではred slow(低周波数帯域活動と高周波律動の共起)がactive DC電位の領域に一致することを明らかにした。一方で、頭皮上脳波での記録の実証により、Active ictal DC shifts、Red slowのバイオマーカーとしての汎用性を明らかにした。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究で明らかにされたActive ictal DC shiftsやRed slowなどの新規のてんかん焦点の生理バイオマーカーを臨床に応用することで、難治てんかん患者に対するてんかん焦点切除術に際して、術前のてんかん焦点同定に役立ち、手術成績の向上に寄与しうる。また、本研究を通じ明らかにされたグリア細胞のてんかん発作における重要性から、グリア細胞が今後の抗てんかん薬の創薬のターゲットになりうることを示された。

研究成果の概要(英文)：We developed the concept of "Active DC shifts" as the Electroencephalogram (EEG) biomarker of epileptic focus through the application of mathematical model on EEG, multi-institutional analysis of surgical specimen, or animal model. We revealed the importance of neuron and glial cells in epileptic seizure generation. We clarified that the "red slow", the co-occurrence of slow wave and high frequency oscillation, was observed in the same areas where active DC shifts were recorded. On the other hand, we showed the versatility of these biomarker (active DC shifts and red slow) for the scalp-recorded electroencephalogram.

研究分野：てんかん学、神経生理学

キーワード：Active DC shifts Red slow

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

ヒト脳には、様々な発振現象や共振現象がみられる。ミクロナレベルではニューロン内でのカルシウムイオンや膜電位、ネットワークレベルでは活動電位や局所フィールド電位、マクロなレベルでは頭蓋上から記録される脳波などにこのような発振現象が観察される。生体は、これらの発振現象をうまく制御することにより正常な機能を果たしていると考えられる。

てんかんなどの様々な神経疾患において、正常な発振現象の破綻や、異常な発振現象の出現が知られている。また、発振現象への介入・制御が病気の治療につながることで、パーキンソン病における脳深部刺激療法などで示されてきた。

このような生体における様々な発振現象を探索することが、神経疾患の病態理解や、発振現象の基盤にある生体の性質の理解、および新たな治療法開発に有用であると考えられる。

2. 研究の目的

本研究では、ヒト(患者)の脳活動を直接(侵襲的)記録し、正常・てんかん病態下の多次元・多階層の新規発振現象の探索ならびに発振現象の数理的理解による異常発振の介入と制御機構の解明を目的とした。

具体的には、以下に述べる。てんかん脳波における Active ictal DC shifts、red slow の概念の確立を目指し、頭皮上脳波での active ictal DC shifts、red slow、HFO 記録の実証と時定数設定の制限因子を明らかにしようとした。

高次脳機能を担う脳内ネットワークの機能的結合様式、およびてんかん病態下のネットワークレベルの変容について解明をめざした。

定間隔の刺激に対するヒト脳の背景活動を検証した。

有機リンによるラットの慢性てんかん発症モデル作成を試みた。

小児てんかんにおける高周波振動(HFO)の、てんかん性脳症における病態への関与の解明を試みた。

定位頭蓋内電極によるてんかん原性領域検索、脳機能評価法の導入及び、言語・記憶機能の周術期評価法開発を試みた。

3. 研究の方法

難治てんかん患者の脳内電極記録脳波(硬膜下電極および深部電極)・頭皮上脳波記録を行った。同領域内の数理グループ(B班)と共同し、得られたてんかん発作時の脳波データに対して、数理モデルの適用を行い、てんかん発作のモデル化を進めた。てんかん焦点の病理学的検索(アストロサイトの Kir4.1 チャンネル発現など)を多施設共同研究として行った。げっ歯類の動物てんかんモデル(急性ピロカルピン発作モデル、および慢性発作モデル)を作成し、てんかん発作時の脳波記録を行った。高次脳機能の周術期評価の確立や、高次脳機能を担う脳内ネットワークの機能的結合様式の解明のため、脳内電極留置中の難治てんかん患者において、言語などの高次脳機能の評価課題遂行中の脳波や、皮質・皮質間誘発電位を記録・解析した。

4. 研究成果

難治てんかん患者での active DC 電位の発生源が真のてんかん焦点を反映することを多施設共同研究での手術結果との相関から明らかにできた。active DC 電位の発生源でのみ切除標本の病理学的検索でアストロサイトの Kir4.1 チャンネルの選択的低下を実証できた。急性のピロカルピン発作モデルとその慢性期の慢性モデルの差異から、HFO に先行する active DC 電位を慢性動物モデルで証明できた。また急性発作では HFO に後続する passive DC 電位を証明できた。B03 班(津田班)・A05 班(行木)との共同研究は「active DC 電位を HFO の関連の時系列的作動性を明らかにした」。B03(北野班)と「transfer entropy の解析で明瞭に ictal DC shifts が ictal HFO に先行した」。A05 班(上田)とは「数理モデルから active DC 電位の発現機構と電気的印可のモデルからその治療的方策を検討できた」。以上から、てんかん発作では、神経細胞、能動的グリア、受動的グリアの3成分特に前2者の重要性が明らかにされた。

発作前状態では red slow (slow と HFO の共起) が active DC 電位の領域に一致することを難治てんかん患者の脳内電極からの記録で明らかにした。B03 班(津田班)・A05 班(行木)との共同研究では、red slow の存在、発作への遷移過程を数理解析から明らかにした。頭皮上脳波での記録の実証と、時定数 2 秒での有用性を明らかにして、前述研究 1, 2 の結果の汎用性と拡充を明らかにした。

ヒューマンネーチャーの礎の高次機能や睡眠、そしててんかん病態を、マクロスケールのネットワークレベルの共振現象で明らかにした。同時に皮質の興奮・抑制バランスの破綻がかかわるてんかん病態を外的刺激介入により改善できる可能性を、neuromodulation による治療開発の可能性が示唆された。

誘発反応における加算波形の刺激前一定間隔を基準するのみでなく、記時時間全体を基準とする新しい方法を確立した。

小児期の良性部分(自然終息性焦点)てんかんをはじめとする睡眠中に棘波が増強する一連の病型において、睡眠時持続性棘徐波を示すてんかん性では特に HFO が強く年齢依存性に出現し、認知・行動の異常に関与することが示された。

定位頭蓋内電極留置を 4 例の患者に対して実施し本手法が適する症例の特徴を抽出し、学会や

論文で発表した。意味処理に関連すると考えられる前頭葉及び側頭葉の結合性について詳細に評価し論文に掲載した。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計193件（うち査読付論文 150件 / うち国際共著 27件 / うちオープンアクセス 51件）

1. 著者名 Masahiro Nagano, Katsuya Kobayashi, Mayumi Yamada-Otani, Akira Kuzuya, Riki Matsumoto, Jiro Oita, Makoto Yoneda, Akio Ikeda, Ryosuke Takahashi	4. 巻 58
2. 論文標題 Hashimoto's Encephalopathy Presenting with Smoldering Limbic Encephalitis.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Internal Medicine	6. 最初と最後の頁 1167-1172
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2169/internalmedicine.1289-18	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 Kiyohide Usami, Anna Korzeniewska, Riki Matsumoto, Katsuya Kobayashi, Takefumi Hitomi, Masao Matsuhashi, Takeharu Kunieda, Nobuhiro Mikuni, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Susumu Miyamoto, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda, Nathan E. Crone	4. 巻 Epub ahead of print
2. 論文標題 The neural tides of sleep and consciousness revealed by single-pulse electrical brain stimulation	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Sleep	6. 最初と最後の頁 1-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/sleep/zsz050	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する
1. 著者名 Shuichiro Neshige, Katsuya Kobayashi, Masao Matsuhashi, Takefumi Hitomi, Akihiro Shimotake, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Takeharu Kunieda, Riki Matsumoto, Susumu Miyamoto, Ryosuke Takahashi, Hirofumi Maruyama, Akio Ikeda	4. 巻 60
2. 論文標題 A rational, multispectral mapping algorithm for primary motorcortex: A primary step before cortical stimulation	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Epilepsia	6. 最初と最後の頁 547-559
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/epi.14669	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Takefumi Hitomi, Morito Inouchi, Hirofumi Takeyama, Katsuya Kobayashi, Shamima Sultana, Takeshi Inoue, Yuko Nakayama, Akihiro Shimotake, Masao Matsuhashi, Riki Matsumoto, Kazuo Chin, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda	4. 巻 11
2. 論文標題 Sleep is associated with reduction of epileptiform discharges in benign adult familial myoclonus epilepsy	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Epilepsy & Behavior Case Reports	6. 最初と最後の頁 18-21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ebcr.2018.09.010	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takeshi Inoue, Morito Inouchi, Masao Matsuhashi, Riki Matsumoto, Takefumi Hitomi, Masako Daifu-Kobayashi, Katsuya Kobayashi, Mitsuyoshi Nakatani, Kyoko Kanazawa, Akihiro Shimotake, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Takeharu Kunieda, Susumu Miyamoto, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda	4. 巻 36
2. 論文標題 Interictal Slow and High-Frequency Oscillations: Is it an Epileptic Slow or Red Slow?	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Clinical Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 166-170
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/WNP.0000000000000527	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shuichiro Neshige, Riki Matsumoto, Morito Inouchi, Katsuya Kobayashi, Akihiro Shimotake, Hirofumi Maruyama, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda	4. 巻 58
2. 論文標題 Absence of an Autonomic Sign Assists in the Diagnosis of Extratemporal Lobe Epilepsy Manifesting Generalized Convulsion with Retained Awareness	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Internal Medicine	6. 最初と最後の頁 1151-1155
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2169/internalmedicine.1740-18	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Katsuya Kobayashi, Takefumi Hitomi, Riki Matsumoto, Masako Watanabe, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda	4. 巻 61
2. 論文標題 Nationwide survey in Japan endorsed diagnostic criteria of benign adultfamilial myoclonus epilepsy	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Seizure	6. 最初と最後の頁 14-22
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.seizure.2018.07.014	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shuichiro Neshige, Masao Matsuhashi, Katsuya Kobayashi, Takeyo Sakurai, Akihiro Shimotake, Takefumi Hitomi, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Takeharu Kunieda, Riki Matsumoto, Ryosuke Takahashi, Susumu Miyamoto, Hirofumi Maruyama, Masayasu Matsumoto, Akio Ikeda	4. 巻 129
2. 論文標題 Multi-component intrinsic brain activities as a safe alternative to cortical stimulation for sensori-motor mapping in neurosurgery	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Clinical Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 2038-2048
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2018.06.007	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Jing-Jane Tsai, Akio Ikeda, Seung Bong Hong, Surachai Likasitwattanakul, Amitabh Dash	4. 巻 60 suppl1
2. 論文標題 Efficacy, safety, and tolerability of perampanel in Asian andnon Asian patients with epilepsy	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Epilepsia	6. 最初と最後の頁 37-46
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/epi.14642	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Hajime Yoshimura, Riki Matsumoto, Hiroyuki Ueda, Koichi Ariyoshi, Akiolkeda, Ryosuke Takahashi, Nobuo Kohara	4. 巻 61
2. 論文標題 Status epilepticus in the elderly: Comparison with younger adults in a comprehensive community hospital	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Seizure	6. 最初と最後の頁 23-29
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.seizure.2018.07.013.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Masaya Togo, Takefumi Hitomi, Tomohiko Murai, Hajime Yoshimura, Masao Matsuhashi, Riki Matsumoto, Michi Kawamoto, Nobuo Kohara, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda	4. 巻 35
2. 論文標題 Short " Infralow " Activity (SISA) With Burst Suppression in Acute Anoxic Encephalopathy: A Rare, Specific Ominous Sign With Acute Posthypoxic Myoclonus or Acute Symptomatic Seizures	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Clinical Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 496-503
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/WNP.0000000000000507	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takahiro Mukai, Masato Kinboshi, Yuki Nagao, Saki Shimizu, Asuka Ono, Yoshihisa Sakagami, Aoi Okuda, Megumi Fujimoto, Hidefumi Ito, Akio Ikeda, Yukihiko Ohno	4. 巻 9
2. 論文標題 Antiepileptic Drugs Elevate Astrocytic Kir4.1 Expression in the Rat Limbic Region.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Frontiers in Pharmacology	6. 最初と最後の頁 845
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fphar.2018.00845	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Byungin Lee for the Asian Status Epilepticus Survey Group	4. 巻 59 suppl2
2. 論文標題 Treatment gap for convulsive status epilepticus in resource poorcountries	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Epilepsia	6. 最初と最後の頁 135-139
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/epi.14484	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Shinako Inaida, Kousuke Kanemoto, Shiro Tanaka, Yoko Gouji, Tomohiro Oshima, Riki Matsumoto, Akio Ikeda, Koji Kawakami	4. 巻 10
2. 論文標題 Psychogenic non-epileptic seizures in Japan: Trends in prevalence, delay in diagnosis, and frequency of hospital visits	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Epilepsy & Seizure	6. 最初と最後の頁 73-86
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3805/eands.10.73	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tomoyuki Fumuro, Masao Matsushashi, Riki Matsumoto, Kiyohide Usami, Akihiro Shimotake, Takeharu Kunieda, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Ryosuke Takahashi, Susumu Miyamoto, Akio Ikeda	4. 巻 129
2. 論文標題 Do scalp-recorded slow potentials during neuro-feedback training reflect the cortical activity?	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Clinical Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 1884-1890
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Chris G. Dulla, Damir Janigro, Premysl Jiruska, Joseph V. Raimondo, Akio Ikeda, Chou-Ching K. Lin, Howard P. Goodkin, Aristeia S. Galanopoulou, Christophe Bernard, Marco de Curtis	4. 巻 3
2. 論文標題 How do we use in vitro models to understand epileptiform and ictal activity? A report of the TASK1-WG4 group of the ILAE/AES Joint Translational Task Force	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Epilepsia Open	6. 最初と最後の頁 460-473
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/epi4.12277	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Ozlem Akman, Yogendra H. Raol, Stephane Auvin, Miguel A. Cortez, Hana Kubova, Marco de Curtis, Akio Ikeda, F. Edward Dudek, Aristeia S. Galanopoulou	4. 巻 3
2. 論文標題 Methodologic recommendations and possible interpretations of video-EEG recordings in immature rodents used as experimental controls: A TASK1-WG2 report of the ILAE/AES Joint Translational Task Force	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Epilepsia Open	6. 最初と最後の頁 437-459
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/epi4.12262	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Aya Kanno, Rei Enatsu, Satoshi Ookawa, Shouhei Noshiro, Shunya Ohtaki, Kengo Suzuki, Yuto Suzuki, Rintaro Yokoyama, Satoko Ochi, Yukinori Akiyama, Takeshi Mikami, Takuro Nakae, Takayuki Kikuchi, Takeharu Kunieda, Susumu Miyamoto, Riki Matsumoto, Nobuhiro Mikuni	4. 巻 120
2. 論文標題 Interhemispheric Asymmetry of Network Connecting Between Frontal and Temporoparietal Cortices: A Corticocortical-Evoked Potential Study	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 World Neurosurgery	6. 最初と最後の頁 e628-e636
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.wneu.2018.08.137	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kiyohide Usami, Griffin W Milsap, Anna Korzeniewska, Maxwell J Collard, Yujing Wang, Ronald P Lesser, William S Anderson, Nathan E Crone	4. 巻 29
2. 論文標題 Cortical Responses to Input From Distant Areas are Modulated by Local Spontaneous Alpha/Beta Oscillations	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Cerebral Cortex	6. 最初と最後の頁 777-787
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/cercor/bhx361	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Hidemasa Matsuo, Tomohiro Handa, Michiko Tsuchiya, Takeshi Kubo, Akihiko Yoshizawa, Yuko Nakayama, Shuichi Shiga, Takefumi Hitomi, Souichi Adachi, Hiroshi Date, Toyohiro Hirai, Satoshi Ichiyama	4. 巻 57
2. 論文標題 Progressive Restrictive Ventilatory Impairment in Idiopathic Diffuse Pulmonary Ossification	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Internal Medicine	6. 最初と最後の頁 1631-1636
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2169/internalmedicine.9433-17	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 MasayaTogo, Masako Kinoshita	4. 巻 130
2. 論文標題 Hepatic encephalopathy revisited: Beyond the triphasic waves	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Clinical Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 408-409
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2018.12.003	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hiroyuki Ishiura, Takefumi Hitomi, Akio Ikeda, Shoji Tsuji et al, 他63名	4. 巻 50
2. 論文標題 Expansions of intronic TTTCa and TTTTA repeats in benign adult familial myoclonic epilepsy.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 nature genetics	6. 最初と最後の頁 581-590
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41588-018-0067-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Masato Kinboshi, Saki Shimizu, Tomoji Mashimo, Tadao Serikawa, Hidefumi Ito, Akio Ikeda, Ryoosuke Takahashi, Yukihiro Ohno	4. 巻 20
2. 論文標題 Down-Regulation of Astrocytic Kir4.1 Channels during the Audiogenic Epileptogenesis in Leucine-Rich Glioma-Inactivated 1 (Lgi1) Mutant Rats.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 International Journal of Molecular Sciences	6. 最初と最後の頁 001-015
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijms20051013.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takayuki Kikuchi, Yu Abekura, Daisuke Arai, Hiroyuki Ikeda, Takeshi Funaki, Akira Ishii, Kazumichi Yoshida, Yasushi Takagi, Susumu Miyamoto	4. 巻 0
2. 論文標題 A Treatment Strategy for Basilar Bifurcation Aneurysm Associated with Moyamoya Disease: A Case Successfully Treated by Combined STA-MCA Anastomosis and Stent-assisted Coil Embolization.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Neuroendovascular Therapy	6. 最初と最後の頁 001-006
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5797/jnet.cr.2017-0092	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 稲田拓, 菊池隆幸, 小林勝哉, 中江卓郎, 西田誠, 高橋由紀, 小林環, 永井靖識, 松本直樹, 下竹昭寛, 山尾幸広, 吉田和道, 國枝武治, 松本理器, 池田昭夫, 宮本享	4. 巻 46
2. 論文標題 アンカーボルトを用いた定位的深部電極挿入術 (stereotactic EEG insertion) の初期経験?課題の抽出と挿入精度向上の検討.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 脳神経外科	6. 最初と最後の頁 917-924
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11477/mf.1436203839	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 梶川駿介, 小林勝哉, 宇佐美清英, 松本理器, 池田昭夫, 高橋良輔,	4. 巻 58
2. 論文標題 前知謬 (promnesia) を呈した部分てんかん患者 4 例の特徴と特異度.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 臨床神経学	6. 最初と最後の頁 513-516
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5692/clinicalneurool.cn-001149	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 坂本光弘, 松本理器, 十川純平, 端祐一郎, 武山博文, 小林勝哉, 下竹昭寛, 近藤誉之, 高橋良輔, 池田昭夫,	4. 巻 58
2. 論文標題 自己免疫性てんかんにおける診断アルゴリズムの提唱とその有用性の予備的検討.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 臨床神経学	6. 最初と最後の頁 609-616
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5692/clinicalneurool.cn-001180	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大井由貴, 小林勝哉, 人見健文, 松本理器, 池田昭夫, 高橋良輔,	4. 巻 58
2. 論文標題 皮質ミオクローヌスと歩行恐怖症に低容量ペランパネルが著効したUnverricht-Lundborg 病の 1 例.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 臨床神経学	6. 最初と最後の頁 622-625
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5692/clinicalneurool.cn-001179	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田邊 康人, 平 拓実, 下竹 昭寛, 井上岳司, 栗屋 智就, 加藤 竹雄, 葛谷 聡, 池田昭夫, 高橋良輔	4. 巻 59
2. 論文標題 思春期以降もてんかん発作と発作性運動誘発性舞蹈アテトーゼが併存したPRRT2 (proline-rich transmembrane protein 2) 遺伝子変異の一例,	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 臨床神経学	6. 最初と最後の頁 144-148
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5692/clinicalneurology.001228	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 谷岡洸介, 人見健文, 佐藤和明, 音成秀一郎, 塚田剛史, 藤井大樹, 井上岳司, 吉村元, 小林勝哉, 下竹昭寛, 松本理器, 高橋良輔, 池田昭夫,	4. 巻 35
2. 論文標題 てんかん病診連携システムから見えるてんかん診療のニーズ～大学病院てんかん専門外来でのサンプル調査～	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 てんかん研究	6. 最初と最後の頁 684-692
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3805/jjes.35.684	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 松本理器, 下竹昭寛, 山尾幸広, 菊池隆幸, 國枝武治.	4. 巻 34
2. 論文標題 てんかんの治療戦略: てんかん外科における言語機能温存へ向けた試み.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 神経心理学	6. 最初と最後の頁 124-134
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.20584/neuropsychology.17027	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kobayashi K, Ohuchi Y, Shibata T, Hanaoka Y, Akiyama M, Oka M, Endoh F, Akiyama T	4. 巻 40
2. 論文標題 Detection of fast (40-150 Hz) oscillations from the ictal scalp EEG data of myoclonic seizures in pediatric patients	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Brain Dev	6. 最初と最後の頁 397-405
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.braindev.2018.01.004.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Inoue T, Akiyama T, Hanaoka Y, Oka M, Kobayashi K	4. 巻 in press
2. 論文標題 A case of vitamin B6-responsive West syndrome caused by severe traumatic brain injury	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Epilepsy & Seizure	6. 最初と最後の頁 0
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 1882-5567	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 三村 直哉、井上 岳司、下竹 昭寛、松本 理器、池田 昭夫、高橋 良輔	4. 巻 57
2. 論文標題 摂食以外に視覚刺激でも発作が誘発されたeating epilepsyの1例	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 臨床神経学	6. 最初と最後の頁 430-435
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5692/clinicalneuroi.cn-001001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小林 勝哉、松本 理器、松橋 眞生、中江 卓郎、宇佐美 清英、山尾 幸宏、菊池 隆幸、吉田 和道、國枝 武治、池田 昭夫	4. 巻 45
2. 論文標題 CCEPのオフライン解析と解釈 特集「CCEPのskills workshop : clinical practice parameter (臨床実践指標) を目指して」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 臨床神経生理学	6. 最初と最後の頁 91-101
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11422/jscn.45.91	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 月田 和人、下竹 昭寛、中谷 光良、高橋 幸利、池田 昭夫、高橋 良輔	4. 巻 57
2. 論文標題 辺縁系脳炎で発症した神経梅毒の1例	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 臨床神経学	6. 最初と最後の頁 37-40
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5692/clinicalneuroi.cn-000936	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 谷岡 洸介、人見 健文、松本 理器、高橋 良輔、飛松 省三、犬塚 貴、吉良 潤一、楠 進、池田 昭夫	4. 巻 57
2. 論文標題 日本神経学会における脳波判読セミナー受講者のアンケート調査：脳波教育の過去5年間の実態，ニーズおよびその変遷	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 臨床神経学	6. 最初と最後の頁 110-117
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5692/clinicalneuroi.cn-000990	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 三橋 賢大、人見 健文、山見 博、海道 利実、池田 昭夫、高橋 良輔	4. 巻 57
2. 論文標題 深昏睡患者における脳波検査での光刺激による網膜電位と脳幹反射との鑑別の重要性	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 臨床神経学	6. 最初と最後の頁 457-460
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5692/clinicalneuroi.cn-001049	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中谷光良、井内盛遠、大封昌子、十川純平、村井智彦、橋本聡華、稲次基希、白水洋史、金澤恭子、渡辺裕貴、臼井直敬、井上有史、前原健寿、池田昭夫	4. 巻 35(1)
2. 論文標題 難治部分てんかん患者の焦点検索における、発作時DC電位・HF0の記録および解析の標準化案	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 てんかん研究	6. 最初と最後の頁 3-13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3805/jjes.35.3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 井内盛遠、中谷光良、池田昭夫	4. 巻 45
2. 論文標題 Wide band EEGの有用性 (slow)	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 臨床神経生理学	6. 最初と最後の頁 520-524
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11422/jscn.45.520	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 谷岡洸介、人見健文、佐藤和明、音成秀一郎、塚田剛史、藤井大樹、井上岳司、吉村元、小林勝哉、下竹昭寛、松本理器、高橋良輔、池田昭夫	4. 巻 35
2. 論文標題 てんかん病診連携システムから見えるてんかん診療のニーズ～大学病院てんかん専門外来でのサンプル調査～	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 てんかん研究	6. 最初と最後の頁 684-692
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3805/jjes.35.684	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 松本理器, 下竹昭寛, 山尾幸広, 菊池隆幸, 國枝武治 .	4. 巻 -
2. 論文標題 てんかんの治療戦略：てんかん外科における言語機能温存へ向けた試み .	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 神経心理学	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 村井智彦, 人見健文、竹島多賀夫、池田昭夫	4. 巻 46(1)
2. 論文標題 てんかん発作と片頭痛の共通点と相違点・臨床神経生理学の新しい視点から .	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 臨床神経生理学	6. 最初と最後の頁 25-32
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11422/jscn.46.25	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Bayasgalan B, Matsubashi M, Fumuro T, Nohira H, Nakano N, Iida K, Katagiri M, Shimotake A, Matsumoto R, Kikuchi T, Kunieda T, Kato A, Takahashi R, Ikeda A	4. 巻 128
2. 論文標題 We could predict good responders to vagus nerve stimulation: A surrogate marker by slow cortical potential shift.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Clinical Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 1583-1589
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2017.05.019	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kinoshita H, Maki T, Hata M, Nakayama Y, Yamashita H, Sawamoto N, Ikeda A, Takahashi R	4. 巻 375
2. 論文標題 Convergence paralysis caused by a localized cerebral infarction affecting the white matter underlying the right frontal eye field.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of the Neurological Sciences.	6. 最初と最後の頁 94-96
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jns.2017.01.054	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kobayashi K, Matsumoto R, Matsuhashi M, Usami K, Shimotake A, Kunieda T, Kikuchi T, Yoshida K, Mikuni N, Miyamoto S, Fukuyama H, Takahashi R, Ikeda A	4. 巻 128
2. 論文標題 High frequency activity overriding cortico-cortical evoked potentials reflects altered excitability in the human epileptic focus.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Clinical Neurophysiology.	6. 最初と最後の頁 1673-1681
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2017.06.249.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ookawa S, Enatsu R, Kanno A, Ochi S, Akiyama Y, Kobayashi T, Yamao Y, Kikuchi T, Matsumoto R, Kunieda T, Mikuni N	4. 巻 107
2. 論文標題 Frontal Fibers Connecting the Superior Frontal Gyrus to Broca Area: A Corticocortical Evoked Potential Study.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 World Neurosurgery.	6. 最初と最後の頁 239-248
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.wneu.2017.07.166.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shibata S, Matsuhashi M, Kunieda T, Yamao Y, Inano R, Kikuchi T, Imamura H, Takaya S, Matsumoto R, Ikeda A, Takahashi R, Mima T, Fukuyama H, Mikuni N, Miyamoto S	4. 巻 128
2. 論文標題 Magnetoencephalography with temporal spread imaging to visualize propagation of epileptic activity.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Clinical Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 734-743
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2017.01.010.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takeuchi M, Yano I, Ito S, Sugimoto M, Yamamoto S, Yonezawa A, Ikeda A, Matsubara K	4. 巻 39
2. 論文標題 Population Pharmacokinetics of Topiramate in Japanese Pediatric and Adult Patients With Epilepsy Using Routinely Monitored Data.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Therapeutic Drug Monitoring.	6. 最初と最後の頁 124-131
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/FTD.0000000000000383	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tan G, Kondo T, Murakami N, Imamura K, Enami T, Tsukita K, Shibukawa R, Funayama M, Matsumoto R, Ikeda A, Takahashi R	4. 巻 24
2. 論文標題 Induced pluripotent stem cells derived from an autosomal dominant lateral temporal epilepsy (ADLTE) patient carrying S473L mutation in leucine-rich glioma inactivated 1 (LGI1).	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Stem Cell Research.	6. 最初と最後の頁 12-15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.scr.2017.07.030	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Usami K, Matsumoto R, Kobayashi K, Hitomi T, Matsuhashi M, Shimotake A, Kikuchi T, Yoshida K, Kunieda T, Mikuni N, Miyamoto S, Takahashi R, Ikeda A	4. 巻 16
2. 論文標題 Phasic REM Transiently Approaches Wakefulness in the Human Cortex- a single-Pulse Electrical Stimulation Study.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Sleep.	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/sleep/zsx077.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamao Y, Suzuki K, Kunieda T, Matsumoto R, Arakawa Y, Nakae T, Nishida S, Inano R, Shibata S, Shimotake A, Kikuchi T, Sawamoto N, Mikuni N, Ikeda A, Fukuyama H, Miyamoto S	4. 巻 38
2. 論文標題 Clinical impact of intraoperative CCEP monitoring in evaluating the dorsal language white matter pathway.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Human Brain Mapping.	6. 最初と最後の頁 1977-1991
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) doi: 10.1002/hbm.23498	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Kobayashi K, Endoh F, Agari T, Akiyama T, Akiyama M, Hayashi H, Shibata T, Hanaoka Y, Oka M, Yoshinaga H, Date I	4. 巻 2(2)
2. 論文標題 Complex observation of scalp fast (40-150 Hz) oscillations in West syndrome and related disorders with structural brain pathology	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Epilepsia Open	6. 最初と最後の頁 260-266
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/epi4.12043	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Frauscher B, Bartolomei F, Kobayashi K, Cimbalnik J, van 't Klooster MA, Rampp S, Otsubo H, Hölner Y, Wu JY, Asano E, Engel J, Jr, Kahane P, Jacobs J, Gotman J	4. 巻 58(8)
2. 論文標題 High-frequency oscillations (HFOs): the state of clinical research	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Epilepsia	6. 最初と最後の頁 1316-1329
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/epi.13829	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Ueda J, Kawamoto M, Hikiami R, Ishii J, Yoshimura H, Matsumoto R, Kohara N	4. 巻 19(4)
2. 論文標題 Serial EEG findings in anti-NMDA receptor 1 encephalitis: 2 correlation between clinical course and EEG	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Epileptic Disorders	6. 最初と最後の頁 465-470
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1684/epd.2017.0942.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Fujiwara Y, Matsumoto R, Nakae T, Usami K, Matsuhashi M, Kikuchi T, Yoshida K, Kunieda T, Miyamoto S, Mima T, Ikeda A, Osu R.	4. 巻 15;147
2. 論文標題 Neural pattern similarity between contra- and ipsilateral movements in high-frequency band of human electrocorticograms.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Neuroimage	6. 最初と最後の頁 302-313
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroimage.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kawai K, Tanaka T, Baba H, Bunker M, Ikeda A, Inoue Y, Kameyama S, Kaneko S, Kato A, Nozawa T, Maruoka, Osawa M, Otsuki T, Tsuji S, Watanabe E, Yamamoto T	4. 巻 9(3)
2. 論文標題 Japanese registry and outcome of vagus nerve stimulation for drug-resistant epilepsy: A prospective, observational, all-comers registry of first three years.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Epileptic Disorders	6. 最初と最後の頁 327-338
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1684/epd.2017.0929.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Enatsu R, Kanno A, Ookawa S, Ochi S, Ishiai S, Nagamine T, Mikuni N.	4. 巻 106
2. 論文標題 Distribution and Network of Basal Temporal Language Areas: A Study of the Combination of Electric Cortical Stimulation and Diffusion Tensor Imaging.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 World Neurosurgery	6. 最初と最後の頁 1-8
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.wneu.2017.06.116	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Inoue, A. Ohnishi, T. Kohno, S. Ohue, S. Iwata, S. Matsumoto, S. Nishikawa, M, Ozaki, S. Nakamura, Y. Mizuno, Y. Kitazawa, R. Kunieda, T.	4. 巻 41(2)
2. 論文標題 Significance of human chorionic gonadotropin as a predictor of resistance to standard chemo-radiotherapy for pure germinoma	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Neurosurgical Review	6. 最初と最後の頁 557-565
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10143-017-0891-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Matsumoto R, Kunieda T, Nair D.	4. 巻 44
2. 論文標題 Single pulse electrical stimulation to probe functional and pathological connectivity in epilepsy	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Seizure	6. 最初と最後の頁 27-36
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.seizure.2016.11.003.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Iha HA, Kunisawa N, Shimizu S, Tokudome K, Mukai T, Kinboshi M, Ikeda A, Ito H, Serikawa T, Ohno Y	4. 巻 8
2. 論文標題 Nicotine elicits convulsive seizures by activating amygdala neurons via 7 nicotinic acetylcholine receptors	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Frontiers in Pharmacology	6. 最初と最後の頁 1-11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fphar.2017.00057	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Moyer JT, Gnatkovsky V, Ono T, Otahal J, Wagenaar J, William C. Stacey W, Noebels J, Ikeda A, Staley K, de Curtis M, Litt B, Galanopoulou AS	4. 巻 58
2. 論文標題 Standards for data acquisition and software-based analysis of in vivo electroencephalography recordings from animals: report from the ILAE-AES joint translational task force	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Epilepsia	6. 最初と最後の頁 53-67
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/epi.13909	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Zijlmans M, Worrell G, Duempelmann M, Stieglitz T, Barborica A, Heers M, Ikeda A, Usui N, Le Van Quyen M	4. 巻 58(8)
2. 論文標題 How to record high frequency oscillations in epilepsy: a practical guideline	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Epilepsia	6. 最初と最後の頁 1305-1315
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/epi.13814	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Kadam SD, D'Ambrosio R, Duveau V, Roucard, Corinne R, Garcia-Cairasco N, Ikeda A, de Curtis M, Galanopoulou A, Kelly K	4. 巻 58
2. 論文標題 Methodological standards and interpretation of video-EEG in adult control rodents. A TASK1-WG1 report of the AES/ILAE Translational Task Force of the ILAE	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Epilepsia	6. 最初と最後の頁 10-27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/epi.13903.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 A. E. Hernan, C. A. Schevon, G. A. Worrell, A. S. Galanopoulou, P. Kahane, M. de Curtis, A. Ikeda, P. Quilichini, A. Williamson, N. Garcia-Cairasco, R. C. Scott, and I. Timofeev	4. 巻 58
2. 論文標題 Methodological Standards and Functional Correlates of Depth in Vivo Electrophysiological Recordings in Control Rodents. A Task1-Wg3 Report of the AES/ILAE Translational Task Force of the ILAE	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Epilepsia	6. 最初と最後の頁 28-39
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/epi.13905.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Raimondo JV, Heinemann U, de Curtis M, Goodkin HP, Dulla CG, Janigro D, Ikeda A, Lin CCK, Jiruska P, Galanopoulou AS, Bernard C	4. 巻 58
2. 論文標題 TASK1-WG4 group of the AES/ILAE Translational Task Force of the Neurobiology Commission of the ILAE: Methodological standards for in vitro models of epilepsy and epileptic seizures	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Epilepsia	6. 最初と最後の頁 40-52
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/epi.13901	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Kaneko M, Hitomi T, Takekawa T, Tsuji T, Kishimoto Y, Hirano S.	4. 巻 -
2. 論文標題 Effects of Voice Therapy on Laryngeal Motor Units During Phonation in Chronic Superior Laryngeal Nerve Paresis Dysphonia.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of Voice.	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jvoice.2017.08.026	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Matsuo H, Handa T, Tsuchiya M, Kubo T, Yoshizawa A, Nakayama Y, Shiga S, Hitomi T, Adachi S, Date H, Hirai T, Ichiyama S.	4. 巻 -
2. 論文標題 Progressive Restrictive Ventilatory Impairment in Idiopathic Diffuse Pulmonary Ossification.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 internal medicine	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2169/internalmedicine.9433-17	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ishiura H, et al (Ikeda A 64番目)	4. 巻 50
2. 論文標題 Expansions of intronic TTCA and TTTA repeats in benign adult familial myoclonic epilepsy.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Nature Genetics	6. 最初と最後の頁 581-590
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41588-018-0067-2.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 M. Kinboshi T. Mukai Y. Nagao Y. Matsuba Y. Tsuji S. Tanaka K. Tokudome S. Shimizu H. Ito, A, Ikeda A. Inanobe Y. Kurachi S. Inoue Y. Ohno:	4. 巻 19
2. 論文標題 Inhibition of inwardly rectifying potassium (Kir) 4.1 channels facilitates brain-derived neurotrophic factor (BDNF) expression in astrocytes.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Frontiers in Molecular Neuroscience	6. 最初と最後の頁 408
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnmol.2017.00408	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Fumoto, N, Matsumoto, R, Kawamata, J, Koyasu, S, Kondo, T, Kitamura, A, Koshiba, Y, Kinoshita, M, Kawasaki, J, Yamashita, H, Takahashi, R, Ikeda, A	4. 巻 -
2. 論文標題 Novel LGI1 mutation in a Japanese autosomal dominant lateral temporal lobe epilepsy family	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Neurology and Clinical Neuroscience	6. 最初と最後の頁 44-45
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ncn3.12105	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 S. Beniczky, et al (A. Ikeda 35番目)	4. 巻 128
2. 論文標題 Standardized Computer-Based Organized Reporting of Eeg: Score - Second Version	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Clinical Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 2334-46
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2017.07.418	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kobayashi K, Endoh F, Agari T, Akiyama T, Akiyama M, Hayashi H, Shibata T, Hanaoka Y, Oka M, Yoshinaga H, Date I	4. 巻 2
2. 論文標題 Complex observation of scalp fast (40-150 Hz) oscillations in West syndrome and related disorders with structural brain pathology	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Epilepsia Open	6. 最初と最後の頁 260-266
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/epi4.12043	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kobayashi K, Ohuchi Y, Shibata T, Hanaoka Y, Akiyama M, Oka M, Endoh F, Akiyama T	4. 巻 40
2. 論文標題 Detection of fast (40-150 Hz) oscillations from the ictal scalp EEG data of myoclonic seizures in pediatric patients	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Brain & Development	6. 最初と最後の頁 397-405
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.braindev.2018.01.004	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kobayashi K, Akiyama T, Agari T, Sasaki T, Shibata T, Hanaoka H, Akiyama M, Endoh F, Oka M, Date I	4. 巻 71
2. 論文標題 Significance of high-frequency electrical brain activity	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Acta Medica Okayama	6. 最初と最後の頁 191-200
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18926/AMO/55201	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Frauscher B, Bartolomei F, Kobayashi K, Cimbalnik J, van 't Klooster MA, Rampp S, Otsubo H, Höller Y, Wu JY, Asano E, Engel J, Jr. Kahane P, Jacobs J, Gotman J	4. 巻 58
2. 論文標題 High-frequency oscillations (HFOs): the state of clinical research	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Epilepsia	6. 最初と最後の頁 1316-1329
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/epi.13829	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kikuchi T, Ishii A, Chihara H, Arai D, Ando M, Takenobu Y, Okada T, Takagi Y, Miyamoto S	4. 巻 107
2. 論文標題 Occlusion Status on Magnetic Resonance Angiography Is Associated with Risk of Delayed Ischemic Events in Cerebral Aneurysms Treated with Stent-Assisted Coiling.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 World Neurosurgery	6. 最初と最後の頁 226-232
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.wneu.2017.07.161.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kikuchi T, Abekura Y, Arai D, Ikeda H, Funaki T, Ishii A, Yoshida K, Takagi Y, Miyamoto S	4. 巻 -
2. 論文標題 A Treatment Strategy for Basilar Bifurcation Aneurysm Associated with Moyamoya Disease: A Case Successfully Treated by Combined STA-MCA Anastomosis and Stent-assisted Coil Embolization	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of Neuroendovascular Therapy	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5797/jnet.cr.2017-0092	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shibata S, Matsushashi M, Kunieda T, Yamao Y, Inano R, Kikuchi T, Imamura H, Takaya S, Matsumoto R, Ikeda A, Takahashi R, Mima T, Fukuyama H, Mikuni N, Miyamoto S	4. 巻 128
2. 論文標題 Magnetoencephalography with temporal spread imaging to visualize propagation of epileptic activity	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Clin Neurophysiol	6. 最初と最後の頁 734-743
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2017.01.010	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takeuchi M, Yano I, Ito S, Sugimoto M, Yamamoto S, Yonezawa A, Ikeda A, Matsubara K	4. 巻 39
2. 論文標題 Population pharmacokinetics of topiramate in Japanese pediatric and adult patients with epilepsy using routinely monitored data.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Ther Drug Monit	6. 最初と最後の頁 124-131
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/FTD.0000000000000383	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kinoshita H, Maki T, Hata M, Nakayama Y, Yamashita H, Sawamoto N, Ikeda A, Takahashi R	4. 巻 375
2. 論文標題 Convergence paralysis caused by a localized cerebral infarction affecting the white matter underlying the right frontal eye field	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Neurol Sci	6. 最初と最後の頁 94-96
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jns.2017.01.054	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Iha HA, Kunisawa N, Shimizu S, Tokudome K, Mukai T, Kinboshi M, Ikeda A, Ito H, Serikawa T, Ohno Y	4. 巻 8
2. 論文標題 Nicotine elicits convulsive seizures by activating amygdalar neurons.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Front Pharmacol	6. 最初と最後の頁 57
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fphar.2017.00057	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yamao Y, Suzuki K, Kunieda T, Matsumoto R, Arakawa Y, Nakae T, Nishida S, Inano R, Shibata S, Shimotake A, Kikuchi T, Sawamoto N, Mikuni N, Ikeda A, Fukuyama H, Miyamoto S	4. 巻 38
2. 論文標題 Clinical impact of intraoperative CCEP monitoring in evaluating the dorsal language white matter pathway.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Hum Brain Mapp	6. 最初と最後の頁 1977-1991
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/hbm.23498	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Fujiwara Y, Matsumoto R, Nakae T, Usami K, Matsuhashi M, Kikuchi T, Yoshida K, Kunieda T, Miyamoto S, Mima T, Ikeda A, Osu R	4. 巻 147
2. 論文標題 Neural pattern similarity between contra- and ipsilateral movements in high-frequency band of human electrocorticograms.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Neuroimage	6. 最初と最後の頁 302-313
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neuroimage.2016.11.058	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Fumoto N, Matsumoto R, Kawamata J, Koyasu S, Kondo T, Shimotake A, Kitamura K, Koshiya Y, Kinoshita M, Kawasaki J, Yamashita H, Takahashi R, Ikeda A	4. 巻 5
2. 論文標題 Novel LGI1 mutation in a Japanese autosomal dominant lateral temporal lobe epilepsy family.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Neurol Clin Neurosci	6. 最初と最後の頁 44-45
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ncn3.12105	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yamamoto T, Kubota Y, Murayama H, Ozeki H, Numachi Y, Ikeda A, the Lamictal 200776 Study Group	4. 巻 8
2. 論文標題 Appropriate conversion from valproate monotherapy to lamotrigine monotherapy in Japanese women with epilepsy.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Epilepsy & Seizure	6. 最初と最後の頁 21-31
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3805/eands.8.21	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Fukuma K, Ihara M, Miyashita K, Motoyama R, Tanaka T, Kajimoto K, Ikeda A, Nagatsuka K	4. 巻 4
2. 論文標題 Right parietal source in Mahjong-induced seizure: a system epilepsy of focal origin.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Clin Case Rep	6. 最初と最後の頁 948-951
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/ccr3.653	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Chen Y, Shimotake A, Matsumoto R, Kunieda T, Kikuchi T, Miyamoto S, Fukuyama H, Takahashi R, Ikeda A, Lambon-Ralph MA	4. 巻 79
2. 論文標題 The 'when' and 'where' of semantic coding in the anterior temporal lobe: Temporal representational similarity analysis of electrocorticogram data.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Cortex	6. 最初と最後の頁 1-13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.cortex.2016.02.015.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Ito S, Yano I, Hashi S, Tsuda M, Sugimoto M, Yonezawa A, Ikeda A, Matsubara K	4. 巻 38
2. 論文標題 Population pharmacokinetic modeling of levetiracetam in pediatric and adult patients with epilepsy by using routinely monitored data.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Ther Drug Monit	6. 最初と最後の頁 371-378
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/FTD.0000000000000291.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Usami K, Matsumoto R, Sawamoto N, Murakami H, Inouchi M, Fumuro T, Shimotake A, Kato T, Mima T, Shirozu H, Masuda H, Fukuyama H, Takahashi R, Kameyama S, Ikeda A	4. 巻 125
2. 論文標題 Epileptic network of hypothalamic hamartoma: An EEG-fMRI study.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Epilepsy Res	6. 最初と最後の頁 1-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.epilepsyres.2016.05.011.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hitomi T, Kobayashi K, Sakurai T, Ueda S, Jingami N, Kanazawa K, Matsumoto R, Takahashi R, Ikeda A	4. 巻 18
2. 論文標題 Benign adult familial myoclonus epilepsy is a progressive disorder: no longer idiopathic generalized epilepsy.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Epileptic Disord	6. 最初と最後の頁 67-72
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1684/epd.2016.0807.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Neshige S, Kobayashi K, Shimotake A, Iemura T, Matsumoto R, Nishinaka K, Matsumoto M, Takahashi R, Ikeda A	4. 巻 4
2. 論文標題 An elderly woman with exaggerated startle reflex and unconscious drop attack.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Neurol Clin Neurosci	6. 最初と最後の頁 156-158
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ncn3.12055	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Imamura H, Matsumoto R, Takaya S, Nakagawa T, Shimotake A, Kikuchi T, Sawamoto N, Kunieda T, Mikuni N, Miyamoto S, Fukuyama H, Takahashi R, Ikeda A	4. 巻 18
2. 論文標題 Network specific change in white matter integrity in mesial temporal lobe epilepsy.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Epilepsy Res	6. 最初と最後の頁 65-72
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.epilepsyres.2015.12.003	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ueno Y, Yokoyama A, Nishikawa Y, Funakoshi T, Ozaki Y, Aoyama I, Yamaguchi D, Morita S, Mori Y, Kanai M, Kinoshita H, Inoue T, Sawamoto N, Matsumoto R, Matsumoto S, Muto M	4. 巻 55
2. 論文標題 Paraneoplastic limbic encephalitis in a human epidermal growth factor receptor-2-positive gastric cancer patient treated with trastuzumab-combined chemotherapy: a case report and literature review.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Intern Med	6. 最初と最後の頁 2605-2609
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2169/internalmedicine.55.6917	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Usami K, Matsumoto R, Kobayashi K, Hitomi T, Matsuhashi M, Shimotake A, Kikuchi T, Yoshida K, Kunieda T, Mikuni N, Miyamoto S, Takahashi R, Ikeda A	4. 巻 in press
2. 論文標題 Phasic REM transiently approaches wakefulness in the human cortex, a single-pulse electrical stimulation study.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 SLEEP	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Borgil B, Matsuhashi M, Fumuro T, Nohira H, Nakano N, Iida K, Katagiri M, Shimotake A, Matsumoto R, Kikuchi T, Kunieda T, Kato A, Takahashi R, Ikeda A	4. 巻 in press
2. 論文標題 We could predict good responders to vagus nerve stimulation: a surrogate marker by slow cortical potential shift	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Clin Neurophysiol	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yoshimura H, Matsumoto R, Ueda H, Ariyoshi K, Kawamoto M, Ishii J, Ikeda A, Takahashi R, Kohara N.	4. 巻 370
2. 論文標題 Status epilepticus in the elderly: Prognostic implications of rhythmic and periodic patterns in electroencephalography and hyperintensities on diffusion-weighted imaging.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 J Neurol Sci	6. 最初と最後の頁 284-289
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jns.2016.09.062	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Matsumoto R, Kunieda T, Nair D	4. 巻 44
2. 論文標題 Single pulse electrical stimulation to probe functional and pathological connectivity in epilepsy.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Seizure	6. 最初と最後の頁 27-36
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.seizure.2016.11.003	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Hanaoka, Y., Yoshinaga, H., Kobayashi, K.	4. 巻 39
2. 論文標題 A ten-year follow-up cohort study of childhood epilepsy: Changes in epilepsy diagnosis with age	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Brain and Development	6. 最初と最後の頁 312-320
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.braindev.2016.10.011	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Akiyama, T., Akiyama, M., Hayashi, Y., Shibata, T., Hanaoka, Y., Toda, S., Imai, K., Hamano, S.-I., Okanishi, T., Yoshinaga, H., Kobayashi, K.	4. 巻 466
2. 論文標題 Measurement of pyridoxal 5'-phosphate, pyridoxal, and 4-pyridoxic acid in the cerebrospinal fluid of children	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Clinica Chimica Acta	6. 最初と最後の頁 1-5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.cca.2016.12.027	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takeuchi, A., Yorifuji, T., Takahashi, K., Nakamura, M., Kageyama, M., Kubo, T., Ogino, T., Kobayashi, K., Doi, H.	4. 巻 39
2. 論文標題 Behavioral outcomes of school-aged full-term small-for-gestational-age infants: A nationwide Japanese population-based study	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Brain and Development	6. 最初と最後の頁 101-106
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.braindev.2016.08.007	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Akiyama, T., Hayashi, Y., Hanaoka, Y., Shibata, T., Akiyama, M., Nakamura, K., Tsuyusaki, Y., Kubota, M., Yoshinaga, H., Kobayashi, K.	4. 巻 465
2. 論文標題 Simultaneous measurement of monoamine metabolites and 5-methyltetrahydrofolate in the cerebrospinal fluid of children	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Clinica Chimica Acta	6. 最初と最後の頁 5-10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.cca.2016.12.005	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kobayashi, Y., Hanaoka, Y., Akiyama, T., Ohmori, I., Ouchida, M., Yamamoto, T., Oka, M., Yoshinaga, H., Kobayashi, K.	4. 巻 39
2. 論文標題 A case of Dravet syndrome with cortical myoclonus indicated by jerk-locked back-averaging of electroencephalogram data	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Brain and Development	6. 最初と最後の頁 75-79
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.braindev.2016.07.005	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Akiyama, T., Shibata, T., Yoshinaga, H., Kuhara, T., Nakajima, Y., Kato, T., Maeda, Y., Ohse, M., Oka, M., Kageyama, M., Kobayashi, K.	4. 巻 39
2. 論文標題 A Japanese case of -ureidopropionase deficiency with dysmorphic features	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Brain and Development	6. 最初と最後の頁 58-61
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.braindev.2016.08.001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kobayashi, K., Akiyama, T., Oka, M., Endoh, F., Yoshinaga, H.	4. 巻 38
2. 論文標題 Fast (40 - 150Hz) oscillations are associated with positive slow waves in the ictal EEGs of epileptic spasms in West syndrome	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Brain and Development	6. 最初と最後の頁 909-914
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.braindev.2016.05.005	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shibata T, Yoshinaga H, Akiyama T, Kobayashi K.	4. 巻 1
2. 論文標題 A study on spike focus-dependence of high-frequency activity in idiopathic focal epilepsy in childhood.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Epilepsia	6. 最初と最後の頁 121-125
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/epi4.12014	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Saitoh, M., Kobayashi, K., Ohmori, I., Tanaka, Y., Tanaka, K., Inoue, T., Horino, A., Ohmura, K., Kumakura, A., Takei, Y., Hirabayashi, S., Kajimoto, M., Uchida, T., Yamazaki, S., Shiihara, T., Kumagai, T., Kasai, M., Terashima, H., Kubota, M., Mizuguchi, M.	4. 巻 368
2. 論文標題 Cytokine-related and sodium channel polymorphism as candidate predisposing factors for childhood encephalopathy FIRES/AERRPS	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Journal of the Neurological Sciences	6. 最初と最後の頁 272-276
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jns.2016.07.040	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Akiyama, M., Akiyama, T., Kanamaru, K., Kuribayashi, M., Tada, H., Shiokawa, T., Toda, S., Imai, K., Kobayashi, Y., Tohyama, J., Sakakibara, T., Yoshinaga, H., Kobayashi, K.	4. 巻 460
2. 論文標題 Determination of CSF 5-methyltetrahydrofolate in children and its application for defects of folate transport and metabolism	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Clinica Chimica Acta	6. 最初と最後の頁 120-125
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.cca.2016.06.032	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Pal, D.K., Ferrie, C., Addis, L., Akiyama, T et al.	4. 巻 18
2. 論文標題 Idiopathic focal epilepsies: The lost tribe	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Epileptic Disorders	6. 最初と最後の頁 252-288
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1684/epd.2016.0839	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する
1. 著者名 Akiyama, T., Miyahara, H., Waki, K., Yoshinaga, H., Kobayashi, K.	4. 巻 29
2. 論文標題 A Japanese case of hereditary chin trembling responsive to arotinolol	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Parkinsonism and Related Disorders	6. 最初と最後の頁 133-134
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.parkreldis.2016.04.021	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Oka, M., Shimojima, K., Yamamoto, T., Hanaoka, Y., Sato, S., Yasuhara, T., Yoshinaga, H., Kobayashi, K.	4. 巻 89
2. 論文標題 A novel HYL51 homozygous mutation in living siblings with Joubert syndrome	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Clinical Genetics	6. 最初と最後の頁 739-743
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cge.12752	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Otsuki, T., Kim, H.-D., Luan, G., Inoue, Y., Baba, H., Oguni, H., Hong, S.-C., Kameyama, S., Kobayashi, K., Hirose, S., Yamamoto, H., Hamano, S.-I., Sugai, K.	4. 巻 38
2. 論文標題 Surgical versus medical treatment for children with epileptic encephalopathy in infancy and early childhood: Results of an international multicenter cohort study in Far-East Asia (the FACE study)	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Brain and Development	6. 最初と最後の頁 449-460
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.braindev.2015.11.004	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Jacobs, J., Vogt, C., LeVan, P., Zelman, R., Gotman, J., Kobayashi, K.	4. 巻 127
2. 論文標題 The identification of distinct high-frequency oscillations during spikes delineates the seizure onset zone better than high-frequency spectral power changes	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Clinical Neurophysiology	6. 最初と最後の頁 129-142
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2015.04.053	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Kobayashi, K., Endoh, F., Toda, Y., Oka, M., Baba, H., Ohtsuka, Y., Yoshinaga, H.	4. 巻 38
2. 論文標題 Occurrence of bilaterally independent epileptic spasms after a corpus callosotomy in West syndrome	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Brain and Development	6. 最初と最後の頁 132-135
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.braindev.2015.05.003	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hayashi, Y., Yoshinaga, H., Akiyama, T., Endoh, F., Ohtsuka, Y., Kobayashi, K.	4. 巻 38
2. 論文標題 Predictive factors for relapse of epileptic spasms after adrenocorticotrophic hormone therapy in West syndrome	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Brain and Development	6. 最初と最後の頁 32-39
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.braindev.2015.05.012	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Akiyama, T., Osaka, H., Shimbo, H., Kuhara, T., Shibata, T., Kobayashi, K., Kurosawa, K., Yoshinaga, H.	4. 巻 38
2. 論文標題 SSADH deficiency possibly associated with enzyme activity-reducing SNPs	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Brain and Development	6. 最初と最後の頁 871-874
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.braindev.2016.03.008	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Toyoshima T, Yazawa S, Murahara T, Ishiguro M, Shinozaki J, Ichihara-Takeda S, Shiraishi H, Matsuhashi M, Shimohama S, Nagamine T	4. 巻 112
2. 論文標題 Load effect on background rhythms during motor execution: A magnetoencephalographic study.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Neurosci Res.	6. 最初と最後の頁 26-36
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.neures.2016.06.002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shinozaki J, Hiroe N, Sato MA, Nagamine T, Sekiyama K.	4. 巻 11
2. 論文標題 Impact of language on functional connectivity for audiovisual speech integration.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Sci Rep.	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/srep31388	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Noshiro S, Mikami T, Komatsu K, Kanno A, Enatsu R, Yazawa S, Nagamine T, Matsuhashi M, Mikuni N.	4. 巻 91
2. 論文標題 Neuromodulatory Role of Revascularization Surgery in Moyamoya Disease.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 World Neurosurg	6. 最初と最後の頁 473-482
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.wneu.2016.04.087.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小林勝哉, 松本理器, 松橋眞生, 中江卓郎, 宇佐美清英, 山尾幸広, 菊池隆幸, 吉田和道, 國枝武治, 池田昭夫.	4. 巻 42
2. 論文標題 CCEPオフライン解析と解釈 (特集「CCEPのskills workshop: clinical practice parameter (臨床実践指標) を目指して」).	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 臨床神経生理学	6. 最初と最後の頁 91-101
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 谷岡洸介, 人見健文, 松本理器, 高橋良輔, 飛松省三, 犬塚貴, 吉良潤一, 楠進, 池田昭夫	4. 巻 57
2. 論文標題 日本神経学会における脳波判読セミナー受講者のアンケート調査: 脳波教育の過去5年間の実態, ニーズおよびその変遷	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 臨床神経	6. 最初と最後の頁 110-117
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5692/clinicalneuroi.cn-000990.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また, その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 月田和人, 下竹昭寛, 中谷光良, 高橋幸利, 池田昭夫, 高橋良輔	4. 巻 57
2. 論文標題 辺縁系脳炎で発症した神経梅毒の1例	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 臨床神経	6. 最初と最後の頁 37-40
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5692/clinicalneuroi.cn-000936	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また, その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 中谷光良, 月野光博, 高橋良輔, 池田昭夫	4. 巻 56
2. 論文標題 パラシクロピルによる一過性の周期性同期性放電を伴う薬剤性脳症をきたした高齢者例	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 臨床神経	6. 最初と最後の頁 504-507
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5692/clinicalneuroi.cn-000892	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また, その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 中谷光良, 月野光博, 高橋良輔, 池田昭夫	4. 巻 56
2. 論文標題 パラシクロピルによる一過性の周期性同期性放電を伴う薬剤性脳症をきたした高齢者例	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 臨床神経	6. 最初と最後の頁 504-507
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5692/clinicalneuroi.cn-000892	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また, その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Moyer JT, Gnatkovsky V, Ono T, Otáhal J, Wagenaar J, William C. Stacey W, Noebels J, Ikeda A, Staley K, de Curtis M, Litt B, Galanopoulou AS	4. 巻 in press
2. 論文標題 Standards for data acquisition and software-based analysis of in vivo electroencephalography recordings from animals: report from the ILAE-AES joint translational task force	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Epilepsia	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Zijlmans M, Worrell G, Duempelmann M, Stieglitz T, Barborica A, Heers M, Ikeda A, Usui N, Le Van Quyen M	4. 巻 in press
2. 論文標題 How to record high frequency oscillations in epilepsy: a practical guideline	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Epilepsia	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Shilpa K, D'Ambrosio R, Duveau V, Roucard, Corinne R, Garcia-Cairasco N, Ikeda A, de Curtis M, Galanopoulou A, Kelly K	4. 巻 in press
2. 論文標題 Methodological standards and interpretation of video-EEG in adult control rodents. A TASK1-WG1 report of the AES/ILAE Translational Task Force of the ILAE	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Epilepsia	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Raimondo JV, Heinemann U, de Curtis M, Goodkin HP, Dulla CG, Janigro D, Ikeda A, Lin CCK, Jiruska P, Galanopoulou AS, Bernard C, TASK1-WG4 group of the AES/ILAE Translational Task Force of the Neurobiology Commission of the ILAE	4. 巻 in press
2. 論文標題 Methodological standards for in vitro models of epilepsy and epileptic seizures	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Epilepsia	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Kinoshita M, Ikeda A	4. 巻 127
2. 論文標題 Phantom of oscillation: Operational definition bound to improve. editorial.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Clin Neurophysiol	6. 最初と最後の頁 8-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2015.05.020	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 矢野育子, 池田昭夫	4. 巻 in press
2. 論文標題 抗てんかん薬, 新薬展望2017, 第III部 治療における最近の新薬の位置付け 薬効別 -新薬の広場-	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 医薬ジャーナル	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田中智貴, 松本理器, 池田昭夫	4. 巻 in press
2. 論文標題 脳卒中後てんかん, 脳血管障害に伴う慢性期症状の管理, 日本医師会雑誌, 特別号1	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 生涯教育シリーズ	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 音成秀一郎, 池田昭夫	4. 巻 in press
2. 論文標題 てんかんに疑う症状と診断	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 日本医師会雑誌	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 池田昭夫	4. 巻 in press
2. 論文標題 てんかん問題解説, 神経内科専門医試験問題解答と解説, 日本神経学会編	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 南江堂	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 音成秀一郎, 池田昭夫	4. 巻 105
2. 論文標題 実践! 神経救急(neurocritical care), てんかんの診断	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 『診断と治療』特集	6. 最初と最後の頁 35-41
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 藤井大樹, 池田昭夫	4. 巻 105
2. 論文標題 フィコンパ(ペランパネル), 連載企画「注目の新薬」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 診断と治療	6. 最初と最後の頁 399-403
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 人見健文, 松本理器, 池田昭夫	4. 巻 85
2. 論文標題 デジタル脳波の記録・判読指針, 特集I 脳波~過去・現在・未来	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 神経内科	6. 最初と最後の頁 402-409
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 太田真紀子, 人見健文, 池田昭夫	4. 巻 34
2. 論文標題 神経疾患治療ノート, 特発性全般てんかん	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Clinical Neuroscience	6. 最初と最後の頁 1274-1276
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 井内盛遠, 池田昭夫	4. 巻 10
2. 論文標題 wide-band EEGの時間周波数解析, 目で見るてんかん	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Epilepsy	6. 最初と最後の頁 4-7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 池田昭夫	4. 巻 105
2. 論文標題 てんかんの診断と病型分類, てんかん: 内科医が知っておくべき診療ポイントと治療の最前線	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 日本内科学会雑誌	6. 最初と最後の頁 1348-1357
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 下竹昭寛, 國枝武治, 松本理器	4. 巻 34
2. 論文標題 皮質脳波記録	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Clinical Neuroscience	6. 最初と最後の頁 771-776
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 十川純平, 松本理器, 池田昭夫	4. 巻 34
2. 論文標題 てんかん病態下の脳内ネットワーク	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Clinical Neuroscience	6. 最初と最後の頁 713-716
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 音成秀一郎, 池田昭夫	4. 巻 65
2. 論文標題 本邦における高齢者てんかんの臨床的特徴	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 新薬と臨床	6. 最初と最後の頁 840-845
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山尾幸広, 國枝武治, 松本理器	4. 巻 25
2. 論文標題 皮質電気刺激によるヒト脳機能ネットワークの探索	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 脳神経外科速報	6. 最初と最後の頁 411-420
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 藤井大樹, 池田昭夫	4. 巻 649
2. 論文標題 特集「これからのてんかん医療～ベランパネルへの期待～」, AMPA受容体とてんかん原性(病態)	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 クリニシアン	6. 最初と最後の頁 29-35
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 松本理器, 下竹昭寛, 山尾幸広, 國枝武治	4. 巻 21
2. 論文標題 特集: 神経生理最前線, てんかん外科における術前皮質・白質機能マッピング	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 最新精神医学	6. 最初と最後の頁 101-109
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 池田昭夫	4. 巻 25
2. 論文標題 てんかん発作の発現機構:red slow はあるか?	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 脳神経外科ジャーナル	6. 最初と最後の頁 128-136
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 池田昭夫	4. 巻 1
2. 論文標題 AES2015印象記	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 第69回米国てんかん学会記録集	6. 最初と最後の頁 1-2
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 池田昭夫	4. 巻 56
2. 論文標題 編集後記	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 臨床神経	6. 最初と最後の頁 307
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Chen Y, Shimotake A, Matsumoto R, Kunieda T, Kikuchi T, Miyamoto S, Fukuyama H, Takahashi R, Ikeda A, Lambon-Ralph MA.	4. 巻 in press
2. 論文標題 The 'when' and 'where' of semantic coding in the anterior temporal lobe: temporal representational similarity analysis of electrocorticogram data	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Cortex	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.cortex.2016.02.015	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Imamura H, Matsumoto R, Takaya S, Nakagawa T, Shimotake A, Kikuchi T, Sawamoto N, Kunieda T, Mikuni N, Miyamoto S, Fukuyama H, Takahashi R, Ikeda A	4. 巻 120
2. 論文標題 Network specific change in white matter integrity in mesial temporal lobe epilepsy.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Epilepsy Res	6. 最初と最後の頁 65-72
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.epilepsyres.2015.12.003	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Fumuro T, Matsuhashi M, Miyazaki T, Inouchi M, Hitomi T, Matsumoto R, Takahashi R, Fukuyama H, Ikeda A.	4. 巻 126 (4)
2. 論文標題 Alpha-band desynchronization in human parietal area during reach planning.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Clin Neurophysiol	6. 最初と最後の頁 756-762
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2014.07.026	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Fumuro T, Matsumoto R, Shimotake A, Matsuhashi M, Inouchi M, Urayama S, Sawamoto N, Fukuyama H, Takahashi R, Ikeda A	4. 巻 126 (4)
2. 論文標題 Network hyperexcitability in a patient with partial reading epilepsy: Converging evidence from magnetoencephalography, diffusion tractography, and functional magnetic resonance imaging	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Clin Neurophysiol	6. 最初と最後の頁 675-681
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clinph.2014.07.033	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kobayashi K, Matsumoto R, Matsuhashi M, Usami K, Shimotake A, Kunieda T, Kikuchi T, Mikuni N, Miyamoto S, Fukuyama H, Takahashi R, Ikeda A	4. 巻 10 (6)
2. 論文標題 Different Mode of Afferents Determines the Frequency Range of High Frequency Activities in the Human Brain: Direct Electrographic Comparison between Peripheral Nerve and Direct Cortical Stimulation	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 PLoS One 10 (6)	6. 最初と最後の頁 e010461
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0130461	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Matsumoto R, Mikuni N, Tanaka K, Usami K, Fukao K, Kunieda T, Takahashi Y, Miyamoto S, Fukuyama H, Takahashi R, Ikeda A	4. 巻 17(1)
2. 論文標題 Possible induction of multiple seizure foci due to parietal tumour and anti-NMDAR antibody.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Epileptic Disorders	6. 最初と最後の頁 89-94
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1684/epd.2015.0725	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shimotake A, Matsumoto R, Ueno T, Kunieda T, Saito S, Hoffman P, Kikuchi T, Fukuyama H, Miyamoto S, Takahashi R, Ikeda A, Lambon-Ralph MA	4. 巻 25(10)
2. 論文標題 Direct exploration of the role of the ventral anterior temporal lobe in semantic memory: Cortical stimulation and local field potential evidence from subdural grid electrodes.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Cereb Cortex	6. 最初と最後の頁 3802-17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/cercor/bhu262	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Hitomi T, Kobayashi K, Sakurai T, Ueda S, Jingami N, Kanazawa K, Matsumoto R, Takahashi R, Ikeda A.	4. 巻 18(1)
2. 論文標題 Benign adult familial myoclonus epilepsy is a progressive disorder: no longer idiopathic generalized epilepsy.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Epileptic Disord	6. 最初と最後の頁 67-72
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1684/epd.2016.0807	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Inoue Y, Yagi K, Ikeda A, Sasagawa M, Ishida S, Suzuki A, Yoshida K, and Japan Levetiracetam N01221 Study Group.	4. 巻 69 (10)
2. 論文標題 Efficacy and tolerability of levetiracetam as adjunctive therapy in Japanese patients with uncontrolled partial-onset seizures	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Psychiatry Clin Neurosci	6. 最初と最後の頁 640-648
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/pcn.12300	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kunieda T, Yamao Y, Kikuchi T, Matsumoto R	4. 巻 55(5)
2. 論文標題 New Approach for Exploring Cerebral Functional Connectivity: Review of CCEP (Cortico-cortical evoked potential)	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Neurol Med Chir	6. 最初と最後の頁 374-382
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2176/nmc.ra.2014-0388	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Neshige S, Kobayashi K, Shimotake A, Iemura T, Matsumoto R, Nishinaka K, Matsumoto M, Takahashi R, Ikeda A.	4. 巻 in press
2. 論文標題 An elderly woman with exaggerated startle reflex and unconscious drop attack	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Neurology and Clinical Neuroscience	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ncn3.12055	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shibata S, Kunieda T, Inano R, Sawada M, Yamao Y, Kikuchi T, Matsumoto R, Ikeda A, Takahashi R, Mikuni N, Takahashi J, Miyamoto S.	4. 巻 84(2)
2. 論文標題 Risk factors for infective complications with long term subdural electrode implantation in patients with medically intractable partial epilepsy.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 World Neurosurgery	6. 最初と最後の頁 320-326
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.wneu.2015.03.048	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamao Y, Kunieda K, Matsumoto R.	4. 巻 75(2)
2. 論文標題 Reply to commentary on "neural correlates of mirth and laughter: a direct electrical cortical stimulation study"	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Cortex	6. 最初と最後の頁 244-246
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.cortex.2015.03.019	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ueno Y, Yokoyama A, Nishikawa Y, Funakoshi T, Ozaki Y, Aoyama I, Yamaguchi D, Morita S, Mori Y, Kanai M, Kinoshita H, Inoue T, Sawamoto N, Matsumoto R, Matsumoto S, Muto M.	4. 巻 in press
2. 論文標題 Paraneoplastic limbic encephalitis in human epidermal growth factor receptor-2-positive gastric cancer patient treated with trastuzumab-combined chemotherapy: case report and literature review.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Internal Medicine	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ritaccio A, Matsumoto R, Morrell M, Kamada K, Koubeissi M, Poeppel D, Lachaux JP, Yanagisawa Y, Hirata M, Guger C, Schalk G.	4. 巻 51
2. 論文標題 Proceedings of the Seventh International Workshop on Advances in Electroencephalography.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Epilepsy and Behavior	6. 最初と最後の頁 312-320
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.yebeh.2015.08.002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Yamao Y, Matsumoto R, Kunieda K, Arakawa Y, Kikuchi T, Shibata S, Ikeda A, Fukuyama H, Miyamoto S	4. 巻 134
2. 論文標題 A possible variant of negative motor seizure arising from the supplementary negative motor area.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Clin Neurol Neurosurg	6. 最初と最後の頁 126-129
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.clineuro.2015.04.024	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yamao Y, Matsumoto R, Kunieda T, Shibata S, Shimotake A, Kikuchi T, Satow T, Mikuni N, Fukuyama H, Ikeda A, Miyamoto S.	4. 巻 66
2. 論文標題 Neural correlates of mirth and laughter: a direct electrical cortical stimulation study.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Cortex	6. 最初と最後の頁 134-140
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.cortex.2014.11.008	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hashi S, Yano I, Shibata M, Masuda S, Kinoshita M, Matsumoto R, Ikeda A, Takahashi R, Matsubara K.	4. 巻 71(1)
2. 論文標題 Effect of CYP2C19 polymorphisms on the clinical outcome of low-dose clobazam therapy in Japanese patients with epilepsy.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Eur J Clin Pharmacol	6. 最初と最後の頁 51-58
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00228-014-1773-z	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 井上岳司, 池田昭夫	4. 巻 43(6)
2. 論文標題 問題症例の脳波 - 頭皮上脳波で陽性棘波 (positive spike) を示す症例の病態 -	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 臨床神経生理学	6. 最初と最後の頁 477-482
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ikeda A.	4. 巻 56(11)
2. 論文標題 Commentary: We shall not lose past medical documents.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Epilepsia	6. 最初と最後の頁 1712-1713
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/epi.13196	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sawada, M., Kato, K., Kunieda, T., Mikuni, N., Miyamoto, S., Onoe, H., Isa, T. and Nishimura, Y.	4. 巻 350(6256)
2. 論文標題 Function of the nucleus accumbens in motor control during recovery after spinal cord injury.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Science	6. 最初と最後の頁 98-101
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1126/science.aab3825	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ichihara-Takeda, S., Yazawa, S., Murahara, T., Toyoshima, T., Shinozaki, J., Ishiguro, M., Shiraishi, H., Ikeda, N., Matsuyama, K., Funahashi, S., Nagamine, T.	4. 巻 27
2. 論文標題 Modulation of alpha activity in the parieto-occipital area by distractors during a visuospatial working memory task: a magnetoencephalographic study.	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 J Cogn Neurosci	6. 最初と最後の頁 453-463
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1162/jocn_a_00718	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐々木 健史, 長峯 隆, 小塚 直樹, 松山 清治	4. 巻 30 (1)
2. 論文標題 傾斜外乱時におけるラット動的姿勢調節の特徴	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 理学療法科学	6. 最初と最後の頁 21-27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) http://doi.org/10.1589/rika.30.21	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kobayashi K, Endoh F, Toda Y, Oka M, Baba H, Ohtsuka Y, Yoshinaga H.	4. 巻 38(1)
2. 論文標題 Occurrence of bilaterally independent epileptic spasms after a corpus callosotomy in West syndrome.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Brain Dev	6. 最初と最後の頁 132-135
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.braindev.2015.05.003	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 武山博文、松本理器、池田昭夫	4. 巻 84(1)
2. 論文標題 くすぶり型辺縁系脳炎と自律神経	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 神経内科	6. 最初と最後の頁 56-61
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中谷光良、池田昭夫	4. 巻 115
2. 論文標題 てんかん	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 臨床雑誌 内科	6. 最初と最後の頁 1235-1240
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 宇佐美清英、池田昭夫	4. 巻 52
2. 論文標題 高齢者てんかん診療の現況	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 日本老年医学雑誌	6. 最初と最後の頁 102-114
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岡田知久、金柿光憲、池田昭夫	4. 巻 33
2. 論文標題 病巣を見る、Double Inversion Recovery法	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Clinical neuroscience	6. 最初と最後の頁 687-690
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 櫻井健世、人見健文、池田昭夫	4. 巻 8
2. 論文標題 カタトニーは不随意運動か? 「No」の立場から	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Frontiers in Parkinson Disease	6. 最初と最後の頁 18-20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 松本理器、國枝武治、池田昭夫	4. 巻 70(6)
2. 論文標題 システム神経科学とてんかんの接点	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 最新医学	6. 最初と最後の頁 1051-1060
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 池田昭夫	4. 巻 70(6)
2. 論文標題 21世紀のてんかん医療の多様性: 基礎から臨床まで、序論	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 最新医学	6. 最初と最後の頁 1009-1010
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金星匡人	4. 巻 70(6)
2. 論文標題 アストロサイトによる空間的カリウム緩衝機構とてんかん病態、[基礎]	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 最新医学	6. 最初と最後の頁 1023 - 1030
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 池田昭夫、松本理器、國枝武治	4. 巻 9(1)
2. 論文標題 EMUの整備と課題	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Epilepsy	6. 最初と最後の頁 23-28
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 池田昭夫、赤松直樹、小林勝弘、酒田あゆみ、末永和榮、飛松省三、橋本修治、松浦雅人	4. 巻 43
2. 論文標題 日本臨床神経生理学会ペーパレス脳波の記録・判読指針小委員会：デジタル脳波の記録・判読指針	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 臨床神経生理学	6. 最初と最後の頁 22-62
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 藤井大樹、池田昭夫	4. 巻 32
2. 論文標題 Medical Practice	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 進歩した神経内科疾患の実地診療 てんかん	6. 最初と最後の頁 931-935
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 十川純平、松本理器、池田昭夫	4. 巻 34(5)
2. 論文標題 てんかん病態下の脳内ネットワーク	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Clinical Neuroscience	6. 最初と最後の頁 713-716
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山尾幸広、國枝武治、松本理器	4. 巻 25(5)
2. 論文標題 皮質電気刺激によるヒト脳機能ネットワークの探索	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 脳神経外科速報	6. 最初と最後の頁 印刷中
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 松本理器、下竹昭寛、山尾幸広、國枝武治	4. 巻 21(2)
2. 論文標題 てんかん外科における術前皮質・白質機能マッピング (特集: 神経生理最前線)	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 最新精神医学	6. 最初と最後の頁 印刷中
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 井上岳司、松本理器、池田昭夫	4. 巻 72
2. 論文標題 思春期・成人発症てんかんの治療 (特集 てんかん : 基礎・臨床研究の最新知見)	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 日本臨床	6. 最初と最後の頁 853-858
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 井上岳司、池田昭夫	4. 巻 11
2. 論文標題 てんかん治療ガイドライン2010	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 BRAIN NURSING	6. 最初と最後の頁 41-45
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 池田昭夫	4. 巻 25(2)
2. 論文標題 てんかん発作の発現機構:red slow はあるか?	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 脳神経外科ジャーナル	6. 最初と最後の頁 128-136
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 池田昭夫	4. 巻 43(6)
2. 論文標題 てんかん性DC電位(緩電位):総論、特集「てんかん性wide-band EEGの記録と解析のコンセンサスへ:DC電位(緩電位)と高周波振動(HFO)」	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 臨床神経生理学	6. 最初と最後の頁 482-488
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金澤恭子、池田昭夫	4. 巻 43(6)
2. 論文標題 発作時DC電位の実際の記録・解析、特集「てんかん性wide-band EEGの記録と解析のコンセンサスへ:DC電位(緩電位)と高周波振動(HFO)」	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 臨床神経生理学	6. 最初と最後の頁 489-496
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 池田昭夫	4. 巻 88
2. 論文標題 てんかん診療を考える、正しい診断と治療のために	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 クレデンシャル	6. 最初と最後の頁 5-12
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 藤井大樹、池田昭夫	4. 巻 649
2. 論文標題 「これからのてんかん医療～ベランパネルへの期待～」	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 クリニシアン	6. 最初と最後の頁 印刷中
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計352件 (うち招待講演 121件 / うち国際学会 100件)

1. 発表者名 Tamaki Kobayashi, Riki Matsumoto, Akihiro Shimotake, Masaya Togo, Yoshiki Arakawa, Yukihiro Yamao, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Akio Ikeda, Shiro Yano, Takaki Maeda, Hiroshi Imamizu, Susumu Miyamoto
2. 発表標題 The role of the insula in Sense of Agency: supportive data from neurosurgical cases
3. 学会等名 16th Asian Oceanian Congress Of Neurology (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Masaya Togo, Riki Matsumoto*, Akihiro Shimotake, Tamaki Kobayashi, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Takeharu Kunieda, Susumu Miyamoto, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題 Role of the premotor and precentral negative motor area in praxis: a direct electrical stimulation study with behavioral analysis
3. 学会等名 31st International Congress of Clinical Neurophysiology (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Tomohiko Murai, Takehumi Hitomi, Riki Matsumoto* , Yuki Kawamura, Masutaro Kanda, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題 Scalp-EEG could record both ictal DC shift and HFO even with time constant 2 sec: a case report
3. 学会等名 the 12th Asian&Oseanian Epilepsy Congress (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Masaya Togo, Takehumi Hitomi, Tomohiko Murai, Hajime Yoshimura, Masao Matsuhashi, Riki Matsumoto*, Michi Kawamoto, Nobuyuki Kohara, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題 Short “infraslow” activity with burst suppression in acute anoxic encephalopathy: a rare, specific ominous sign with acute post-hypoxic myoclonus or acute symptomatic seizure
3. 学会等名 the 12th Asian&Oseanian Epilepsy Congress (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Shuichiro Neshige, Kazuki Oi, Katsuya Kobayashi, Takefumi Hitomi, Akihiro Shimotake, Daiki Fujii, Riki Matsumoto*, Shuhei Kasama, Masutaro Kanda, Yoshiaki Wada, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda.
2. 発表標題 Clinico- electrophysiological impacts of small dosage of perampanel on patients with refractory cortical myoclonus: a case series study
3. 学会等名 the 12th Asian&Oseanian Epilepsy Congress (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Shuichiro Neshige, Katsuya Kobayashi, Masao Matsuhashi, Akihiro Shimotake, Takehumi Hitomi, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Takeharu Kunieda, Riki Matsumoto*, Ryosuke Takahashi, Susumu Miyamoto, Hirofumi Maruyama, Akio Ikeda.
2. 発表標題 Rational cortical mapping algorithm for epilepsy surgery: non-stimuli, multi-intrinsic brain activities without cortical stimulation
3. 学会等名 the 12th Asian&Oseanian Epilepsy Congress (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Takefumi Hitomi, Katsuya Kobayashi, Takeyo Sakurai, Tomohiko Murai, Shamima Sultana, Masako Kinoshita, Akihiro Shimotake, Riki Matsumoto*, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題 A homozygotic mutation with severe benign adult familial myoclonus epilepsy (BAFME)
3. 学会等名 the 12th Asian&Oseanian Epilepsy Congress (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Takefumi Hitomi, Katsuya Kobayashi, Shuichiro Neshige, Shamima Sultana, Kei Sato, Kosuke Tanioka, Akihiro Shimotake, Riki Matsumoto*, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題 Temporal change of electroencephalogram in benign adult familial myoclonus epilepsy (BAFME)
3. 学会等名 the 12th Asian&Oseanian Epilepsy Congress (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Shunsuke Kajikawa, Katsuya Kobayashi, Masako Daifu, Masao Matsuhashi, Takefumi Hitomi, Yukihiro Yamao, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Takeharu Kunieda, Riki Matsumoto*, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題 Ictal direct current shifts can be intracranially recorded even with time constant 2 seconds
3. 学会等名 the 12th Asian&Oseanian Epilepsy Congress (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Tomoyuki Fumuro, Masao Matsuhashi, Takehumi Hitomi, Riki Matsumoto*, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題 Visuospatial processing load enhance the brain activity associated with motor preparation
3. 学会等名 31st International Congress of Clinical Neurophysiology (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kei Sato, Takehumi Hitomi, Masao Matsuhashi, Katsuya Kobayashi, Akihiro Shimotake, Akira Kuzuya, Aya Kinoshita, Riki Matsumoto*, Hiroshi Shibasaki, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題 Diagnosis of dementia and subtype classification by digital EEG: is it also endorsed by automatic EEG analysis?
3. 学会等名 31st International Congress of Clinical Neurophysiology (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名	Mitsuhiro Sakamoto, Riki Matsumoto*, Junpei Togawa, Hirohumi Takeyama, Yuichiro Hashi, Katsuya Kobayashi, Akihiro Shimotake, Frank Leypoldt, Klaus- Peter Wandinger, Takayuki Kondo, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題	Revised Diagonositc algorithm for autoimmune epilepsy without antibody testing: its proposal and validation with a restrospective cohort
3. 学会等名	16th Asian Oceanian Congress Of Neurology (国際学会)
4. 発表年	2018年

1. 発表者名	Masaya Togo, Riki Matsumoto*, Takuro Nakae, Hirohumi Takeyama, Katsuya Kobayashi, Kiyohide Usami, Akihiro Shimotake, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Takeharu Kunieda, Susumu Miyamoto, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題	Human medial parietal cortices have distinct connectivity patterns: Evidence from standardized connectivity map using cortico-cortical evoked potential
3. 学会等名	第41回神経科学大会
4. 発表年	2018年

1. 発表者名	Shunsuke Kajikawa, Katsuya Kobayashi, Masako Daifu, Masao Matsuhashi, Takefumi Hitomi, Yukihiro Yamao, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Takeharu Kunieda, Riki Matumoto*, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題	Ictal direct current shifts with time constant (TC) 2 seconds and its comparison with TC 10 seconds: invasive EEG data from intractable human epilepsy
3. 学会等名	第41回神経科学大会
4. 発表年	2018年

1. 発表者名	Shunsuke Kajikawa, Katsuya Kobayashi, Masako Daifu, Masao Matsuhashi, Takefumi Hitomi, Yukihiro Yamao, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Takeharu Kunieda, Riki Matumoto*, Ryosuke Takahashi,
2. 発表標題	Ictal direct current shifts can be intracranially recorded even with time constant 2 seconds
3. 学会等名	第59回日本神経学会学術大会
4. 発表年	2018年

1. 発表者名	Shuichiro Neshige, Katsuya Kobayashi, Masao Matsuhashi, Akihiro Shimotake, Takehumi Hitomi, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Takeharu Kunieda, Riki Matsumoto*, Ryosuke Takahashi, Susumu Miyamoto, Hirofumi Maruyama, Akio Ikeda
2. 発表標題	Electrocorticography-based non-primary motor area mapping comparable with cortical stimulation
3. 学会等名	第59回日本神経学会学術大会
4. 発表年	2018年

1. 発表者名	Masaya Togo, Riki Matsumoto*, Akihiro Shimotake, Tamaki Kobayashi, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Takeharu Kunieda, Susumu Miyamoto, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題	Role of premotor and precentral negative motor area in praxis: a direct electrical stimulation study
3. 学会等名	第59回日本神経学会学術大会
4. 発表年	2018年

1. 発表者名	Makiko Ota, Akihiro Shimotake, Riki Matsumoto*, Mitsuhiro Sakamoto, Masako Daifu, Takuro Nakae, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Takeharu Kunieda, Susumu Miyamoto, Ryosuke Takahashi, Matthew Lambon Ralph, Akio Ikeda
2. 発表標題	Compensation of semantic memory after dominant anterior temporal lobe resection in epilepsy surgery
3. 学会等名	第41回日本神経科学大会?
4. 発表年	2018年

1. 発表者名	Kiyohide Usami, Anna Korzeniewska, Riki Matsumoto*, Takefumi Hitomi, Kunieda Takeharu, Nobuhiro Mikuni, Katsuya Kobayashi, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Susumu Miyamoto, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda, and Nathan E. Crone
2. 発表標題	Changes in human brain network connectivity during sleep and wakefulness ? a study of neural propagation evoked by single-pulse electrical stimulation
3. 学会等名	31st International Congress of Clinical Neurophysiology (国際学会)
4. 発表年	2018年

1. 発表者名	Masayuki Honda, Riki Matsumoto*, Akihiro Shimotake, Yuichiro Hashi, Mitsuhiro Sakamoto, Daiki Fujii, Katsuya Kobayashi, Takahiro Mitsueda, Akira Kuzuya, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題	Chronological Volumetry of Amygdala, Hippocampus and Whole Brain and Association with Clinical Course in Patients with Anti Voltage-gated Potassium Channel-complex Antibodies Associated Limbic Encephalitis(VGKC-LE)
3. 学会等名	第52回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年	2018年

1. 発表者名	Masayuki HONDA, Riki MATSUMOTO, Akihiro SHIMOTAKE, Yuichiro HASHI, Mitsuhiro SAKAMOTO, Daiki FUJII, Katsuya KOBAYASHI, Takahiro MITSUEDA, Akira KUZUYA, Ryosuke TAKAHASHI, Akio IKEDA
2. 発表標題	Chronological Change in Mesial Temporal Structures and Whole Brain Volumetry in Patients with Anti-Voltage-Gated Potassium Channel Complex (VGKC) Antibodies Associated Limbic Encephalitis.
3. 学会等名	31st International Congress of Clinical Neurophysiology (国際学会)
4. 発表年	2018年

1. 発表者名	Tamaki Kobayashi, Riki Matsumoto, Akihiro Shimotake, Masaya Togo, Yoshiki Arakawa, Yukihiro Yamao, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Akio Ikeda, Shiro Yano, Takaki Maeda, Hiroshi Imamizu, Susumu Miyamoto
2. 発表標題	The role of the insula in Sense of Agency: supportive data from neurosurgical cases
3. 学会等名	16th Asian Oceanian Congress Of Neurology (国際学会)
4. 発表年	2018年

1. 発表者名	M. Togo, R. Matsumoto, A. Shimotake, T. Kobayashi, T. Kikuchi, K. Yoshida, T. Kunieda, S. Miyamoto, R. Yakahashi and A. Ikeda
2. 発表標題	Role of premotor and precentral negative motor area in praxis: a direct electrical stimulation study
3. 学会等名	May 23-26 59th annual meeting of the Japanese society of neurology
4. 発表年	2018年

1. 発表者名	Akihiro Shimotake, Riki Matsumoto, Katsuya Kobayashi, Takayuki Kikuchi, Takeharu Kunieda, Susumu Miyamoto, Ryosuke Takahashi, Matthew Lambon-Ralph, Akio Ikeda
2. 発表標題	Visual and auditory semantic processing converges in the anterior temporal lobe
3. 学会等名	The 41th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society
4. 発表年	2018年

1. 発表者名	Masako Daifu, Riki Matsumoto, Akihiro Shimotake), Makiko Ota, Mitsuhiro Sakamoto, Katsuya Kobayashi, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Takeharu Kunieda, Ryosuke Takahashi, Matthew A. Lambon Ralph, Akio Ikeda
2. 発表標題	Double dissociation of the semantic and phonological processing in reading Kanji and Kana words - A quantitative low-intensity cortical stimulation study
3. 学会等名	The 41th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society
4. 発表年	2018年

1. 発表者名	Makiko Ota, Akihiro Shimotake, Riki Matsumoto, Mitsuhiro Sakamoto, Masako Daifu, Takuro Nakae, Takayuki. Kikuchi Kazumichi Yoshida, Takeharu Kunieda, Susumu Miyamoto, Ryosuke Takahashi, Matthew A. Lambon Ralph, Akio Ikeda
2. 発表標題	Compensation of semantic memory after dominant anterior temporal lobe resection in epilepsy surgery
3. 学会等名	第59回日本神経学会学術大会
4. 発表年	2018年

1. 発表者名	SHIMOTAKE Akihiro, MATSUMOTO Riki, KOBAYASHI Katsuya, KIKUCHI Takayuki, MASAO Matsuhashi, KAZUMICHI Yoshida, KUNIEDA Takeharu, MIYAMOTO Susumu, TAKAHASHI Ryosuke, IKEDA Akio
2. 発表標題	Functional mapping of visual and auditory semantic processing in the anterior temporal lobe
3. 学会等名	第52回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年	2018年

1. 発表者名 Norihiko Muraoka, Riki Matsumoto*, Katsuya Kobayashi, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題 A case of focal epilepsy presenting the lower jaw
3. 学会等名 第52回てんかん学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kazuki Oi, Katsuya Kobayashi, Takefumi Hitomi, Akihiro Shimotake, Shuichiro Neshige, Daiki Fujii, Riki Matsumoto, Shuhei Kasama, Masutaro Kanda, Yohiaki Wada, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda,
2. 発表標題 Very small dose of perampanel improved refractory cortical myoclonus
3. 学会等名 第59回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Katsuya Kobayashi, Riki Matsumoto, Kiyohide Usami, Akihiro Shimotake, Masao Matsushashi, Yukihiro Yamao, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Takeharu Kunieda, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda.
2. 発表標題 Underlying excitability at the focus modulates network dynamics of seizure propagation: a single-pulse electrical stimulation study time-locked to spike and post-spike slow.
3. 学会等名 American Epilepsy Society (AES) 2018 Annual Meeting (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Akio Ikeda
2. 発表標題 How to predict good responders to vagus nerve stimulation.
3. 学会等名 Beijing International Pediatric Epilepsy Forum (BIPEP) 2018 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1 . 発表者名 Akio Ikeda
2 . 発表標題 Clinical observation of DC shifts in epilepsy, Symposium Wide-band EEG by Neuron and Glia: From Basic and Clinical Application in Epilepsy.
3 . 学会等名 31st International Congress of Clinical Neurophysiology (招待講演) (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Akio Ikeda
2 . 発表標題 Neuron, glia, and epilepsy: is it a paradigm shift?
3 . 学会等名 Epilepsy Grand Rounds, University Hospitals, Neurological Institute, School of Medicine, Case Western Reserve University Cleveland, OH, USA, 5/7/2018 (招待講演)
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Akio Ikeda
2 . 発表標題 Subdurally recorded HF0 may represent extracellular or intercellular activity? SIG 1: Clinical and basic researchs of EEG (Discussion on the researches of Basic and clinical EEG).
3 . 学会等名 23rd Korean Epilepsy Congress(KEC2018) (招待講演) (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Akio Ikeda
2 . 発表標題 Epilepsy, neuron and glia: is it a paradigm shifts? Presidential symposium, Issues and advanced Technologies in Epilspsy.
3 . 学会等名 23rd Korean Epilepsy Congress(KEC2018). (招待講演) (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1. 発表者名 Akio Ikeda
2. 発表標題 Generator mechanisms of antagonist of AMPA receptor Paroxysmal depolarization shifts (PDS) vs. AED Spotlight on Perampanel. Eisai Satellite Symposium, evolving ladscape in management of epilepsy: experts perspective.
3. 学会等名 the 12th Asian&Oseanian Epilepsy Congress (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Akio Ikeda
2. 発表標題 Development of EEG services: the Japanese experience. CAO A Task Force Session, CAO A ' s global campaign task force session: improving availability and quality of EEG in the region.
3. 学会等名 the 12th Asian&Oseanian Epilepsy Congress (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Akio Ikeda
2. 発表標題 Biomarkers of epilepsy: what approaches do we have? EEG biomarkers for neuron and glia.
3. 学会等名 the 12th Asian&Oseanian Epilepsy Congress (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Akio Ikeda
2. 発表標題 CAOA ' s ongoing project Perampanel on cortical myoclonus.
3. 学会等名 the 12th Asian&Oseanian Epilepsy Congress (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Akio Ikeda
2. 発表標題 Inflammation and epilepsy.
3. 学会等名 31st Annual Scientific Meeting of The Hong Kong Neurological Society (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Akio Ikeda
2. 発表標題 The role of EEG in adult epilepsy care. Teaching course 1-4, , AOCN-ASEPA EEG Workshop.
3. 学会等名 16th Asian Oceanian Congress Of Neurology (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Akio Ikeda
2. 発表標題 What do different frequencies and other modalities tell us about MEG's ability to identify the extent of the epileptic zone?
3. 学会等名 American Epilepsy Society (AES) 2018 Annual Meeting (11/30-12/4/2018, New Orleans, USA). (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Akio Ikeda
2. 発表標題 DC shifts are established tool or still research topic ? Concurrent session: SIG, Wide-band EEG for epilepsy: established tool or research topic?
3. 学会等名 American Clinical Neurophysiology Society, 2019 Annual Meeting and Courses (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Shunsuke Kajikawa, Masao Matsuhashi, Katsuya Kobayashi, Takefumi Hitomi, Masako Daifu, Yukihiro Yamao, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Takeharu Kunieda, Takao Namiki, Ichiro Tsuda, Riki Matumoto, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda
2. 発表標題 Ictal direct current (DC) shifts can be classified with 2 patterns: Comparison of ictal DC shifts between time constant 10 sec and 2 sec: attempt of classification with cluster analysis.
3. 学会等名 American Clinical Neurophysiology Society, 2019 Annual Meeting and Courses (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Akio Ikeda
2. 発表標題 Paroxysmal depolarization shifts (PDS) vs. AED in clinical epilepsy, Unique effects of perampanel on giant SEPs, i.e., paroxysmal depolarization shifts (PDS), Pertinent investigation in epilepsy.
3. 学会等名 20th Joint conference of Indian Epilepsy Society (IES) and Indian Epilepsy Association (IEA) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 十河正弥、松本理器、下竹昭寛、松橋眞生、小林環、菊池隆幸、吉田和道、國枝武治、宮本享、高橋良輔、池田昭夫
2. 発表標題 高頻度皮質電気刺激による高次運動障害の発現機構の検討：皮質刺激誘発反応と行動解析の包括的検討
3. 学会等名 第48回日本臨床神経生理学学会学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 坂本光弘、松本理器、下竹昭寛、太田真紀子、中谷光良、中江卓郎、菊池隆幸、吉田和道、國枝武治、高橋良輔、池田昭夫
2. 発表標題 発語失行の病態：機能マッピング、電氣的線維追跡からの症例の考察
3. 学会等名 第59回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 尾谷-山田真弓、松本理器、下竹昭寛、坂本光弘、十河正弥、中江卓郎、武山博文、小林勝哉、宇佐美清英、松橋眞生、山尾幸弘、菊池隆幸
2. 発表標題 言語ネットワーク内における中核言語野の結合様式の検討
3. 学会等名 第48回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 戸島麻耶、人見健文、大井和起、濱口敏和、音成秀一郎、小林勝哉、下竹昭寛、松橋眞生、松本理器、高橋良輔、池田昭夫
2. 発表標題 下肢症状を初発・主症状とした 良性成人型家族性ミオクローヌスてんかん (BAFME) の 3 家系 5 例の特徴
3. 学会等名 第52回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 梶川駿介、村井智彦、小林勝哉、人見健文、大封昌子、松橋眞生、山尾幸宏、菊池隆幸、吉田和道、國枝武治、松本理器、高橋良輔、池田昭夫
2. 発表標題 Ictal DC shifts の時定数10 秒と2 秒の頭蓋内脳波記録・表示の相違は、頭皮上脳波でも反映されるか？
3. 学会等名 第14回日本てんかん学会近畿地方会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 梶川駿介、村井智彦、小林勝哉、人見健文、大封昌子、松橋眞生、山尾幸広、菊池隆幸、吉田和道、國枝武治、松本理器、高橋良輔、
2. 発表標題 頭蓋内脳波記録による Ictal DC shifts の時定数 10 秒、 2 秒での比較および頭皮上脳波での波形特性との関連
3. 学会等名 第52回てんかん学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 梶川駿介, 松橋眞生, 小林勝哉, 人見健文, 大封昌子, 山尾幸広, 菊池隆幸, 吉田和道, 國枝武治, 行木孝夫, 津田一郎, 松本理器, 高橋良輔, 池田昭夫
2. 発表標題 発作時直流緩電位 (Ictal DC shifts) の 類型化の試み: 時定数 10 秒と 2 秒の比較と クラスター解析の試み
3. 学会等名 第48回日本神経生理学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 長谷川華子, 戸島麻耶, 梶川駿介, 下竹昭寛, 坂本光弘, 本多正幸, 松本理器, 池田昭夫, 高橋良輔
2. 発表標題 既知抗体が陰性で免疫治療が奏功した自己免疫性てんかんの1 例
3. 学会等名 第14回てんかん学会近畿地方会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 音成秀一郎, 松橋眞夫, 松本理器, 池田昭夫
2. 発表標題 広帯域皮質脳波を用いた運動関連皮質の脳機能マッピングのアルゴリズム: てんかん外科の皮質電気刺激検査からの合理的発展の試み
3. 学会等名 第52回日本てんかん学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 下竹昭寛, 松本理器, 太田真紀子, 坂本光弘, 中江卓郎, 菊池隆幸, 荒川芳輝, 國枝武治, 宮本享, 高橋良輔, 池田昭夫
2. 発表標題 側頭葉腫瘍切除症例における意味認知機能の検討
3. 学会等名 第42回 日本神経心理学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 下竹 昭寛、松本 理器、坂本 光弘、中谷 光良、太田 真紀子、小林 勝哉、菊池 隆幸、吉田 和道、國枝 武治、宮本 享、高橋 良輔、池田 昭夫
2. 発表標題 低い刺激強度の皮質電気刺激と呼称課題の組み合わせによる言語機能マッピングの有用性
3. 学会等名 第59回日本神経学会学術大会;
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 松本理器
2. 発表標題 臨床システム神経科学によるヒト脳病態・高次機能の解明
3. 学会等名 分子発生学セミナー（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 松本理器、下竹昭寛、十河正弥、菊池隆幸、國枝武治、池田昭夫
2. 発表標題 皮質電気刺激による脳機能マッピング
3. 学会等名 第48回日本臨床神経生理学会学術大会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 松本理器、小林勝哉、人見健文、池田昭夫
2. 発表標題 ミオクロームスてんかんの脳波特性・S-08 ミオクロームスの最近の知見
3. 学会等名 第59回日本神経学会学術大会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 人見健文、小林勝哉、音成秀一郎、Shamima Sultana、佐藤啓、谷岡洸介、下竹昭寛、松本理器、高橋良輔、池田昭夫
2. 発表標題 良性成人型家族性ミオクローヌスてんかんにおける脳波所見の経時的変化
3. 学会等名 第59回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 人見健文、小林勝哉、音成秀一郎、高橋良輔、池田昭夫
2. 発表標題 良性成人型家族性ミオクローヌスてんかん(BAFME)
3. 学会等名 第48回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 松本理器、山尾幸広、菊池隆幸、吉田和道、國枝武治、池田昭夫、宮本享
2. 発表標題 てんかん外科における最新のてんかん診断学. PS3 てんかん外科と機能的脳神経外科
3. 学会等名 第38回日本脳神経外科コンgres総会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 松本理器
2. 発表標題 てんかん
3. 学会等名 京都市委託事業 難病患者医療講演・相談会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 松本理器
2. 発表標題 非てんかん性異常・意識障害
3. 学会等名 第4回脳波セミナーアドバンスコース（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 菊池隆幸、小林環、永井靖識、山尾幸広、吉田和道、小林勝哉、下竹昭寛、松本理器、池田昭夫、國枝武治、宮本享
2. 発表標題 てんかんにおける覚醒下手術の役割
3. 学会等名 第52回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 松本理器
2. 発表標題 高齢者のてんかん
3. 学会等名 第60回日本老年医学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 松本理器、小林環、下竹昭寛、吉田和道、矢野史朗、前田貴記、今水寛、池田昭夫
2. 発表標題 鳥皮質障害による運動主体感の動的変容：脳外科手術症例からの知見・OS21：身体性システム・脳内身体表現のモデル化からリハビリテーション
3. 学会等名 第36回日本ロボット学会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 十川純平、松本理器、井内盛遠、松橋真生、小林勝哉、宇佐美清英、人見健文、中江卓郎、菊池隆幸、吉田和道、國枝武治、宮本享、高橋良輔、池田昭夫
2. 発表標題 意識における後方皮質領野の意義：皮質脳波における異周波数間結合解析による検討
3. 学会等名 第48回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 田口智朗、下竹昭寛、藤井大樹、小林勝哉、松本理器、高橋良輔、池田昭夫
2. 発表標題 心因性非てんかん発作と鑑別を要した自己免疫性てんかんの1例
3. 学会等名 第48回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 人見健文、音成秀一郎、小林勝哉、松本理器、高橋良輔、池田昭夫
2. 発表標題 遺伝子検査陽性の良性成人型家族性ミオクローヌスてんかん（BAFME）における巨大体性感覚誘発電位（巨大SEP）とC反射の陽性率
3. 学会等名 第48回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小林勝哉、松本理器、宇佐美清英、下竹昭寛、山尾幸宏、菊池隆幸、吉田和道、國枝武治、高橋良輔、池田昭夫
2. 発表標題 てんかんネットワークの結合性はてんかん焦点での興奮・抑制により動的に変動する：皮質皮質間誘発電位を用いた検討
3. 学会等名 第48回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中江卓郎、松本理器、十河正弥、武山博文、小林勝哉、下竹昭寛、松橋眞生、山尾幸広、菊池隆幸、吉田和道、國枝武治、池田昭夫、宮本享
2. 発表標題 皮質刺激皮質誘発電位 (CCEP) における律動反応?機能ネットワークから見た反応特性の多様性?
3. 学会等名 第48回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 迎伸孝、松本理器、小林勝哉、十河正弥、松橋眞生、中江卓郎、武山博文、下竹昭寛、山尾幸広、菊池隆幸、吉田和道、飯原弘二、高橋良輔、池田昭夫
2. 発表標題 皮質皮質間誘発電位 (CCEP) の分類と分布の検討
3. 学会等名 第48回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 濱口敏和、松本理器、大封昌子、十河正弥、小林勝哉、下竹昭寛、松橋眞生、高橋良輔、池田昭夫
2. 発表標題 抗VGKC受容体複合体交代陽性脳炎の生理的診断マーカー候補：発作時脳波変化の時間周波数解析による検討
3. 学会等名 第48回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 文室知之、松橋眞生、人見健文、松本理器、高橋良輔、池田昭夫、赤松直樹
2. 発表標題 視覚的な注意条件が運動準備段階の脳電位に与える影響
3. 学会等名 第48回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 人見健文、音成秀一郎、小林勝哉、戸島麻耶、大井和起、下竹昭寛、松橋眞生、松本理器、神田益太郎、石浦浩之、辻省次、高橋良輔、池田昭夫
2. 発表標題 良性成人型家族性ミオクローヌステんかん (BAFME) における原因遺伝子のリピート数と神経生理学的所見の関係
3. 学会等名 第52回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 下竹昭寛、松本理器、小林勝哉、菊池隆幸、松橋眞生、吉田和道、國枝武治、宮本享、高橋良輔、池田昭夫
2. 発表標題 Functional mapping of visual and auditory semantic processing in the anterior temporal lobe
3. 学会等名 第52回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 伊藤陽祐、福多真史、麻生俊彦、増田浩、白水洋史、東島威史、井内盛遠、松本理器、藤井幸彦
2. 発表標題 焦点切除術を施行したてんかん患者の術前EEG-fMRI の検討
3. 学会等名 第52回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山尾幸広、松本理器、國枝武治、荒川芳輝、中江卓郎、菊池隆幸、吉田和道、池田昭夫、宮本享
2. 発表標題 術中言語白質路モニタリングにおける皮質-皮質間誘発電位の麻酔の影響?言語機能保護を目指して?
3. 学会等名 日本脳神経外科学会 第77回学術総会 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山尾幸広、松本理器、國枝武治、荒川芳輝、中江卓郎、菊池隆幸、吉田和道、池田昭夫、宮本享
2. 発表標題 術中脳機能モニタリング
3. 学会等名 第48回日本臨床神経生理学会学術大会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 宇佐美清英
2. 発表標題 Functional Brain Mapping by ECoG-Recent Development ?ECoGによる脳機能マッピング この1年の動向
3. 学会等名 第52回日本てんかん学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 十河正弥、松本理器、下竹昭寛、小林環、菊池隆幸、吉田和道、國枝武治、宮本享、高橋良輔、池田昭夫、
2. 発表標題 「行為」における陰性運動野の役割：高頻度皮質電気刺激を用いた検討
3. 学会等名 脳機能セミナー
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 梶川駿介、下竹昭寛、中村大和、村井智彦、濱口敏和、小林勝哉、人見健文、松橋眞生、松本理器、漆谷真、木下真幸子、池田昭夫、高橋良輔、
2. 発表標題 頭皮上から発作時 direct current (DC) shifts が限局性に出現した症候性全般てんかんの 2 例
3. 学会等名 第60回京滋奈良てんかん懇話会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 濱口敏和、下竹昭寛、人見健文、長谷部祥子、塚本剛士、山門穂高、松橋眞生、松本理器、池田昭夫、高橋良輔。
2. 発表標題 右方向への水平性の緩徐相、正中位への急速相を呈するてんかん性眼振 (Epileptic nystagmus) を認めた右側頭葉てんかんの一例
3. 学会等名 第60回京滋奈良てんかん懇話会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 塚本 剛士、梶川 駿介、本多 正幸、人見 健文、下竹 昭寛、舟木 健史、池田 昭夫、高橋 良輔
2. 発表標題 頭皮上脳波からの局所性 CSD(cortical spreading depolarization)の記録と発作 DC(Direct current)電位との異同:外傷性急性血腫除去術後に非けいれん性重積が疑われた一例.
3. 学会等名 第60回京滋奈良てんかん懇話会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小林勝哉、松本理器、宇佐美清英、下竹昭寛、松橋眞生、十河正弥、梶川駿介、尾谷真弓、山尾幸広、菊池隆幸、吉田和道、國枝武治、高橋良輔、池田昭夫.
2. 発表標題 てんかんネットワークの結合性はてんかん焦点での興奮・抑制により動的に変容する:皮質皮質間誘発電位を用いた検討.
3. 学会等名 第48回日本臨床神経生理学会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Katsuya Kobayashi, Riki Matsumoto, Kiyohide Usami, Akihiro Shimotake, Masao Matsushashi, Yukihiro Yamao, Takayuki Kikuchi, Kazumichi Yoshida, Takeharu Kunieda, Ryosuke Takahashi, Akio Ikeda.
2. 発表標題 Underlying excitability at the focus modulates network dynamics of seizure propagation: a single-pulse electrical stimulation study time-locked to spike and post-spike slow.
3. 学会等名 American Epilepsy Society (AES) 2018 Annual Meeting (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 難治てんかんの克服を目指したグリア病態研究
3. 学会等名 大阪薬科大学第1回学術交流シンポジウム(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 典型的ビデオ紹介, 教育コース、てんかんとは?
3. 学会等名 第59回日本神経学会学術大会(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 Hands-on 7「脳波」
3. 学会等名 第59回日本神経学会学術大会(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Akio Ikeda
2. 発表標題 Glia and epileptogenicity from the clinical approach.
3. 学会等名 第59回日本神経学会学術大会(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 グルタミン酸受容体拮抗薬の作用機序-基礎と臨床の trasnlatability-PDSと抗てんかん薬?臨床の立場から?
3. 学会等名 第60回日本小児神経学会学術集会(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 急性発作性の運動異常症てんかん関連運動異常およびPKC: てんかん発作との類似点と鑑別
3. 学会等名 第12回日本パーキンソン病・運動障害疾患コンgres(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 てんかんの分類と診断(池田昭夫) (他講演者分あり)
3. 学会等名 第7回サマーてんかんセミナー
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 てんかんの病歴聴取、病歴・発作症候の記載は、臨床神経生理学を定性的に言語化したもの
3. 学会等名 近畿成人てんかんセミナー
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 グルタミン酸とAMPA受容体-基礎と臨床の trasnlatability-発作原性、てんかん原性とPDS：臨床的視点
3. 学会等名 第52回日本てんかん学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 生き生きとしたてんかん医療地域連携とてんかん診療拠点の役割 日本てんかん学会のミッション：てんかん診療の多様性に対しての均てんかん化への方策
3. 学会等名 第52回日本てんかん学会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Akio Ikeda
2. 発表標題 Clinical EEG in 21st century:a research topic or tool?
3. 学会等名 第48回日本臨床神経生理学会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 診療ガイドライン2018に基づく、てんかんの診療と治療
3. 学会等名 第20回ニューロトピックス21「てんかん」（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 一般診療における脳卒中とてんかんの鑑別診断
3. 学会等名 第25回東播磨脳卒中フォーラム（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 Session 2 てんかん発作発現メカニズム-up to date グリア・ニューロンからみた発現メカニズム?電気生理学的および臨床的アプローチ?
3. 学会等名 グルタメートカンファランス（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 てんかんと頭痛，てんかんと片頭痛の興奮性の違いは？
3. 学会等名 第19回埼玉頭痛研究会 学術研究会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 講義6 低周波成分脳波・頭蓋内脳波総合
3. 学会等名 第5回ふじさん・てんかん脳波ハンズオンセミナー
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kobayashi K
2. 発表標題 HFOs as an indicator of disease activity
3. 学会等名 2nd American Epilepsy Society Meeting (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小林勝弘
2. 発表標題 小児てんかんの発作症候学ー脳波・ビデオ同時記録による診断ー
3. 学会等名 小児てんかん診療 第181回東北小児神経学会研究会 (四季会)in 紀三井寺 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小林勝弘
2. 発表標題 小児の脳波とてんかんへのアプローチ
3. 学会等名 第14回日本てんかん学会近畿地方会 脳波セミナー (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小林勝弘
2. 発表標題 小児神経科におけるてんかん診療と連携
3. 学会等名 小児神経クリニカルカンファレンス (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小林勝弘
2. 発表標題 Epileptic spasmsの病態生理
3. 学会等名 順天堂大学 てんかんセンター Conference Seminar of SPASM (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小林勝弘
2. 発表標題 てんかん性高周波振動の意義と臨床応用
3. 学会等名 第52回日本てんかん学会学術集会プレコンgresシンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小林勝弘
2. 発表標題 Spasmsの発作時・発作間欠時脳波における徐波と速波振動
3. 学会等名 第52回日本てんかん学会学術集会シンポジウム2「スパズムの起源を探る」(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Naoyuki Sato, Riki Matsumoto, Akihiro Shimotake, Masao Matsushashi, Takayuki Kikuchi, Takeharu Kunieda, Hiroaki Mizuhara,
2. 発表標題 An electrocorticogram analysis based on the theoretical coupling between subpopulation network structure and cross-spectral
3. 学会等名 Annual meeting of Socity for Neurosciene 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ikeda A
2. 発表標題 'Adverse events of epilepsy management' Does AED worsen seizures?
3. 学会等名 19th Joint conference of India Epilepsy Society (IES) and Indian Epilepsy Association (IEA), Bangalore, Feb 2, 2017 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Ikeda A
2. 発表標題 Epilepsy across ages: Pediatrics to Geriatrics New onset epilepsy syndromes in elderly.
3. 学会等名 19th Joint conference of India Epilepsy Society (IES) and Indian Epilepsy Association (IEA), Bangalore, Feb 2, 2017 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Ikeda A
2. 発表標題 How do we delineate the source of wide-band EEG data: Epileptic DC shifts and HFO?
3. 学会等名 Biomagnetic Sendai 2017, Seminar 4, Sendai, Japan, May 24, 2017 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Ikeda A
2. 発表標題 Intractable Focal Epilepsy.
3. 学会等名 10th International Epilepsy Colloquium. (2017/6/15-18, Miami, USA) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Ikeda A
2. 発表標題 Wide-band EEG by neurons and glia: from clinical observation in epilepsy, International Symposium
3. 学会等名 Neural Oscillation Conference 2017 (2017/6/18, Tokyo, Japan) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Ikeda A
2. 発表標題 EEG and electrophysiological monitoring
3. 学会等名 15th Advanced International Epilepsy Course: Bridging Basic with Clinical Epileptology-6, (2017/7/17-28, San Servolo, Italy) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Ikeda A
2. 発表標題 what to do when nothing works Surgery and stimulation
3. 学会等名 Bridging Basic with Clinical Epileptology-6, The XX World Congress of Neurology (2017/9/16-21, Kyoto, Japan) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Ikeda A
2. 発表標題 Update on progressive myoclonus epilepsy (PME)
3. 学会等名 The XX World Congress of Neurology (2017/9/16-21, Kyoto, Japan) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Ikeda A
2. 発表標題 Can infraslow and DC shift improve epilepsy treatment ?
3. 学会等名 Beijing Epilepsy and Neurophysiology Summit (BENS2017), September 23, 2017, Beijing (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Matsumoto R
2. 発表標題 Cortico-cortical evoked potentials& spectral responses to probe connectivity and cortical excitability.
3. 学会等名 Advanced ECoG/EEG Analysis in Epilepsy 2017 (International Postcongress Symposium of the 51st Annual Congress of the Japan Epilepsy Society), Kyoto, 2017/11/05 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Matsumoto R, Kikuchi T, Yoshida K, Kunieda T, Ikeda A
2. 発表標題 Subdural recording in epilepsy. M08C: Clinical Neurophysiology - Invasive studies
3. 学会等名 The XX World Congress of Neurology (2017/9/16-21, Kyoto, Japan) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Matsumoto R, Usami K, Kikuchi T, Yoshida K, Ikeda A
2. 発表標題 Neural basis of altered consciousness during sleep: insights from effective connectivity and induced high gamma activities. Problems of Consciousness and Neuropsychiatric Disorders and Network Disease Roundtable 1: Consciousness and Multiple Levels of Non-Linear Brain
3. 学会等名 International Symposium: Neural Oscillation Conference 2017, (2017/6/17, Tokyo, Japan) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1 . 発表者名 Kobayashi K
2 . 発表標題 Significance of state-of-the-art wide-band EEG analysis in pediatric epileptic encephalopathy
3 . 学会等名 14th Asian and Oceanian Congress of Child Neurology, (2017/5/12, Fukuoka, Japan) (招待講演) (国際学会)
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 Ikeda A
2 . 発表標題 EEG Reading with Master (all diseases, all ages)
3 . 学会等名 2017 EEG Master Class Agenda By TES and ASEPA, Dec 9th, 2017; Taipei, Taiwan (招待講演) (国際学会)
4 . 発表年 2017年

1 . 発表者名 Ikeda A
2 . 発表標題 New onset epilepsy syndromes in elderly, Epilepsy across ages: Pediatrics to Geriatrics
3 . 学会等名 19th Joint conference of Indian Epilepsy Society (IES) and Indian Epilepsy Association (IEA), Nimhans Convention Centre, Bengaluru, India, 2nd -4th February 2018 (招待講演) (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Ikeda A
2 . 発表標題 Does AED worsen seizures? 'Adverse events of epilepsy management'
3 . 学会等名 19th Joint conference of Indian Epilepsy Society (IES) and Indian Epilepsy Association (IEA), Nimhans Convention Centre, Bengaluru, India, 2nd -4th February 2018 (招待講演) (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1. 発表者名 Matsumoto R, Kobayashi K, Kikuchi T, Yoshida K, Kunieda T, Miyamoto S, Ikeda A
2. 発表標題 Novel surrogate biomarkers of epileptogenicity using wideband ECoG analyses. Symposium: Novel approaches for localization of epileptogenic zone.
3. 学会等名 The 76th Annual Meeting of the Japan Neurosurgery Society, (2017/10/12, Nagoya) (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Matsumoto R
2. 発表標題 Introduction. Dual stream model of language - its function, connectivity and plasticity: insights from clinical neuroscience
3. 学会等名 The 40th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society (Neuroscience 2017), (2017/7/22, Tokyo) (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Ikeda A
2. 発表標題 Glial dysfunction and intractable epilepsy-from basic to clinical studies-Glia, DC shifts/red slow, and epilepsy (難治てんかん焦点におけるグリアの役割:臨床神経生理学からのアプローチ)
3. 学会等名 Annual congress of 60th Japanese Society for Neurochemistry (2017/9/9, Sendai, Japan) (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Shimotake A, Matsumoto R, Kikuchi R, Yoshida K, Kunieda R, Ikeda A
2. 発表標題 Role of the anterior temporal lobe in the ventral pathway: evidence from presurgical evaluations in epilepsy patients
3. 学会等名 The 40th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society, (2017/7/22, Tokyo, Japan) (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Ikeda A
2. 発表標題 Neuron, glia and epilepsy: is it a paradigm shift?
3. 学会等名 Annual congress of 51th Japanese Epilepsy Society (2017/11/4, Kyoto, Japan) (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kikuchi T
2. 発表標題 Introduction of SEEG to a single institute in Japan -A case of Kyoto University Hospital
3. 学会等名 Annual congress of 51th Japanese Epilepsy Society (2017/11/4, Kyoto, Japan) (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 脳神経外科医のためのデジタル脳波講習会
3. 学会等名 第73回日本脳神経外科学会近畿支部学術集会 大阪, 2017/4/8 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 松本理器, 下竹昭寛, 山尾幸広, 菊池隆幸, 國枝武治
2. 発表標題 てんかんの治療戦略: てんかん外科における言語機能温存へ向けた試み. シンポジウムII. 高次脳機能障害の治療戦略.
3. 学会等名 第41回日本神経心理学会. 一橋講堂, 東京, 2017/10/13 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 松本理器、下竹昭寛、菊池隆幸、國枝武治、池田昭夫
2. 発表標題 皮質脳波と高次脳機能ネットワーク．教育講演B．
3. 学会等名 第47回日本臨床神経生理学会．パシフィコ横浜，横浜，2017/11/25（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 松本理器，下竹昭寛，山尾幸広，菊池隆幸，國枝武治
2. 発表標題 てんかんの治療戦略：てんかん外科における言語機能温存へ向けた試み．シンポジウムII．高次脳機能障害の治療戦略
3. 学会等名 第41回日本神経心理学会．一橋講堂，東京，2017/10/13（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 小林勝哉、松本理器、宇佐美清英、菊池隆幸、吉田和道、國枝武治、池田昭夫
2. 発表標題 皮質電気刺激を用いたてんかん原性評価と関連ネットワーク解析
3. 学会等名 第51回日本てんかん学会学術集会．京都．2017/11/3-5（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 下竹昭寛
2. 発表標題 マラソンレクチャー：vEEG 成人ケーススタディ (Long-term video EEG monitoring in adults)
3. 学会等名 第51回日本てんかん学会学術集会 京都 2017/11/3（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 人見健文、谷岡洸介、高橋良輔、池田昭夫
2. 発表標題 遠隔脳波判読. シンポジウム6遠隔医療(脳波とテレメディスン)
3. 学会等名 第51回日本てんかん学会学術集会. 京都 2017/11/3 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 人見健文、谷岡洸介、高橋良輔、池田昭夫
2. 発表標題 日本の地域レベルでの遠隔脳波判読の取り組みの現状と問題点. シンポジウム It's a small world: remote reading system of digital EEG
3. 学会等名 第47回日本臨床神経生理学会学術大会 横浜、2017年11月29日 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 人見健文
2. 発表標題 正常脳波の判読・法的脳死判定
3. 学会等名 第73回日本脳神経外科学会近畿支部学術集会特別企画 「脳神経外科医のためのデジタル脳波講習会」 2017/4/8 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 小林勝哉
2. 発表標題 ヒトてんかん脳でみられる脳律動(オシレーション)と病態解明
3. 学会等名 次世代脳シンポジウム(新学術領域研究4領域合同若手シンポジウム) 東京(一橋講堂), 2017/12/20 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 デジタル脳波の遠隔判読診断の現状
3. 学会等名 京都大学第3回デジタルヘルスシンポジウム－PHRと情報銀行の今後の展望－、平成29年11月17日、京都（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 てんかん性異常と関連脳波所見(初級編)
3. 学会等名 日本臨床神経生理学会関連講習会、第11回 脳波・筋電図セミナー、平成30年1月20日、京都（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 脳波の時間広域周波数帯域解析の入門
3. 学会等名 日本臨床神経生理学会関連講習会、第11回 脳波・筋電図セミナー、平成30年1月20日、京都（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 脳波レポートの書き方
3. 学会等名 日本臨床神経生理学会関連講習会、第11回 脳波・筋電図セミナー、平成30年1月20日、京都（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 脳電位解析からのグリア機能の解明：てんかん原性の臨床生理学的biomarker? (red slowはあるか?)
3. 学会等名 浜松医科大大学院特別講演. 浜松, 2017/4/14 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 菊池隆幸, 山尾幸広, 吉田和道, 荒川芳輝, 松本理器, 國枝武治, 宮本享
2. 発表標題 覚醒下手術における電気生理学的線維追跡法の応用 高次脳機能温存の試み
3. 学会等名 Awake Surgery学会 東京. 2017/9/30 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 菊池隆幸
2. 発表標題 てんかんをめぐる病診連携 てんかん外科手術について てんかん診療における役割と実際
3. 学会等名 第51回日本てんかん学会学術集会. 京都 2017/11/3 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 菊池隆幸
2. 発表標題 脳動静脈奇形塞栓術に関わるエビデンス
3. 学会等名 第33回日本脳神経血管内治療学会. 東京 2017/11/24 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Daifu M, Inouchi M, Matsuhashi M, Kobayashi K, Shimotake A, Hitomi T, Yoshida K, Kunieda T, Matsumoto R, Takahashi R, Ikeda A
2. 発表標題 Co-occurrence of slow and high frequency oscillations (HFOs) in invasively recorded, interictal state in epilepsy patients: Is it a 'Red slow'?
3. 学会等名 The XX World Congress of Neurology (2017/9/16-21, Kyoto, Japan) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kobayashi K, Matsumoto R, Usami K, Matsuhashi M, Shimotake A, Nakae T, Takeyama H, Kikuchi T, Yoshida K, Kunieda T, Takahashi R, Ikeda A
2. 発表標題 Safety of single-pulse electrical stimulation for cortico-cortical evoked potentials in epileptic human cerebral cortex
3. 学会等名 The XX World Congress of Neurology (2017/9/16-21, Kyoto, Japan) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Ota M, Shimotake A, Matsumoto R, Sakamoto M, Daifu M, Nakae T, Kikuchi T, Yoshida K, Kunieda T, Miyamoto S, Takahashi R, Matthew L.R, Ikeda A
2. 発表標題 Compensatory semantic processing after resection of the anterior temporal lobe in epilepsy surgery
3. 学会等名 The XX World Congress of Neurology (2017/9/16-21, Kyoto, Japan) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Murai T, Matsuhashi M, Hitomi T, Kobayashi K, Shimotake A, Inouchi M, Kikuchi T, Yoshida K, Kunieda T, Matsumoto R, Takahashi R, Ikeda A
2. 発表標題 Invasive 3D source localization by wide-band electroencephalography findings
3. 学会等名 The XX World Congress of Neurology (2017/9/16-21, Kyoto, Japan) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Nakatani M, Matsumoto R, Kobayashi K, Hitomi T, Inouchi M, Matsuhashi M, Kinoshita M, Kikuchi T, Yoshida K, Kunieda T, Takahashi R, Hattori N and Ikeda A
2. 発表標題 Inhibitory effects of electric cortical stimulation on interictal epileptiform discharges in human epileptic focus,
3. 学会等名 The XX World Congress of Neurology (2017/9/16-21, Kyoto, Japan)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Neshige S, Matsuhashi M, Sakurai T, Kobayashi K, Shimotake A, Kikuchi T, Yoshida K, Kunieda T, Matsumoto R, Maruyama H, Takahashi R and Ikeda A
2. 発表標題 Efficacy of Wide-Band Electrographic(ECOg) on Mapping of the Primary Sensori-Motor Area Compared with Electrical Cortical Stimulation (ECS)
3. 学会等名 The XX World Congress of Neurology (2017/9/16-21, Kyoto, Japan) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Sakamoto M, Matsumoto R, Togawa J, Takeyama H, Hashi Y, Kobayashi K, Shimotake A, Leypoldt F, Wandinger K.P, Kondo T, Takahashi R, Ikeda A
2. 発表標題 Proposal of a diagnostic algorithm for autoimmune epilepsy: a preliminary retrospective cohort study
3. 学会等名 The XX World Congress of Neurology (2017/9/16-21, Kyoto, Japan) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Sultana S, Hitomi T, Daifu M, Matsuhashi M, Takahashi R, Ikeda A
2. 発表標題 Comparison in after-slow activity of epileptiform discharges and sharp transients among different time constant: further endorsement of operational definition of spike/sharp wave vs. sharp transients
3. 学会等名 The XX World Congress of Neurology (2017/9/16-21, Kyoto, Japan) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Takeyama H, Matsumoto R, Usami K, Shimotake A, Kunieda T, Miyamoto S, Takahashi R, Ikeda A
2. 発表標題 Higher-order motor cortices actively engage in motor inhibition: cortical stimulation and event-related potentials as an evidence from subdural electrodes.
3. 学会等名 The XX World Congress of Neurology (2017/9/16-21, Kyoto, Japan) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Togo M, Matsumoto R, Shimotake A, Kobayashi T, Kikuchi T, Yoshida K, Matsuhashi M, Kunieda T, Miyamoto S, Takahashi R, Ikeda A
2. 発表標題 Role of the negative motor area in praxis: A high frequency electrical cortical stimulation study
3. 学会等名 The XX World Congress of Neurology (2017/9/16-21, Kyoto, Japan) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Hitomi T, Kobayashi K, Murai T, Sakurai T, Matsumoto R, Takahashi R, Ikeda A
2. 発表標題 Positive rate of giant somatosensory evoked potential (giant SEP) and C reflex in benign adult familial myoclonus epilepsy (BAFME)
3. 学会等名 The XX World Congress of Neurology (2017/9/16-21, Kyoto, Japan) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kobayashi K, Akiyama T, Oka M, Endoh F, Akiyama M, Shibata T, Hanaoka Y, Yoshinaga H
2. 発表標題 Fast (40-150 Hz) oscillations are associated with positive slow waves in the scalp ictal EEGs of epileptic spasms in West syndrome
3. 学会等名 The 32nd International Epilepsy Congress (2017/9/3, Barcelona, Spain) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Inada T, Kobayashi K, Matsumoto R, Nakae T, Shibata S, Yamao Y, Daifu M, Togawa J, Kikuchi T, Matsuhashi M, Yoshida K, Kunieda T, Kobayashi K, Ikeda A, Miyamoto S
2. 発表標題 Effects of natural sleep and general anesthesia with propofol upon interictal high frequency oscillations (HFOs).
3. 学会等名 71st American Epilepsy Society Annual Meeting (2017/12/1-5, Washington DC, USA) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Nakatani M, Matsumoto R, Kobayashi K, Hitomi T, Inouchi M, Matsuhashi M, Kinoshita M, Kikuchi T, Yoshida K, Kunieda T, Takahashi R, Hattori N, Ikeda A
2. 発表標題 Electric cortical stimulation inhibits interictal epileptiform discharge and related high frequency activity in human epileptic focus.
3. 学会等名 The 71st American Epilepsy Society Annual meeting 2017. (2017/12/2, Washington D.C, USA) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Togawa J, Inouchi M, Matsumoto R, Matsuhashi M, Kobayashi K, Usami K, Hitomi T, Nakae T, Kikuchi T, Yoshida K, Kunieda T, Miyamoto S, Takahashi R, Ikeda A
2. 発表標題 Spatio-temporal dynamics of interaction between slow and fast waves in humans during sleep.
3. 学会等名 The 71st American Epilepsy Society Annual meeting 2017. (2017/12/2, Washington D.C, USA) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Takeyama H, Matsumoto R, Usami K, Shimotake A, Kikuchi T, Yoshida K, Kunieda T, Miyamoto S, Takahashi R, Ikeda A
2. 発表標題 Active engagement of higher-order motor cortices in motor inhibition: Evidence from direct neural recording and stimulation during Go/No-Go paradigm.
3. 学会等名 Society for Neuroscience 2017 (2017/11/11, Washington, DC, USA) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Togo M, Matsumoto R, Nakae T, Takeyama H, Kobayashi K, Shimotake A, Usami K, Kikuchi T, Yoshida K, Kunieda T, Miyamoto S, Takahashi R, Ikeda A
2. 発表標題 Functional connectivity from human superior parietal lobule and medial parietal lobe: A cortico-cortical evoked potential (CCEP) study.
3. 学会等名 Society for Neuroscience 2017(2017/11/11, Washington D.C./USA) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kinboshi M, Mukai T, Nagao Y, Shimizu S, Ito H, Ikeda A, Ohno Y
2. 発表標題 Dysfunction of astrocytic Kir4.1 channels induces BDNF expression
3. 学会等名 The XX World Congress of Neurology (2017/9/16-21, Kyoto, Japan) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Hitomi T, Kobayashi K, Murai T, Sakurai T, Matsumoto R, Takahashi R, Ikeda A
2. 発表標題 Positive rate of giant somatosensory evoked potential (giant SEP) and C reflex in benign adult familial myoclonus epilepsy (BAFME).
3. 学会等名 The XX World Congress of Neurology (2017/9/16-21, Kyoto, Japan) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Sato K, Ohi T, Shozaki T, Kariya S
2. 発表標題 Cochlear implantation in a patient with superficial siderosis of the central nervous system.
3. 学会等名 The XX World Congress of Neurology (2017/9/16-21, Kyoto, Japan) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Usami Ki, Korzeniewska A, Matsumoto R, Kunieda T, Mikuni Ni, Kobayashi Ki, Kikuchi T, Yoshida K, Miyamoto S, Takahashi R, Ikeda A, Nathan E. Crone
2. 発表標題 Sleep exerts a change in network effective connectivity - Causality analysis of human brain network evoked by single-pulse electrical stimulation.
3. 学会等名 The 71st American Epilepsy Society Annual meeting 2017. (2017/12/2, Washington D.C, USA) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Fujii D
2. 発表標題 Does temporal evolution occur in ictal high-frequency oscillations in patients with intractable partial epilepsy?: a concern about local field potentials vs. action potentials.
3. 学会等名 Advanced ECoG/EEG Analysis in Epilepsy (Post-Congress 1 in the 51st Annual Congress of the Japan Epilepsy Society in KYOTO) Kyoto (Kyoto International Conference Center) 2017/11/5 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kikuchi T, Ishii A, Chihara H, Arai D, Ando M, Takenobu Y, Okada T, Takagi Y, Miyamoto S
2. 発表標題 Occlusion status on Magnetic Resonance Angiography is associated with risk of delayed ischemic events in cerebral aneurysms treated with stent-assisted coiling.
3. 学会等名 14TH CONGRESS OF THE WORLD FEDERATION OF INTERVENTIONAL AND THERAPEUTIC NEURORADIOLOGY, Hungary 2017/10/19. (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Daifu M, Matsumoto R, Shimotake A, Ota M, Sakamoto M, Nakae T, Kobayashi K, Kikuchi T, Yoshida K, Kunieda T, Takahashi R, Lambon Ralph M, Ikeda A
2. 発表標題 Functional gradient of the ventral temporal area in reading Kanji and Kana words -A quantitative low-intensity cortical stimulation study.
3. 学会等名 第40回日本神経科学大会, 千葉, 2017/7/20-22
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Takeyama H, Matsumoto R, Nakae T, Kobayashi K, Usami K, Shimotake A, Kikuchi T, Yoshida K, Kunieda T, Miyamoto S, Takahashi R Ikeda A
2. 発表標題 The human entorhinal cortex is connected with the broad neocortical regions through the hippocampalthalamo-cortical pathway possible as the memory network: Results from electrical tract tracing and neuropsychologicalassessment.
3. 学会等名 第40回日本神経科学大会, 千葉, 2017/7/20-22
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Honda M, Matsumoto R, Shimotake A, Hashi Y, Sakamoto M, Fujii D, Kobayashi K, Kuzuya A, Takahashi R, Ikeda A
2. 発表標題 Chronological Change in Mesial Temporal Structures and Whole Brain Volumetry in Patients with Anti-Voltage-Gated Potassium Channel Complex Antibodies Associated Limbic Encephalitis.
3. 学会等名 第51回日本てんかん学会学術集会 京都 2017/11/3
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Sato K, Kinboshi M, I. Higor A, Mukai T, Matsubishi M, Ikeda A, Ohno Y
2. 発表標題 Wide-band EEG analysis of epileptic seizures during pilocarpine induced status epilepticus in rat.
3. 学会等名 第51回てんかん総会学術集会 京都 (国立京都国際会館), 2017/11/3-5
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kinboshi M, Mukai T, Nagao Y, Shimizu S, Ito H, Ikeda A, Ohno Y
2. 発表標題 Dysfunction of Kir4.1 channels facilitates BDNF production in astrocytes.
3. 学会等名 第51回日本てんかん学会学術集会 京都(京都国際会館), 2017/11/3-5
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kinboshi M, Mukai T, Nagao Y, Shimizu S, Ito H, Ikeda A, Ohno Y
2. 発表標題 Dysfunction of Kir4.1 channels induces BDNF expression in astrocytes.
3. 学会等名 第40回日本神経科学大会 千葉(幕張メッセ), 2017/7/20-23
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yamada-Otani M, Matsumoto R, Shimotake A, Uehara N, Demura A, Kinoshita M, Takahashi R, Ikeda A
2. 発表標題 Jeavons syndrome can manifest paroxysmal alexia:a case report.
3. 学会等名 第51回日本てんかん学会学術集会 京都 2017/11/3
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Nakatani M, Inouchi M, Togawa J, Murai T, Kobayashi K, Hitomi T, Hashimoto S, Inani M, Shiroku H, Kanazawa K, Watanabe Y, Usui N, Inoue Y, Maehara T, Ikeda A
2. 発表標題 Proposal of standard recording and analysis intracranial ictal DC shifts and HF0s.
3. 学会等名 第51回日本てんかん学会学術集会 京都 2017/11/3
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Nakatani M, Matsumoto R, Kobayashi K, Hitomi T, Inouchi M, Matsuhashi M, Kinoshita M, Kikuchi T, Yoshida K, Kunieda T, Takahashi R, Hattori N, Ikeda A
2. 発表標題 Inhibitory effects of electric cortical stimulation on interictal epileptiform discharges in human epileptic focus.
3. 学会等名 第40回日本神経科学学術大会 千葉, 2017/07/22
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Neshige S, Matsuhashi M, Kobayashi K, Shimotake A, Kikuchi T, Yoshida K, Kunieda T, Matsumoto R, Maruyama H, Takahashi R, Ikeda A
2. 発表標題 Scoring System of Combination of Movement-related Cortical Potential and Event-related Synchronization/De-synchronization for Functional Mapping of Primary Motor Areas Concordant with Electrical Cortical Stimulation.
3. 学会等名 第51回日本てんかん学会学術集会 京都, 2017/11/3-5
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Oi K, Kobayashi K, Hitomi T, Shimotake A, Neshige S, Fujii D, Matsumoto R, Kasama S, Kanda M, Wada Y, Takahashi R, Ikeda A
2. 発表標題 Effectiveness of perampanel against refractory cortical myoclonus.
3. 学会等名 第51回日本てんかん学会学術集会 京都 2017/11/3
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Inoue T, Kobayashi K, Matsumoto R, Inouchi M, Togo M, Togawa J, Usami K, Shimotake A, Matsuhashi M, Kikuchi T, Yoshida K, Kawawaki H, Kunieda T, Takahashi R, Ikeda A
2. 発表標題 Evidence for the engagement of cortico-cortical and cortico-subcortical networks in generation of epileptic spasms: a combined case study using CCEP and EEG-fMRI.
3. 学会等名 第51回日本てんかん学会学術集会 京都 2017/11/3
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Takeyama H, Matsumoto R, Usami K, Shimotake A, Kikuchi T, Yoshida K, Kunieda T, Miyamoto S, Takahashi R, Ikeda A
2. 発表標題 Functional brain mapping of higher-order motor cortices engaging in motor inhibition: A combined event-related potential and stimulation study.
3. 学会等名 第51回日本てんかん学会学術集会京都 2017/11/3
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Inada T, Kobayashi K, Matsumoto R, Nakae T, Shibata S, Yamao Y, Daifu M, Togawa J, Kikuchi T, Matsuhashi M, Yoshida K, Kunieda T, Kobayashi K, Ikeda A, Miyamoto S
2. 発表標題 Effects of natural sleep and general anesthesia with propofol upon interictal high frequency oscillations (HFOs) of the seizure onset zone (SOZ).
3. 学会等名 第51回日本てんかん学会学術集会 京都 2017/11/3
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Togo M, Matsumoto R, Shimotake A, Kobayashi T, Kikuchi T, Yoshida K, Matsuhashi M, Kunieda T, Miyamoto S, Takahashi R, Ikeda A
2. 発表標題 Role of the Negative Motor Area in Praxis: A High Frequency Electrical Cortical Stimulation Study.
3. 学会等名 第51回日本てんかん学会学術集会 京都 2017/11/3
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 梶川駿介, 小林勝哉, 坂本光弘, 宇佐美清英, 笠井祥子, 本多正幸, 下竹昭寛, 人見建文, 松本理器, 池田明夫, 高橋良輔
2. 発表標題 前知謬 (promnesia) を呈したてんかん患者4例の検討.
3. 学会等名 第31回てんかん学会近畿地方会, 大阪, 2017/7/23
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Murai T, Hitomi T, Kawamura Y, Kobayashi K, Shimotake A, Matsuhashi M, Matsumoto R, Kanda R, Takahashi R, Ikeda A
2. 発表標題 Clinical diversity of DC shift on scalp electroencephalography.
3. 学会等名 第49回日本臨床神経生理学会学術大会 横浜 (横浜パシフィコ), 2017/11/29-12/1
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Murai T, Hitomi T, Kawamura Y, Matsumoto R, Kanda R, Takahashi R, Ikeda A
2. 発表標題 Direct current shift on scalp electroencephalography recorded in time constant 2 sec.
3. 学会等名 第51回日本てんかん学会学術集会 京都 2017/11/3
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Murai T, Matsuhashi M, Hitomi T, Toho M, Kobayashi K, Shimotake A, Inouchi M, Kikuchi K, Yoshida K, Kunieda R, Matsumoto R, Kanda R, Takahashi R, Ikeda A
2. 発表標題 Source localization of seizure focus by wide-band stereoelectroencephalography.
3. 学会等名 第51回日本てんかん学会学術集会 京都 2017/11/3
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 坂本光弘, 松本理器, 十川純平, 武山博文, 端祐一郎, 小林勝哉, 下竹昭寛, F. Laypoldt, K.-P. Wandinger, 近藤誉之, 高橋良輔, 池田昭夫
2. 発表標題 自己免疫性てんかんの診断アルゴリズムの提唱：網羅的な抗神経抗体測定からの検証
3. 学会等名 第51回日本てんかん学会学術集会 京都 2017/11/3
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 大井由貴, 小林勝哉, 藤井大樹, 下竹昭寛, 山下博史, 葛谷聡, 松本理器, 池田昭夫, 高橋良輔
2. 発表標題 皮質ミオクローヌスにペランパネルが著効したUnverricht-Lundborg病の1例
3. 学会等名 第108回日本神経学会近畿地方会 大阪（千里ライフサイエンスセンター）, 2017/7/15
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 小林勝哉, 松本理器, 宇佐美清英, 松橋眞生, 下竹昭寛, 中江卓郎, 武山博文, 菊池隆幸, 吉田和道, 國枝武治, 高橋良輔、池田昭夫
2. 発表標題 難治部分てんかん患者での単発皮質電気刺激の発作誘発率に関する安全性：皮質皮質間誘発電位計測時の検討.
3. 学会等名 第47回日本臨床神経生理学会学術大会 横浜（パシフィコ横浜）, 2017/11/29-12/1
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 梶川駿介, 小林勝哉, 中谷光良, 村井智彦, 金澤恭子, 松橋眞生, 下竹昭寛, 人見健文, 松本理器, 高橋良輔、池田昭夫
2. 発表標題 発作時直流緩電位 (Ictal DC shifts) の時定数10秒と2秒の記録・表示における相違：臨床的意義の検討.
3. 学会等名 第51回日本てんかん学会学術集会 京都 2017/11/3
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 濱口敏和, 松本理器, 坂本光弘, 本多正幸, 下竹昭寛, 高橋良輔、池田昭夫
2. 発表標題 抗VGKC複合体陽性脳炎患者の発作時脳波パターンの特徴.
3. 学会等名 第47回日本臨床神経生理学会学術集会 横浜, 2017/11/29-12/1
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 真田悠希, 梶川駿介, 小林勝哉, 下竹昭寛, 葛谷聡, 松本理器, 池田昭夫、高橋良輔
2. 発表標題 非けいれん性てんかん重積によりカタトニア症状を呈した一例.
3. 学会等名 第110回日本神経学会近畿地方会 京都（メルパルク京都）, 2018/3/11
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 稲田拓, 菊池隆幸, 小林勝哉, 山尾幸広, 吉田和道, 國枝武治, 松本理器, 池田昭夫, 宮本享
2. 発表標題 アンカーボルトを用いた定位的頭蓋内深部電極挿入術の国内への本格導入に向けて-単一施設での導入経験-
3. 学会等名 日本脳神経外科学会第76回学術総会 名古屋 (国際会議場), 2017/10/12-14
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 稲田拓, 菊池隆幸, 小林勝哉, 山尾幸広, 吉田和道, 國枝武治, 松本理器, 池田昭夫, 宮本享
2. 発表標題 アンカーボルトを用いた定位的頭蓋内深部電極挿入術の初期経験-課題の抽出と挿入精度向上の検討-
3. 学会等名 第 41 回日本てんかん外科学会 奈良, 2018/1/18-19
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 藤井大樹, 小林勝哉, 下竹昭寛, 金澤恭子, 菊池隆幸, 吉田和道, 松本理器, 國枝武治, 高橋良輔, 池田昭夫
2. 発表標題 難治性部分てんかん患者での発作時高周波律動の時間的周波数変化と臨床相関
3. 学会等名 第47回日本臨床神経生理学学会学術大会 横浜 (パシフィコ横浜), 2017/11/29-12/1
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 迎伸孝, 松本理器, 小林勝哉, 十河正弥, 松橋眞生, 中江卓郎, 武山博文, 下竹昭寛, 山尾幸広, 菊池隆幸, 吉田和道, 飯原弘二, 高橋良輔, 池田昭夫
2. 発表標題 皮質皮質間誘発電位における非典型波形の検討.
3. 学会等名 第47回日本臨床神経生理学学会学術大会 横浜 (パシフィコ横浜), 2017/11/29-12/1
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 金星匡人, 向井崇浩, 松葉勇亮, 辻佳美, 田中志歩, 清水佐紀, 大野行弘
2. 発表標題 Kir4.1 チャネルの阻害はアストロサイト BDNF 発現を促進する.
3. 学会等名 第132回日本薬理学会近畿部会 大阪(千里ライフサイエンスセンター), 2017/11/24
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 長野真大, 尾谷真弓, 小林勝哉, 葛谷聡, 松本理器, 種田二郎, 米田誠, 池田昭夫, 高橋良輔
2. 発表標題 くすぶり型辺縁系脳炎を呈した橋本脳症の一例.
3. 学会等名 第109回日本神経学会近畿地方会 大阪(大阪国際交流センター), 2017/12/2
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 下竹昭寛, 松本理器, 小林勝哉, 國枝武治, 三國信啓, 宮本亨, 高橋良輔, 池田昭夫
2. 発表標題 皮質電気刺激による行為関連ネットワークマッピング (ポスター)
3. 学会等名 第47回日本臨床神経生理学会、横浜、2017/11/29
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 小林 環、松本理器、下竹昭寛、十河正弥、荒川芳輝、山尾幸広、菊池隆幸、吉田和道、池田昭夫、前田貴記、今水寛、宮本亨
2. 発表標題 The role of the right insula in Sense of Agency: evidence from neurosurgical cases.
3. 学会等名 第40回 日本神経科学大会、千葉、2017/7/20
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 小林 環、松本理器、下竹昭寛、十河正弥、高橋由紀、稲田拓、山尾幸広、菊池隆幸、荒川芳輝、吉田和道、池田昭夫、前田貴記、今水寛、宮本享
2. 発表標題 運動主体感における島皮質の役割: 島皮質切除症例での縦断的神経心理学的検討.
3. 学会等名 第76回日本脳神経外科学会学術総会, 名古屋, 2017/10/14
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 小林環、北浦弘樹、村井智彦、中谷光良、菊池隆幸、人見 健文、井内盛遠、松本理器、國枝武治、宮本享、白水洋史、井上有史、前原健寿、池田昭夫、柿田明美
2. 発表標題 発作時DC電位とその病理組織学的検討.
3. 学会等名 第51回日本てんかん学会学術集会, 京都, 2017/11/4
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 柴田敬、小林勝弘
2. 発表標題 頭皮脳波におけるてんかん性高周波活動.
3. 学会等名 第59回日本小児神経学会総会, 大阪, 2017/06/17
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 菊池隆幸
2. 発表標題 てんかンをめぐる病診連携 てんかん外科手術について てんかん診療における役割と実際
3. 学会等名 第51回日本てんかん学会, 京都, 2017/11/5
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 菊池隆幸
2. 発表標題 脳動静脈奇形塞栓術に関わるエビデンス
3. 学会等名 日本脳神経血管内治療学会，東京，2017/11/24
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 菊池隆幸
2. 発表標題 ステント併用コイル塞栓術後のTOF-MRAによる晩期虚血イベントリスク評価.
3. 学会等名 第33回日本脳神経血管内治療学会. 東京 2017/11/24
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 菊池隆幸
2. 発表標題 ハイブリッド手術室での血管病変に対する複合治療 術後拡散強調画像の検討.
3. 学会等名 Stroke 2017. 大阪 2017/3/17
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 菊池隆幸，松本理器，小林勝哉，國枝武治，三國信啓，前原健寿
2. 発表標題 頭蓋内電極埋め込み中のMRI撮像についての国内の現状と今後の方策.
3. 学会等名 第76回日本脳神経外科学会. 名古屋 2017/10/13
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 菊池隆幸
2. 発表標題 Embosphere導入前後の頭頸部腫瘍における術前塞栓術の効果と合併症.
3. 学会等名 第33回日本脳神経血管内治療学会. 東京 2017/11/23
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Matsumoto R
2. 発表標題 Ictal Semiology For Accurate Diagnosis of Epilepsy.
3. 学会等名 The XX World Congress of Neurology(2017/9/16-21, Kyoto, Japan)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 てんかんの診断と治療
3. 学会等名 第二回神経治療研修会. 京都2017/4/9
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kobayashi K, Kajikawa S, Daifu M, Matsuhashi M, Hitomi T, Yamao Y, Kikuchi T, Kunieda T, Matsumoto R, Takahashi R, Ikeda A
2. 発表標題 Clinical significance of intracranially recorded ictal direct current shifts analyzed with time constant of 2 seconds.
3. 学会等名 新学術領域オンコロジ-2017年度第2回領域会議 東京(一橋講堂), 2017/12/23
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 松本理器
2. 発表標題 高齢者てんかんの診断と治療 update
3. 学会等名 高齢者てんかん講演会 岡山医療センター.岡山, 2018/3/7
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 1) てんかんを取り巻く世界の動き、2) てんかんって なーあに？
3. 学会等名 世界てんかんの日 (IED) 2018 記念イベント、平成30年2月12日、東京
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ikeda A, Matsumoto R, Kobayashi K, Kunieda T
2. 発表標題 Cortico-cortical Evoked Potentials -a practical review
3. 学会等名 Annual meeting of American Clinical Neurophysiology Society (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Ikeda A
2. 発表標題 Interictal slow shifts by macroinvasive electrodes, Consensus for recording and analysis of wide-band EEG in clinical epilepsy
3. 学会等名 Annual meeting of American Clinical Neurophysiology Society (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Matsumoto R
2. 発表標題 Probing Dorsal and Ventral Language Networks by Integrated Invasive Neurophysiology
3. 学会等名 11th International Workshop on Advances in Electrocortigraphy (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Matsumoto R
2. 発表標題 Cortico-cortical evoked potentials: methods, its research and clinical perspectives
3. 学会等名 Seminar at Laboratory of Behavioral & Cognitive Neuroscience (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Ikeda A
2. 発表標題 EEG biomarker of epilepsy
3. 学会等名 CAOA-AOEC Joint Symposium at the 10th AESC, 10th Asian Epilepsy Surgery Congress (AESC) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Ikeda A, Matsumoto R, Kunieda T, Yamao Y, Kikuchi T
2. 発表標題 Intraoperative, higher cortical function monitoring
3. 学会等名 Intraoperative neuromonitoring (IONM) Satellite Symposium, 2016 Annual Meeting of Korean Neurological Association (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Ikeda A
2. 発表標題 Glia, DC shifts/red slow, and epilepsy
3. 学会等名 2016 Annual Meeting of Korean Neurological Association (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Matsumoto R
2. 発表標題 Probing dynamics of cortico-cortical connectivity with direct cortical stimulation in physiological and pathologic states
3. 学会等名 Symposium: Network disruption in brain disorders, Biomag 2016 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Hitomi T, Kobayashi K, Takahashi R, Ikeda A
2. 発表標題 Updates of Neurophysiological Biomarkers in the Genetic Generalized Epilepsy (symposium The 9th KES-JES Joint Symposium)
3. 学会等名 21st Korean Epilepsy Congress (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Ikeda A
2. 発表標題 HF0 synchronization and epilepsy network
3. 学会等名 11th Asian and Oceanian Epilepsy Congress (AOEC) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Ikeda A
2. 発表標題 Exploring the mysteries of EEG: Can infraslow and DC shift improve epilepsy treatment?
3. 学会等名 The Masakazu Seino Memorial Lecture, 11th Asian & Oceanian Epilepsy Congress (AOEC) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Ikeda A
2. 発表標題 Advanced techniques in HFO analysis. Workshop HFOs and the Epileptogenic Zone
3. 学会等名 11th Asian & Oceanian Epilepsy Congress (AOEC) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Matsumoto R
2. 発表標題 When should patients be referred to psychiatrists?: The ILAE Neuropsychiatry Commission Symposium “Depression in patients with epilepsy: how could neurologists, psychiatrists and neurosurgeons co-work and how much do Asian colleagues acknowledge it?”
3. 学会等名 The ILAE Neuropsychiatry Commission Symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Matsumoto R, Kobayashi K, Kikuchi T, Yoshida K, Kunieda T, Ikeda A
2. 発表標題 Epileptogenicity and related network: Approach from “interventional” clinical neurophysiology. Translatability between basic&clinical studies for the pathophysiology of epilepsy: Approach from Oscillology
3. 学会等名 The 94th Annual meeting of the Physiological Society of Japan
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 松本理器
2. 発表標題 神経救急としてのてんかん重積状態（教育講演34）
3. 学会等名 第42回日本脳卒中学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 松本理器
2. 発表標題 神経疾患治療トレンド考2：てんかん
3. 学会等名 平成28年度日本神経学会東海北陸地区生涯教育講演会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 松本理器，藤井大樹，本多正幸，小林勝哉，下竹昭寛，吉田健司，加藤竹雄，井内盛遠，人見健文，松橋眞生，菊池隆幸，吉田和道，國枝武治，岡田知久，村井俊哉，宮本享，高橋良輔，池田昭夫
2. 発表標題 厚生労働省てんかん地域診療連携整備事業を実施していない施設：てんかんセンターとしての現状，シンポジウムてんかん地域診療連携整備事業の1年を振り返って．
3. 学会等名 全国てんかんセンター協議会総会JEPICA
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 松本理器
2. 発表標題 皮質電気刺激によるヒト脳内ネットワークの可視化：着想から臨床応用への道のり（指名講演1）
3. 学会等名 平成28年度名古屋大学脳とこころの研究センターシンポジウム
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 臨床てんかん病態におけるグリア機能の臨床的意義.
3. 学会等名 第40回日本てんかん外科学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 松本理器, 小林勝哉, 菊池隆幸, 國枝武治, 池田昭夫
2. 発表標題 CCEPのオフライン解析と解釈(ワークショップ2 CCEPのskills workshop: clinical practice parameter(臨床実践指標)を目指して).
3. 学会等名 第46回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 松本理器, 下竹昭寛, 吉田和道, 松橋眞生, 國枝武治, 池田昭夫
2. 発表標題 てんかんの臨床神経生理学と硬膜下電極(エキスパートレクチャー12)
3. 学会等名 第46回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 てんかん原性の臨床生理学的biomarker: red slowはあるか?(教育講演11)
3. 学会等名 第42回日本臨床神経生理学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 頭痛診療医に必要なてんかんの知識と鑑別診断：症例を通じて（てんかんと片頭痛の興奮性の違いは？）（ランチョンセミナー3）
3. 学会等名 第44回日本頭痛学会総会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 松本理器
2. 発表標題 認知症とてんかん（アドバンスドコース11）
3. 学会等名 第50回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 臨床てんかん学におけるwide-band EEGの概要と有用性
3. 学会等名 第50回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 JESスカラーシップ、Sponsored awardの意義（企画セッション10 てんかん学研修システムを考える）.
3. 学会等名 第50回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 小林勝哉, 人見健文, 松本理器, 池田昭夫
2. 発表標題 ミオクロームスを有するてんかん症候群とJME.
3. 学会等名 第50回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 松本理器, 山尾幸広, 菊池隆幸, 吉田和道, 國枝武治
2. 発表標題 単発電気刺激による脳内ネットワークの可視化: 着想から臨床応用への道のり (特別企画4 機能ネットワーク解明から治療への応用).
3. 学会等名 第75回日本脳神経外科学会学術総会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 てんかん原性の臨床生理学的biomaker:red slowはあるか?
3. 学会等名 第12回日本てんかん学会近畿地方会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 Hands-on 3「脳波」
3. 学会等名 日本神経学会学術大会第13回生涯教育セミナー
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 松本理器
2. 発表標題 Hands-on 3「脳波」
3. 学会等名 日本神経学会学術大会第13回生涯教育セミナー
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 Uncommon, but important causes of epilepsy and seizure.
3. 学会等名 第57回日本神経学会学術大会 (International Educational Session 03 How to Manage Seizures)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 松本理器
2. 発表標題 自己免疫性てんかんと関連.
3. 学会等名 第57回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 松本理器
2. 発表標題 非けいれん性てんかん重積 (NSCE) : 診断と治療.
3. 学会等名 第57回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 成人てんかんとオシロロギー（シンポジウム15 オシロロギーからみた神経疾患の病態と治療）.
3. 学会等名 第57回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 吉村元，松本理器，池田昭夫，幸原伸夫
2. 発表標題 高齢者てんかん重積状態の臨床的特徴と治療（シンポジウム 治るてんかん：高齢者てんかんの診断と治療）
3. 学会等名 第57回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Daifu M, Matsumoto R, Shimotake A, Kobayashi K, Ota M, Sakamoto M, Nakae T, Kikuchi T, Yoshida K, Kunieda T, Takahashi R, Lambon Ralph MA, Ikeda A
2. 発表標題 The ventral part of the anterior temporal lobe actively engages in Kanji word processing: a direct cortical stimulation study
3. 学会等名 70th American Epilepsy Society Annual Meeting (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Kobayashi K, Hitomi T, Matsumoto R, Watanabe M, Takahashi R, Ikeda A
2. 発表標題 Clinical core symptoms are rather homogeneous in nationwide survey of benign adult familial myoclonus epilepsy
3. 学会等名 70th American Epilepsy Society Annual Meeting (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Ota M, Shimotake A, Matsumoto R, Sakamoto M, Daifu M, Nakae T, Kunieda T, Miyamoto S, Takahashi R, Lambon-Ralph MA, Ikeda A
2. 発表標題 Kanji word processing in the ventral anterior temporal lobe: a postoperative neuropsychological study in patients with temporal lobe epilepsy
3. 学会等名 Annual Meeting of Society for Neuroscience (Neuroscience 2016) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Nakatani M, Matsumoto R, Kobayashi K, Hitomi T, Inouchi M, Matsuhashi M, Kinoshita M, Kunieda T, Miyamoto S, Hattori N, Takahashi R, Ikeda A
2. 発表標題 Repeated, cortical stimulation can modify the wideband cortical activity correlates of interictal epileptiform discharge.
3. 学会等名 第46回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Neshige S, Sakurai T, Kobayashi K, Shimotake A, Matsuhashi M, Matsumoto R, Hitomi T, Matsumoto M, Takahashi R, Ikeda A
2. 発表標題 Functional brain mapping of primary sensorimotor cortex by means of MRCP and ERS/ERD comparing with CSM.
3. 学会等名 第46回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Nakatani M, Matsumoto R, Kobayashi K, Hitomi T, Inouchi M, Matsuhashi M, Kinoshita M, Kikuchi T, Yoshida K, Kunieda T, Takahashi R, Hattori N, Ikeda A
2. 発表標題 Repeated, cortical stimulation inhibits cortical epileptic excitability in human epileptic focus.
3. 学会等名 第50回てんかん学会学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Takeyama H, Matsumoto R, Sakamoto M, Togawa J, Kanazawa K, Kobayashi K, Shimotake A, Hitomi T, Takahashi Y, Watanabe O, Takahashi R, Ikeda A
2. 発表標題 The clinical features of elderly onset, temporal lobe epilepsy.
3. 学会等名 第50回てんかん学会学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Murai T, Matsuhashi M, Hitomi T, Kobayashi K, Shimotake A, Inouchi M, Kikuchi T, Yoshida K, Kunieda, T, Matsumoto R, Takahashi R, Ikeda A
2. 発表標題 Invasive 3D source localization by wide-band EEG finding.
3. 学会等名 第50回てんかん学会学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Sultana S, Hitomi T, Daifu M, Matsuhashi M, Takahashi R, Ikeda A
2. 発表標題 Comparison in afterslow activity of epileptiform discharges and sharp transients among different time constant.
3. 学会等名 第50回てんかん学会学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Daifu M, Matsumoto R, Shimotake A, Sakamoto M, Ota M, Kunieda T, Miyamoto S, Takahashi R, Lambon Ralph MA, Ikeda A
2. 発表標題 Ventral part of the anterior temporal lobe actively engages in Kanji reading: Evidence from direct cortical stimulation of the basal temporal language area.
3. 学会等名 第39回日本神経科学大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Shimotake A, Matsumoto R, Kobayashi K, Kunieda T, Mikuni N, Miyamoto S, Takahashi R, Ikeda A
2. 発表標題 Functional mapping of praxis: Electrical cortical stimulation study.
3. 学会等名 第39回神経科学大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Takeyama H, Matsumoto R, Usami K, Shimotake A, Kunieda T, Miyamoto S, Takahashi R, Ikeda A
2. 発表標題 Human motor inhibition network as revealed by epicortical ERP, CCEP and high frequency cortical stimulation.
3. 学会等名 第39回神経科学大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Nakae T, Matsumoto R, Kunieda T, Arakawa Y, Kobayashi T, Inada T, Takahashi Y, Nishida S, Inano R, Kobayashi K, Shimotake A, Matsuhashi M, Kikuchi T, Takahashi R, Ikeda A, Miyamoto S
2. 発表標題 Antero-posterior gradients exist in functional connections between human inferior frontal gyrus and middle and posterior temporal gyri: An intraoperative cortico-cortical evoked potential study
3. 学会等名 第39回日本神経科学大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Togo M, Matsumoto R, Takeyama H, Kobayashi K, Shimotake A, Usami K, Inouchi M, Nakae T, Kunieda T, Miyamoto S, Takahashi R, Ikeda A
2. 発表標題 Functional connectivity from medial parietal cortex and superior parietal lobule: a cortico-cortical evoked potential study.
3. 学会等名 第39回日本神経科学大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Ota M, Shimotake A, Matsumoto R, Sakamoto M, Daifu M, Nakae T, Kunieda T, Miyamoto S, Takahashi R, Lambon-Ralph MA, Ikeda A
2. 発表標題 Compensatory mechanisms of semantic- and kanji / kana word processing after resection of the anterior temporal lobe (in epilepsy surgery).
3. 学会等名 第39回日本神経科学大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Kinboshi M, Mukai T, Tokudome K, Kunisawa N, Higor A. Iha, Shimizu S, Serikawa T, Ito H, Ikeda A, Ohno Y
2. 発表標題 Expressional analysis of astrocytic Kir4.1 channels in audiogenic seizure-susceptible Lgi1L385R/+ mutant rats.
3. 学会等名 第39回日本神経科学大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Yoshinaga K, Matsuhashi M, Hanakawa T, Ikeda A
2. 発表標題 Phase angle has information on temporal relationship of signals in functional connectivity study in human brain magnetoencephalography analysis.
3. 学会等名 第39回日本神経科学大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Nakatani M, Matsumoto R, Kobayashi K, Hitomi T, Inouchi M, Matsuhashi M, Kinoshita M, Kunieda T, Miyamoto S, Hattori N, Takahashi R, Ikeda A
2. 発表標題 Repeated, cortical stimulation inhibits epileptic excitability in human epileptic focus.
3. 学会等名 第39回日本神経科学大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Takeyama H, Matsumoto M, Usami K, Shimotake A, Kunieda T, Miyamoto S, Takahashi R, Ikeda A
2. 発表標題 Which areas inhibit motor responses? Direct evidence from subdural recordings.
3. 学会等名 第57回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Togawa J, Inouchi M, Matsumoto R, Matsuhashi M, Kobayashi K, Usami K, Hitomi T, Kunieda T, Miyamoto S, Takahashi R, Ikeda A
2. 発表標題 Enhancement of coupling between slow waves and high gamma activities during slow wave sleep in human.
3. 学会等名 第57回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Daifu M, Inouchi M, Kanazawa K, Matsuhashi M, Inoue T, Kobayashi K, Shimotake A, Hitomi T, Matsumoto R, Kunieda T, Miyamoto S, Takahashi R, Ikeda A
2. 発表標題 Surrogate marker of intracranially recorded ictal DC shifts and HFOs in human focal epilepsy.
3. 学会等名 第57回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Neshige S, Sakurai T, Kobayashi K, Shimotake A, Matsuhashi M, Matsumoto R, Hitomi T, Matsumoto M, Takahashi R, Ikeda A
2. 発表標題 Wide-band Electrocorticographic (ECoG) data analysis in primary sensorimotor (SI-MI) area
3. 学会等名 第57回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Shimotake A, Matsumoto R, Togo M, Kunieda T, Ikeda A
2. 発表標題 Functional mapping of praxis network: Electrical cortical stimulation study.
3. 学会等名 The 1st International Symposium on Embodied-Brain Systems Science (EMBOSS2016) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Sakamoto M, Matsumoto R, Shimotake A, Nakae T, Kunieda T, Ikeda A
2. 発表標題 Role of left ventral precentral gyrus in apraxia of speech: documents with electrical cortical stimulation and focal resection.
3. 学会等名 The 1st International Symposium on Embodied-Brain Systems Science (EMBOSS2016) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Togo M, Matsumoto R, Shimotake A, Inouchi M, Kunieda T, Ikeda A
2. 発表標題 Functional connectivity from human superior parietal lobule and medial parietal lobe: a cortico-cortical evoked potential (CCEP) study.
3. 学会等名 The 1st International Symposium on Embodied-Brain Systems Science (EMBOSS2016) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 齊藤景子, 松橋真生, 粟屋智就, 加藤竹雄, 美馬達哉, 池田昭夫, 福山秀直, 平家俊男
2. 発表標題 聴覚刺激のピッチ変化方向の異同は前意識下で検出されている.
3. 学会等名 第46回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 大封昌子, 松本理器, 下竹昭寛, 太田真紀子, 坂本光弘, 中江卓郎, 小林勝哉, 菊池隆幸, 吉田和道, 國枝武治, 高橋良輔, Lambon Ralph MA, 池田昭夫
2. 発表標題 日本語読みにおける側頭葉底面の前後方向の機能の相違：高頻度皮質刺激による研究
3. 学会等名 第46回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 谷岡洸介, 佐藤和明, 音成秀一郎, 塚田剛史, 藤井大樹, 井上岳司, 吉村元, 小林勝哉, 下竹昭寛, 人見健文, 松本理器, 高橋良輔, 池田昭夫
2. 発表標題 てんかん病診連携システムを介して大学病院を受診した患者のサンプル調査.
3. 学会等名 第50回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 下竹昭寛, 松本理器, 坂本光弘, 中谷光良, 太田真紀子, 小林勝哉, 菊池隆幸, 吉田和道, 國枝武治, 宮本享, 高橋良輔, 池田昭夫
2. 発表標題 呼称課題を用いた低刺激強度皮質電気刺激の言語機能マッピングの有用性.
3. 学会等名 第50回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 坂本光弘, 松本理器, 十川純平, 武山博文, 端祐一郎, 小林勝哉, 下竹昭寛, 近藤誉之, 高橋良輔, 池田昭夫
2. 発表標題 自己免疫性てんかんの診断における、診療症状・検査所見の有用性の検討.
3. 学会等名 第50回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 大封昌子, 井内盛遠, 松橋眞生, 金澤恭子, 小林勝哉, 下竹昭寛, 人見健文, 菊池隆幸, 吉田和道, 國枝武治, 松本理器, 高橋良輔, 池田昭夫
2. 発表標題 発作間欠期皮質脳波における徐波と高周波律動の共起: 自動検出のための解析方法についての検討.
3. 学会等名 第50回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 太田真紀子, 松本理器, 下竹昭寛, 坂本光弘, 大封昌子, 中江卓郎, 菊池隆幸, 吉田和道, 國枝武治, 宮本享, 高橋良輔, Lambon Ralph MA, 池田昭夫
2. 発表標題 側頭葉底面前方領域切除による意味記憶の変容と機能可塑性の解明.
3. 学会等名 第50回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 谷岡汎介, 渡辺雅子, 池田昭夫, 兼子直, 田中達也, 大澤真木子
2. 発表標題 日本てんかん学会の教育研究事業としての助成金の成果の検討.
3. 学会等名 第50回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 音成秀一郎, 松本理器, 小林勝哉, 下竹昭寛, 人見健文, 井内盛遠, 丸山博文, 高橋良輔, 池田昭夫
2. 発表標題 意識が保持され, 全身けいれん発作が群発するMRI陰性症例
3. 学会等名 第50回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 藤井大樹, 谷岡洸介, 佐藤啓, 井上岳司, 村原貴史, 小林勝哉, 下竹昭寛, 松本理器, 高橋良輔, 池田昭夫
2. 発表標題 アセタゾラミドが著効する難治性てんかん患者の臨床的特徴の検討.
3. 学会等名 第50回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 本多正幸, 小林勝哉, 下竹昭寛, 松本理器, 加藤竹雄, 高橋良輔, 池田昭夫
2. 発表標題 Ictal deafnessを認めた3症例
3. 学会等名 第50回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 坂本光弘, 松本理器, 下竹昭寛, 太田真紀子, 中谷光良, 菊池隆幸, 吉田和道, 國枝武治, 池田昭夫
2. 発表標題 左中心前回中・下部に局限した腫瘍切除後にanarthriaを呈した1例.
3. 学会等名 第40回日本神経心理学会学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 本多正幸, 下竹昭寛, 坂戸勇介, 引網亮太, 藤井大樹, 小林勝哉, 松本理器, 池田昭夫, 高橋良輔
2. 発表標題 食事中の大きな笑いにより強直発作様の意識消失を呈した73歳男性例.
3. 学会等名 第12回日本てんかん学会近畿地方会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 坂本光弘, 松本理器, 十川純平, 武山博文, 端祐一郎, 小林勝哉, 下竹昭寛, 近藤誉之, 高橋良輔, 池田昭夫
2. 発表標題 自己免疫機序が関与するてんかん症候群の診断アルゴリズム構築の試み.
3. 学会等名 第57回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 村井智彦, 人見健文, 小林勝哉, 下竹昭寛, 岡田知久, 松本理器, 富樫かおり, 澤本伸克, 高橋良輔, 池田昭夫
2. 発表標題 BAFMEにおけるPET画像上の特徴.
3. 学会等名 第57回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 谷岡洸介, 人見健文, 松本理器, 飛松省三, 犬塚貴, 吉良潤一, 楠進, 高橋良輔, 池田昭夫
2. 発表標題 脳波判読セミナーのアンケート調査からの脳波教育の現状解析; 過去5年間の実態とニーズ.
3. 学会等名 第57回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 人見健文, 小林勝哉, 井内盛遠, 櫻井健世, Shamima Sultana, 佐藤啓, 井上岳司, 下竹昭寛, 松本理器, 陳和夫, 高橋良輔, 池田昭夫
2. 発表標題 良性成人型家族性ミオクローヌスてんかんにおけるてんかん性放電の睡眠による変容.
3. 学会等名 第57回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 十河正弥, 人見健文, 村井智彦, 松橋眞生, 松本理器, 幸原伸夫, 高橋良輔, 池田昭夫
2. 発表標題 低酸素脳症の頭皮上脳波における脳波所見と超低周波活動 (infraslow activity) の検討.
3. 学会等名 第57回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 端祐一郎, 坂本光弘, 十川純平, 岡田洋一郎, 藤井ちひろ, 越智博文, 中川正法, 水野敏樹, 下竹昭寛, 松本理器, 漆谷真, 池田昭夫, 高橋良輔, 近藤誉之
2. 発表標題 自己免疫性てんかんにおける末梢血リンパ球の表面抗原解析.
3. 学会等名 第57回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 三橋賢大, 北村彰浩, 小林勝哉, 上村紀仁, 葛谷聡, 山下博文, 澤本伸克, 近藤誉之, 漆谷真, 池田昭夫, 高橋良輔
2. 発表標題 脊髄サルコイドーシスの治療に関する臨床的検討.
3. 学会等名 第57回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 岡田信久, 和田隆史, 樽野陽亮, 眞木崇州, 吉藤元, 丹治正大, 三橋賢大, 山門穂高, 上田紗希帆, 前川嵩太, 引網亮太, 木下久徳, 綾木孝, 山下博文, 澤本伸克, 漆谷真, 池田昭夫, 高橋良輔
2. 発表標題 再発性多発軟骨炎に伴う脳炎2症例の検討,
3. 学会等名 第57回日本神経学会学術大会.
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 佐藤啓, 人見健文, 葛谷聡, 武地一, 木下彩栄, 池田昭夫, 高橋良輔
2. 発表標題 認知症鑑別診断への脳波利用の試み,
3. 学会等名 第113回日本内科学会総会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Ikeda A.
2. 発表標題 Non-structural evidence of seizure focus: The role of functional imaging
3. 学会等名 31st International Epilepsy Congress (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Ikeda A.
2. 発表標題 Wide-band EEG in clinical epilepsy: slow shifts and HFO How to record and analyze slow shifts in epilepsy
3. 学会等名 15th European Congress on Clinical Neurophysiology (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Ikeda A.
2. 発表標題 Ictal and interictal slow combined with HFO: Is it red slow?
3. 学会等名 Beijing Epilepsy and Neurophysiology Summit (BENS 2015) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Ikeda A.
2. 発表標題 Ictal and interictal infraslow with HFO in human epilepsy: Is it red slow ?
3. 学会等名 Fondazione IRCCS Istituto Neurologico Carlo Besta (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Ikeda A.
2. 発表標題 Is there only one kind of HFO? Ictal DC and HFO, and beyond that ? Is it red slow ?
3. 学会等名 2nd International Workshop on High Frequency Oscillations in Epilepsy (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Daifu M, Inouchi M, Kanazawa K, Matsuhashi M, Inoue T, Kobayashi K, Shimotake A, Hitomi T, Matsumoto R, Kunieda T, Miyamoto S, Takahashi R, Ikeda A
2. 発表標題 Intracranially recorded ictal DC shifts and HFOs as surrogate markers of epileptogenicity in human focal epilepsy
3. 学会等名 2nd International workshop on High Frequency Oscillations in Epilepsy (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Matsumoto R.
2. 発表標題 The ventral language network - its function, connectivity and plasticity: insights from direct cortical stimulation and ECoG recordings.
3. 学会等名 Special Seminar at Cognitive Neurophysiology and Brain;Machine Interface Laboratory (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Yoshimura H, Matsumoto R, Ishii J, Kono T, Hoshi T, Todo K, Kawamoto M, Ariyoshi K, Ikeda A, Kohara N
2. 発表標題 Status epilepticus in the elderly in the super-aging society: clinical and EEG features and prognostic factors
3. 学会等名 31st International Epilepsy Congress (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Kunieda T.
2. 発表標題 "Influence of cerebral collateral circulation on preoperative evaluation of speech and memory dominance estimated by intracarotid propofol test."
3. 学会等名 American Epilepsy Society (招待講演)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 長峯 隆
2. 発表標題 脳磁図による運動機能検索
3. 学会等名 第45回日本臨床神経生理学会学術大会 (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Katsuhiko Kobayashi
2. 発表標題 Scalp HFOs in various childhood epilepsies
3. 学会等名 2nd International Workshop on High Frequency Oscillations in Epilepsy-A scientific and teaching workshop (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 臨床神経生理学的所見とグリア機能のオーバービュー(シンポジウム3)
3. 学会等名 第49回日本てんかん学会学術集会(招待講演)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 てんかん原性の臨床生理学的biomarker?
3. 学会等名 第11回日本てんかん学会九州地方会(招待講演)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 成人てんかん治療:薬剤と生理学的手法の可能性
3. 学会等名 第42回日本脳科学学会てんかんシンポジウム宮崎2015(招待講演)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 意識障害・脳波レポートの書き方
3. 学会等名 第1回脳波セミナー・アドバンストコース(招待講演)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 池田昭夫、Bayasgalan Borgil, 松橋眞生、文室知之、中野直樹、飯田幸治、片桐匡弥、松本理器、國枝武治、加藤天美、高橋良輔
2. 発表標題 VNSの効果作動機構の検討(シンポジウム4)
3. 学会等名 第49回日本てんかん学会学術集会(招待講演)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 大封昌子、井内盛遠、松橋眞生、池田昭夫
2. 発表標題 神経細胞とグリア細胞のてんかん発作発現における機序
3. 学会等名 オンコロジ-第1回領域会議
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 池田昭夫
2. 発表標題 A03: ヒト脳発振現象の直接記録 ヒト脳からの実記録データとその解釈
3. 学会等名 オンコロジ-第1回領域会議(招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 井上岳司、井内盛遠、松橋眞生、松本理器、人見健文、大封昌子、小林勝哉、金澤恭子、下竹昭寛、國枝武治、高橋良輔、池田昭夫
2. 発表標題 発作間欠期の徐波と高周波数律動(HF0)の共起: 難治部分てんかん患者の皮質脳波の症例検討
3. 学会等名 第17回日本ヒト脳機能マッピング学会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Daifu M, Inouchi M, Inoue T, Kanazawa K, Matsuhashi M, Kobayashi K, Shimotake A, Hitomi T, Matsumoto R, Kunieda T, Miyamoto S, Takahashi R, Ikeda A
2. 発表標題 Co-occurrence of slow shifts and high frequency oscillations(HFOs) in invasively recorded, interictal state: Is it called 'Red slow'?
3. 学会等名 第49回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Murai T, Hitomi T, Inoue T, Kobayashi K, Shimotake A, Matsuhashi M, Inouchi M, Matsumoto R, Takahashi R, Ikeda A.
2. 発表標題 Analysis of scalp-recorded, ictal direct current shift:its sensitivity and specificity
3. 学会等名 第49回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 松本理器、國枝武治、池田昭夫
2. 発表標題 皮質・皮質間誘発電位（CCEP）記録・解析の実際．
3. 学会等名 ワークショップ4．皮質・皮質間誘発電位（招待講演）
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Matsumoto R, Yamao Y, Kunieda T, Arakawa Y, Shimotake A, Kikuchi T, Shibata S, Inano R, Sawamoto BN, Ikeda A, Mikuni N, Miyamoto S.
2. 発表標題 Clinical implications of intraoperative CCEP monitoring in evaluating the white matter functional integrity of the dorsal language network
3. 学会等名 第38回日本神経科学大会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 人見健文、小林勝哉、高橋良輔、池田昭夫
2. 発表標題 "良性成人型家族性ミオクローヌスてんかん (BAFME) の発症の予測因子の検討 "
3. 学会等名 第49回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 人見健文、小林勝哉、櫻井健世、Shamima Sultana、佐藤啓、井上岳司、下竹明寛、松本理器、高橋良輔、池田昭夫
2. 発表標題 睡眠が良性成人型家族性ミオクローヌスてんかん(BAFME)のてんかん性放電に与える影響
3. 学会等名 第45回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 下竹昭寛、松本理器、太田真紀子、國枝武治、三國信啓、宮本亨、高橋良輔、池田昭夫
2. 発表標題 側頭葉底部前方領域での意味認知機能 マッピング：事象関連電位の皮質記録の検討
3. 学会等名 第49回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Shimotake A, Chen Y, Matsumoto R, Kunieda T, Miyamoto S, Takahashi R, Matthew Lambon- Ralph MA, Ikeda A.
2. 発表標題 The when and where of semantics in the anterior temporal lobe:: temporal representational similarity analysis of electrocorticogram data.
3. 学会等名 第38回日本神経科学学術大会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 小林勝哉、松本理器、國枝武治、池田昭夫
2. 発表標題 慢性電極留置におけるてんかん原性評価
3. 学会等名 第45回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 小林勝哉、松本理器、宇佐美清英、國枝武治、池田昭夫
2. 発表標題 睡眠と前頭葉てんかん
3. 学会等名 第49回日本てんかん学会学術大会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 井上岳司、酒井達也、小林勝哉、下竹昭寛、井内盛遠、松本理器、池田昭夫、高橋良輔
2. 発表標題 Levetiracetam により paradoxical effect を認めた側頭葉てんかんの 1 例
3. 学会等名 第11回日本てんかん学会近畿地方会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 井上岳司、酒井達也、小林勝哉、下竹昭寛、井内盛遠、松本理器、高橋良輔、池田昭夫
2. 発表標題 Levetiracetam により U カーブ状の paradoxical effect を認めた 3 例
3. 学会等名 第49回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 吉村 元、松本 理器、藤原 悟、上田 哲大、引網亮太、村瀬 翔、石井 淳子、河野 智之、星 拓、藤堂 謙一、川本 未知、有吉 孝一、池田 昭夫、幸原 伸夫
2. 発表標題 高齢者のてんかん重積状態における頭部MRI拡散強調画像：臨床・脳波所見との相関
3. 学会等名 第56回日本神経学会学術大会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Ota M, Matsumoto R, Shimotake A, Daifu M, Kunieda T, Miyamoto S, Takahashi R, Lambon-Ralph MA, Ikeda A.
2. 発表標題 Kanji word processing in the ventral anterior temporal lobe: a postoperative neuropsychological study in patients with temporal lobe epilepsy
3. 学会等名 第38回日本神経科学学会(Neuroscience 2015)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Takeyama H, Matsumoto R, Kobayashi K, Usami K, Shimotake A, Kikuchi T, Kunieda T, Miyamoto S, Takahashi R, Ikeda A.
2. 発表標題 Functional connectivity of the human entorhinal cortex: a cortico-cortical evoked potential study
3. 学会等名 第49回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 十河正弥、松本理器、武山博文、小林勝哉、下竹昭寛、宇佐美清英、中江卓郎、國枝武治、宮本享、高橋良輔、池田昭夫
2. 発表標題 ヒト内側頭頂葉の機能的結合性：皮質 皮質間誘発電位を用いた検討
3. 学会等名 第45回日本臨床神経生理学会学術大会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 中江卓郎、國枝武治、松本理器、荒川芳輝、西田誠、稲野理賀、高橋由紀、稲田拓、下竹昭寛、菊池隆幸、吉田和道、高木康志、池田昭夫、宮本享
2. 発表標題 意味認知の機能可塑性：側頭葉腫瘍切除症例における神経心理学的検討
3. 学会等名 日本脳神経外科学会第74回学術総会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 國枝武治
2. 発表標題 「皮質 皮質間誘発電位を用いた言語機能の術中モニタリングと覚醒下手術」
3. 学会等名 ヒト脳機能マッピング学会（招待講演）
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 國枝武治
2. 発表標題 「皮質 皮質間誘発電位を用いた、言語機能の術中モニタリング」
3. 学会等名 日本脳神経外科学会第74回学術総会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 國枝武治
2. 発表標題 「プロポフォールを用いた和田テストによる言語・記憶評価」
3. 学会等名 第49回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 篠崎淳、齊藤秀和、村原貴史、長濱宏史、櫻井佑樹、長峯隆、松本博志
2. 発表標題 飲酒後の中枢神経に及ぼす影響 fMRIを用いた解析
3. 学会等名 第50回日本アルコール・薬物医学会 / 第27回日本依存神経精神科学会（招待講演）
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 佐々木 健史、長峯 隆、松山 清治
2. 発表標題 ラット脳損傷後の姿勢調節障害の特徴: 大脳皮質感覚運動野と小脳虫部の比較
3. 学会等名 第93回日本生理学会大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Katsuhiko Kobayashi
2. 発表標題 Scalp HFOs in various childhood epilepsies
3. 学会等名 2nd International Workshop on High Frequency Oscillations in Epilepsy-A scientific and teaching workshop（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Kobayashi K, Akiyama T, Oka M, Endoh F, Yoshinaga H
2. 発表標題 A storm of fast (40-150 Hz) oscillations during hysarrhythmia in West syndrome
3. 学会等名 69th Annual Meeting of the American Epilepsy Society
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 小林勝弘
2. 発表標題 頭皮脳波における高周波振動検出のスキル
3. 学会等名 第 45 回日本臨床神経生理学会学術大会 シンポジウム11 「てんかん性DC電位と高周波振動(HF0)のskills workshop」(招待講演)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 小林勝弘
2. 発表標題 小児脳波研究の最前線
3. 学会等名 第 45 回日本臨床神経生理学会学術大会 エキスパートレクチャー19(招待講演)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 小林勝弘
2. 発表標題 脳波解析が明かすてんかんの病態 基礎から最前線まで
3. 学会等名 第8回日本てんかん学会東海・北陸地方会イブニングセミナー(招待講演)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 小林勝弘
2. 発表標題 脳波分析から探る小児てんかん性脳症の病態
3. 学会等名 第33回四国小児神経症例検討会(招待講演)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 小林勝弘
2. 発表標題 小兒難治てんかん－病態生理の新たな視点－
3. 学会等名 第46回 中国・四国點頭てんかん研究会（招待講演）
4. 発表年 2016年

〔図書〕 計135件

1. 著者名 Akio Ikeda	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Oxford University Press	5. 総ページ数 14(p312-325)
3. 書名 Subdural EEG in frontal lobe epilepsy. Invasive Studies of the Human Epileptic Brain: Principles and Practice of Invasive Brain Recordings and Stimulation in Epilepsy.	

1. 著者名 Matsumoto R, Kunieda T.	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Oxford University Press	5. 総ページ数 23(p431-453)
3. 書名 Chapter 32 ?Cortico-cortical evoked potential mapping (Section 4: Human Brain Mapping). /In: Lhatoo S, Kahane P, L?ders H, eds. Invasive Studies of the Human Epileptic Brain: Principles and Practice of Invasive Brain Recordings and Stimulation in Epilepsy.	

1. 著者名 本多正幸, 松本理器	4. 発行年 2019年
2. 出版社 株式会社プレジジョン	5. 総ページ数 in press
3. 書名 若年ミオクロニーてんかん 今日の疾患辞典（仮）	

1. 著者名 本多正幸, 松本理器	4. 発行年 2019年
2. 出版社 株式会社プレジジョン	5. 総ページ数 in press
3. 書名 ウンフェルリヒト・ルントボルク病 今日の疾患辞典(仮)	

1. 著者名 松本理器	4. 発行年 2019年
2. 出版社 医学書院	5. 総ページ数 in press
3. 書名 筋けいれん. 第10章 / 14 けいれん性疾患、機能的疾患 / 1 けいれん. 新内科学第10版(矢崎義雄編)	

1. 著者名 松本理器	4. 発行年 2019年
2. 出版社 医学書院	5. 総ページ数 in press
3. 書名 半側顔面けいれん. 第10章 / 14 けいれん性疾患、機能的疾患 / 1 けいれん. 新内科学第10版(矢崎義雄編)	

1. 著者名 松本理器	4. 発行年 2019年
2. 出版社 医学書院	5. 総ページ数 in press
3. 書名 強直間代発作. 第10章 / 14 けいれん性疾患、機能的疾患 / 2 全般てんかん. 新内科学第10版(矢崎義雄編)	

1. 著者名 松本理器	4. 発行年 2019年
2. 出版社 医学書院	5. 総ページ数 in press
3. 書名 単純部分発作 1. 側頭葉てんかん、前頭葉てんかん. 第10章 / 14 けいれん性疾患、機能的疾患 / 3局在関連性てんかん. 新内科学第10版 (矢崎義雄編)	

1. 著者名 松本理器	4. 発行年 2019年
2. 出版社 医学書院	5. 総ページ数 in press
3. 書名 複雑部分発作 1. 側頭葉てんかん、前頭葉てんかん. 第10章 / 14 けいれん性疾患、機能的疾患 / 3局在関連性てんかん. 新内科学第10版 (矢崎義雄編)	

1. 著者名 音成秀一郎, 松本理器	4. 発行年 2019年
2. 出版社 株式会社南江堂	5. 総ページ数 in press
3. 書名 第7章<神経・筋> 心窩部不快感と物忘れを訴える高齢者/診療力を上げる! 症例問題集. 臨床雑誌「内科」	

1. 著者名 梶川駿介, 松本理器	4. 発行年 2019年
2. 出版社 株式会社プレジジョン	5. 総ページ数 in press
3. 書名 けいれん. 今日の問診票.	

1. 著者名 宇佐美清英, 菊池隆幸, 松本理器	4. 発行年 2019年
2. 出版社 株式会社 じほう	5. 総ページ数 4(p67-70)
3. 書名 薬剤抵抗性でありながら外科治療適応が考慮されないI/月刊薬事 61(1):	

1. 著者名 濱口敏和, 松本理器	4. 発行年 2019年
2. 出版社 株式会社プレジジョン	5. 総ページ数 in press
3. 書名 薬剤血中濃度(レベチラセタム、ラモトリギン、トピラマート、ガバペン)。今日の間診票。	

1. 著者名 村岡範裕, 松本理器	4. 発行年 2019年
2. 出版社 株式会社プレジジョン	5. 総ページ数 in press
3. 書名 薬剤血中濃度(ゾニサミド)。今日の間診票。	

1. 著者名 武山博文, 松本理器	4. 発行年 2018年
2. 出版社 株式会社 ライフ・サイエンス	5. 総ページ数 4(p225-228)
3. 書名 認知症との併存と鑑別のポイント。 /Geriatric medicine (老年医学)	

1. 著者名 松本理器	4. 発行年 2018年
2. 出版社 医学書院	5. 総ページ数 4(p949-952)
3. 書名 第15章 神経・筋疾患 てんかんの内科治療・今日の治療指針 2018年版-私はこう治療している.	

1. 著者名 吉村元,松本理器	4. 発行年 2018年
2. 出版社 中外医学社	5. 総ページ数 11(p306-316)
3. 書名 III 各種疾患 11. 機能性疾患 1 てんかんの新規治療薬. Annual Review 神経 2018	

1. 著者名 梶川駿介、池田昭夫	4. 発行年 2018年
2. 出版社 メディカルレビュー社	5. 総ページ数 6(p43-48)
3. 書名 第51回てんかん学会学術集会：特別講演1 「Samuel Wiebe先生特別講演：てんかんにおける個別化医療」 聴講記/Epilepsy	

1. 著者名 中谷 光良, 井内 盛遠, 前原 健寿, 池田昭夫	4. 発行年 2018年
2. 出版社 医学書院	5. 総ページ数 15(p339-353)
3. 書名 第4章, Wide-band EEGを用いた焦点診断? グリアとニューロン両者からのアプローチ./ 機能的脳神経外科最新 の動向/脳神経外科	

1. 著者名 十河 正弥, 池田 昭夫	4. 発行年 2018年
2. 出版社 フジメディカル出版	5. 総ページ数 1
3. 書名 抗てんかん薬/向精神薬と高齢者 注意点と副作用をふまえた安全な処方のために/認知症の最新医療	

1. 著者名 村井 智彦, 人見 健文, 竹島 多賀夫, 池田 昭夫	4. 発行年 2018年
2. 出版社 一般社団法人 日本神経生理学会	5. 総ページ数 8(p25-32)
3. 書名 てんかん発作と片頭痛の共通点と相違点・臨床神経生理学の新しい視点から./臨床神経生理学	

1. 著者名 音成 秀一郎	4. 発行年 2018年
2. 出版社 医学書院	5. 総ページ数 1
3. 書名 てんかんの病態と病型/てんかん up to date/臨床検査	

1. 著者名 音成 秀一郎, 池田 昭夫	4. 発行年 2018年
2. 出版社 株式会社 ライフ・サイエンス	5. 総ページ数 7(p208-214)
3. 書名 特集：日常診療で増えてきた高齢者のてんかん：総説 1. 高齢者てんかん, てんかん発作の現状 /Geriatric Medicine (老年医学)	

1. 著者名 池田昭夫	4. 発行年 2018年
2. 出版社 メディカルレビュー社	5. 総ページ数 2(p7-8)
3. 書名 特集、てんかん診療update/Pharma Medica.	

1. 著者名 池田昭夫	4. 発行年 2018年
2. 出版社 株式会社 ライフ・サイエンス	5. 総ページ数 3(p205-207)
3. 書名 特集:日常診療で増えてきた高齢者のてんかん/Geriatric Medicine (老年医学)	

1. 著者名 十川純平、池田昭夫	4. 発行年 2018年
2. 出版社 メディカルレビュー社	5. 総ページ数 8(p509-516)
3. 書名 てんかん/日常診療に活かす診療ガイドラインUP-TO-DATE	

1. 著者名 池田昭夫	4. 発行年 2018年
2. 出版社 北隆館	5. 総ページ数 106
3. 書名 てんかんを巡る最近の話題：小児から高齢者まで/Bio Clinica	

1. 著者名 池田昭夫	4. 発行年 2018年
2. 出版社 北隆館	5. 総ページ数 2(p2018-2019)
3. 書名 総論：てんかんはすべての年齢層に起こる国民病/てんかんを巡る最近の話題：小児から高齢者まで/Bio Clinica	

1. 著者名 金星匡人, 大野行弘, 池田昭夫	4. 発行年 2018年
2. 出版社 先端医学社	5. 総ページ数 16(p1-16)
3. 書名 てんかん発症におけるイオンチャネルおよび受容体の機能異常/ペランパネルによるてんかん治療ストラテジー	

1. 著者名 吉村元, 池田昭夫	4. 発行年 2019年
2. 出版社 日本医事新報社	5. 総ページ数 in press
3. 書名 てんかん/私の治療2019-20年度版, 監修 猿田享男, 北村惣一郎	

1. 著者名 十河正弥, 池田昭夫	4. 発行年 2019年
2. 出版社 日本臨牀社	5. 総ページ数 in press
3. 書名 日本臨牀2019年増刊「医薬品副作用学(第3版)上巻 - 薬剤の安全使用アップデート -	

1. 著者名 池田昭夫, 小林勝哉	4. 発行年 2018年
2. 出版社 日本神経治療学会	5. 総ページ数 4(p17-20)
3. 書名 日本てんかん学会/神経治療を目指す医師のキャリアパス/神経治療学	

1. 著者名 三枝隆博, 池田昭夫	4. 発行年 2018年
2. 出版社 日本医事新報社	5. 総ページ数 2(p56-57)
3. 書名 質疑応答臨床一般 / 法律・雑件、神経内科、てんかん発作への対応、特に使用薬剤は？ / 日本医事新報	

1. 著者名 音成秀一郎, 池田昭夫	4. 発行年 2018年
2. 出版社 ワールドプランニング	5. 総ページ数 2(p103-104)
3. 書名 てんかんの分類と診断, / 老年精神医学雑誌	

1. 著者名 行木孝夫, 田所智, 津田一郎, 國枝武治, 松橋眞生, 松本理器, 池田昭夫	4. 発行年 2019年
2. 出版社 京都大学数理解析研究所	5. 総ページ数 in press
3. 書名 てんかん脳波データと非線形時系列解析 / 数理解析研究所講究録	

1. 著者名 池田昭夫	4. 発行年 2019年
2. 出版社 日本てんかん協会	5. 総ページ数 6(p2-8)
3. 書名 てんかん地域診療連携体制整備事業への取り組み/ 波	

1. 著者名 池田昭夫	4. 発行年 2019年
2. 出版社 エーザイ	5. 総ページ数 7(p8-14)
3. 書名 ガイドラインに基づくてんかん診療/Clinician	

1. 著者名 吉村元, 松本理器, 池田昭夫, 幸原伸夫	4. 発行年 2019年
2. 出版社 一般社団法人 日本神経生理学会	5. 総ページ数 6(p47-52)
3. 書名 高齢者の意識障害の脳波: 特集テーマ: 脳波が主役: 意識障害・神経救急の診断学/臨床神経生理学	

1. 著者名 下竹昭寛, 松本理器, 人見健文, 池田昭夫	4. 発行年 2019年
2. 出版社 一般社団法人 日本神経生理学会	5. 総ページ数 7(40-46)
3. 書名 代謝性・中毒性脳症の脳波、特集テーマ: 脳波が主役: 意識障害・神経救急の診断学/臨床神経生理学	

1. 著者名 濱口敏和, 池田昭夫	4. 発行年 2019年
2. 出版社 科学評論社	5. 総ページ数 in press
3. 書名 抗てんかん薬とGABA作性神経伝達, 抑制性神経伝達物質?基礎と臨床, /神経内科	

1. 著者名 十河正弥, 十川純平, 音成秀一郎, 池田昭夫	4. 発行年 2018年
2. 出版社 エルゼビア・ジャパン株式会社	5. 総ページ数 10(p684-693)
3. 書名 第60章 脳の活動状態: 睡眠, 脳波, てんかん, 精神病, 認知症, /ガイドン生理学 原著第13版	

1. 著者名 村井智彦, 人見健文, 池田昭夫	4. 発行年 2018年
2. 出版社 診断と治療社	5. 総ページ数 4(p75-78)
3. 書名 進行性ミオクローヌステんかん-成人, /希少てんかんの診療指標	

1. 著者名 坂本光弘, 松本理器, 池田昭夫	4. 発行年 2018年
2. 出版社 診断と治療社	5. 総ページ数 4(p146-149)
3. 書名 自己免疫介助性脳炎・脳症, /希少てんかんの診療指標	

1. 著者名 Kobayashi K, Akiyama T, Go C	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 349
3. 書名 Oohashi T, Tsukahara H, Ramirez F, Barber CL, Otsuka F, Eds. Human Pathobiochemistry from Clinical Studies to Molecular Mechanisms.	

1. 著者名 Ikeda A	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Oxford University Press (London)	5. 総ページ数 in press
3. 書名 Subdural EEG in frontal lobe epilepsy, Invasive Studies of the Human Epileptic Brain: Principles and Practice of Invasive Brain Recordings and Stimulation in Epilepsy	

1. 著者名 Matsumoto R, Kunieda T	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Oxford University Press (London)	5. 総ページ数 in press
3. 書名 Chapter 36 Cortico-cortical evoked potential mapping (Section 5: Human Brain Mapping), Invasive Studies of the Human Epileptic Brain: Principles and Practice of Invasive Brain Recordings and Stimulation in Epilepsy	

1. 著者名 村井智彦, 池田昭夫	4. 発行年 2017年
2. 出版社 メディカルレビュー社(東京)	5. 総ページ数 184
3. 書名 コラム 脳波の90年を振り返る, てんかんの教科書	

1. 著者名 池田昭夫	4. 発行年 2017年
2. 出版社 新興医学出版社	5. 総ページ数 141
3. 書名 成人てんかん治療：薬剤と生理学的手法の可能性，てんかんフロンティア，未来へのnew trend	

1. 著者名 松本理器	4. 発行年 2018年
2. 出版社 医学書院	5. 総ページ数 2192
3. 書名 第15章 神経・筋疾患 てんかんの内科治療，今日の治療指針 2018年版-私はこう治療している	

1. 著者名 吉村元，松本理器	4. 発行年 2018年
2. 出版社 中外医学社	5. 総ページ数 344
3. 書名 III 各種疾患 11. 機能性疾患 1 てんかんの新規治療薬，Annual Review 神経 2018	

1. 著者名 坂本光弘，松本理器，池田昭夫	4. 発行年 2017年
2. 出版社 診断と治療社（東京）	5. 総ページ数 259
3. 書名 自己免疫介在性脳炎・脳症，稀少てんかんの診療指標，井上有史他編	

1. 著者名 村井智彦, 人見健文, 池田昭夫	4. 発行年 2017年
2. 出版社 診断と治療社(東京)	5. 総ページ数 259
3. 書名 進行性ミオクローヌステんかんー成人, 稀少てんかんの診療指標, 井上有史他編	

1. 著者名 松本理器	4. 発行年 2017年
2. 出版社 エーザイ	5. 総ページ数 138
3. 書名 認知症とてんかんの鑑別点. 特集: プライマリケア医に知って欲しいてんかん, クリニシアン65	

1. 著者名 井内盛遠, 松本理器	4. 発行年 2017年
2. 出版社 診断と治療社	5. 総ページ数 837-842
3. 書名 てんかんの病態生理, 診断と治療特集 一般臨床医に必要なてんかんの基礎知識とトピックス, 鈴木則宏編	

1. 著者名 人見健文, 池田昭夫	4. 発行年 2017年
2. 出版社 メディカ出版	5. 総ページ数 664
3. 書名 いまさら聞けない 速解! 脳波判読トレーニング 1: 頭蓋頂鋭一過性波をてんかん性放電と間違わないためには?, 脳神経外科速報 27巻6号	

1. 著者名 井上岳司、人見健文、池田昭夫	4. 発行年 2017年
2. 出版社 メディカ出版	5. 総ページ数 704-707
3. 書名 いまさら聞けない 速解！ 脳波判読トレーニング 2： 鋭一過性波 (sharp transient) とてんかん放電 (棘波 spike, 鋭波 sharp wave) の違いは？, 脳神経外科速報 27巻7号	

1. 著者名 矢澤省吾、人見健文、池田昭夫	4. 発行年 2017年
2. 出版社 メディカ出版	5. 総ページ数 822-826
3. 書名 いまさら聞けない 速解！ 脳波判読トレーニング 3： 開頭術後の脳波をよむ際の注意点は？, 脳神経外科速報 27巻8号	

1. 著者名 人見健文、藤井大樹、池田昭夫	4. 発行年 2017年
2. 出版社 メディカ出版	5. 総ページ数 957-962
3. 書名 いまさら聞けない 速解！ 脳波判読トレーニング 4： 側頭葉てんかんのてんかん性活動は必ず側頭部から記録されるか？ 両側大脳半球“南半球”のてんかん性放電, 脳神経外科速報 27巻9号	

1. 著者名 中谷光良, 小林勝哉, 松本理器	4. 発行年 2017年
2. 出版社 中外医学社	5. 総ページ数 900
3. 書名 硬膜下電極記録, Clinical Neuroscience 37(7)	

1. 著者名 村井智彦, 井内盛遠, 池田昭夫	4. 発行年 2017年
2. 出版社 中外医学社	5. 総ページ数 900
3. 書名 直流脳波(DC電位), Clinical Neuroscience 37(7)	

1. 著者名 藤井大樹, 池田昭夫	4. 発行年 2017年
2. 出版社 診断と治療社	5. 総ページ数 123-127
3. 書名 フィコンパR(ペランパネル)、連載企画「注目の新薬」、診断と治療 105; 3	

1. 著者名 矢野育子, 池田昭夫	4. 発行年 2017年
2. 出版社 医薬ジャーナル社	5. 総ページ数 463-470
3. 書名 抗てんかん薬、新薬展望 2017、第III部 治療における最近の新薬の位置付け 薬効別 ~ 新薬の広場 ~ 医薬ジャーナル53,S-1	

1. 著者名 田中智貴, 松本理器, 池田昭夫	4. 発行年 2017年
2. 出版社 日本医師会	5. 総ページ数 347
3. 書名 脳卒中後てんかん、脳血管障害に伴う慢性期症状の管理, 日本医師会雑誌、特別号1、生涯教育シリーズ	

1. 著者名 坂本光弘, 松本理器	4. 発行年 2017年
2. 出版社 科学評論社	5. 総ページ数 546-552
3. 書名 自己免疫性てんかん (特集I てんかん診療のフロントライン), 神経内科 86(5)	

1. 著者名 松本理器, 坂本光弘, 池田昭夫	4. 発行年 2017年
2. 出版社 医学書院	5. 総ページ数 1115-1124
3. 書名 てんかんと自己免疫, BRAIN and NERVE 10月号	

1. 著者名 池田昭夫	4. 発行年 2017年
2. 出版社 日経BP社(東京)	5. 総ページ数 224
3. 書名 極少量のマイスタンでも確実に効果が得られる理由, 日経DIクイズ 精神・神経疾患編 編集 日経ドラッグインフォメーション	

1. 著者名 音成秀一郎, 池田昭夫	4. 発行年 2017年
2. 出版社 日本医師会	5. 総ページ数 890
3. 書名 てんかんに疑う症状と診断, 日本医師会雑誌146巻4号	

1. 著者名 田中智貴、松本理器、池田昭夫	4. 発行年 2017年
2. 出版社 日本医師会	5. 総ページ数 347
3. 書名 脳卒中後てんかん，脳血管障害診療のエッセンス	

1. 著者名 吉村元、池田昭夫	4. 発行年 2017年
2. 出版社 日本医事新報社	5. 総ページ数 1776
3. 書名 てんかん，専門家による私の治療2017-2018年度版	

1. 著者名 三枝隆博、池田昭夫	4. 発行年 2017年
2. 出版社 中山書店	5. 総ページ数 280
3. 書名 てんかん以外の異常波形，臨床神経生理検査入門	

1. 著者名 兼子直，岩城弘隆，廣瀬伸一，石井敦士，山本達也，矢野珠巨，村松一洋，池田昭夫，人見健文，曾良一郎，渡辺雅子，原広一郎，猿渡淳二，山田順子，吉田秀一，小島俊男，金井数明	4. 発行年 2017年
2. 出版社 てんかん治療研究振興財団	5. 総ページ数 12
3. 書名 てんかんの発病防止に関する社会基盤の整備 - 遺伝情報に依拠した治療導入のための体制整備，てんかん治療研究振興財団 研究年報	

1. 著者名 音成秀一郎, 池田昭夫	4. 発行年 2017年
2. 出版社 診断と治療社	5. 総ページ数 943
3. 書名 てんかんの診断と病型分類、一般臨床医に必要なてんかんの基礎知識とトピックス, 診断と治療	

1. 著者名 下竹昭寛, 松本理器	4. 発行年 2017年
2. 出版社 中山書店	5. 総ページ数 280
3. 書名 皮質脳波記録, 臨床神経生理検査入門	

1. 著者名 人見健文, 池田昭夫	4. 発行年 2017年
2. 出版社 メディカ出版, 脳神経外科速報	5. 総ページ数 108
3. 書名 頭蓋頂鋭一過性波をてんかん性放電と間違わないためには?	

1. 著者名 武山博文, 松本理器	4. 発行年 2018年
2. 出版社 株式会社ライフ・サイエンス	5. 総ページ数 225-228
3. 書名 認知症との併存と鑑別のポイント, Geriatric medicine (老年医学)	

1. 著者名 人見健文、池田 昭夫	4. 発行年 2017年
2. 出版社 メディカルレビュー社	5. 総ページ数 64
3. 書名 てんかん臨床の窓から 脳波教育の最前線, Epilepsy	

1. 著者名 人見 健文、池田 昭夫	4. 発行年 2017年
2. 出版社 診断と治療社	5. 総ページ数 176
3. 書名 Benign adult familial myoclonus epielepsy (BAFME): 良性成人型家族性ミオクローヌステんかん, てんかん用語辞典	

1. 著者名 金星匡人、大野行弘、池田昭夫	4. 発行年 2017年
2. 出版社 中山書店	5. 総ページ数 460
3. 書名 分子標的治療、てんかんを中心に、神経疾患治療ストラテジー	

1. 著者名 十河正弥、池田 昭夫	4. 発行年 2017年
2. 出版社 医歯薬出版	5. 総ページ数 100
3. 書名 てんかんの診断・治療の流れを理解しよう, Medical Technology 45巻6号	

1. 著者名 十河正弥、池田 昭夫	4. 発行年 2018年
2. 出版社 エルセビア・ジャパン	5. 総ページ数 1100
3. 書名 脳の活動状態：睡眠、脳波、てんかん、精神病、認知症，ガイトン生理学	

1. 著者名 中谷光良、井内盛遠、前田健寿、池田昭夫	4. 発行年 2018年
2. 出版社 医学書院	5. 総ページ数 362
3. 書名 (4) Wide-band EEG を用いた焦点診断 - グリアとニューロン両者からのアプローチ，機能的脳神経外科最新の動向	

1. 著者名 小林勝哉、人見健文、池田昭夫	4. 発行年 2017年
2. 出版社 メディカ出版	5. 総ページ数 1244-1250
3. 書名 遷延する意識障害の治療方針決定に脳波は必要か？ -非けいれん性てんかん重積について，脳神経外科速報2017年12月号	

1. 著者名 音成秀一郎、池田昭夫	4. 発行年 2017年
2. 出版社 診断と治療社	5. 総ページ数 35-41
3. 書名 てんかんの診断 Vol.105 No.7，診断と治療	

1. 著者名 鶴紀子、田中達也、池田昭夫	4. 発行年 2017年
2. 出版社 新興医学出版社	5. 総ページ数 144
3. 書名 てんかんフロンティア、未来へのnew trend. 成人てんかん治療：薬剤と生理学的手法の可能性	

1. 著者名 音成秀一郎、池田昭夫	4. 発行年 2018年
2. 出版社 株式会社ライフ・サイエンス	5. 総ページ数 208-214
3. 書名 高齢者てんかん、てんかん発作の現状, Geriatric medicine (老年医学)	

1. 著者名 吉村 元	4. 発行年 2017年
2. 出版社 科学評論社、神経内科	5. 総ページ数 644
3. 書名 成人の難治性てんかん	

1. 著者名 音成秀一郎、池田昭夫	4. 発行年 2017年
2. 出版社 日本医師会雑誌	5. 総ページ数 885
3. 書名 【失神の臨床】てんかんに疑う症状と診断	

1. 著者名 池田昭夫、小林勝哉	4. 発行年 2018年
2. 出版社 日本てんかん学会	5. 総ページ数 in press
3. 書名 特集テーマ、変貌する専門医制度：神経治療を目指す医師のキャリアパス 神経治療学2018	

1. 著者名 十川純平、池田昭夫	4. 発行年 2018年
2. 出版社 メディカルレビュー社、門脇孝、小室一成、宮地良樹監修	5. 総ページ数 1064
3. 書名 てんかん、日常診療に活かす診療ガイドラインUP-TO-DATE 2018-2019	

1. 著者名 十川純平、松本理器	4. 発行年 2016年
2. 出版社 中外医学社	5. 総ページ数 62-65 (225)
3. 書名 臨床神経生理	

1. 著者名 大封昌子、松本理器	4. 発行年 2016年
2. 出版社 中外医学社	5. 総ページ数 66-68 (225)
3. 書名 臨床神経生理	

1. 著者名 井上岳司, 池田昭夫	4. 発行年 2016年
2. 出版社 中外医学社	5. 総ページ数 75-78 (225)
3. 書名 臨床神経生理	

1. 著者名 下竹昭寛, 池田昭夫	4. 発行年 2016年
2. 出版社 中外医学社	5. 総ページ数 34-36 (225)
3. 書名 臨床神経生理	

1. 著者名 人見健文, 寺田清人, 池田昭夫	4. 発行年 2016年
2. 出版社 診断と治療社	5. 総ページ数 158-182 (308)
3. 書名 不随意運動の診断と治療 (改訂第2版)	

1. 著者名 塚田剛史, 井上岳司, 池田昭夫	4. 発行年 2016年
2. 出版社 日本医学出版	5. 総ページ数 538-547 (706)
3. 書名 内科診療実践マニュアル第2版	

1. 著者名 藤井大樹, 池田昭夫	4. 発行年 2016年
2. 出版社 日本医学出版	5. 総ページ数 26-29 (706)
3. 書名 内科診療実践マニュアル第2版	

1. 著者名 吉村元, 池田昭夫	4. 発行年 2016年
2. 出版社 日本医事新報社	5. 総ページ数 1(1)
3. 書名 JMEDIJ治療法便覧2016 -私の治療-	

1. 著者名 池田昭夫, 田中達也	4. 発行年 2016年
2. 出版社 南江堂	5. 総ページ数 177-179 (197)
3. 書名 てんかん白書	

1. 著者名 池田昭夫	4. 発行年 2016年
2. 出版社 南江堂	5. 総ページ数 119-121 (197)
3. 書名 てんかん白書	

1. 著者名 田中達也, 池田昭夫	4. 発行年 2016年
2. 出版社 診断と治療社	5. 総ページ数 33-34 (99)
3. 書名 日本てんかん学会50周年記念誌	

1. 著者名 加藤元博, 池田昭夫	4. 発行年 2016年
2. 出版社 診断と治療社	5. 総ページ数 43-44 (99)
3. 書名 日本てんかん学会50周年記念誌	

1. 著者名 Ikeda A.	4. 発行年 2016年
2. 出版社 Oxford University Press, London	5. 総ページ数 印刷中
3. 書名 Invasive Studies of the Human Epileptic Brain: Principles and Practice of Invasive Brain Recordings and Stimulation in Epilepsy: Subdural EEG in frontal lobe epilepsy	

1. 著者名 Matsumoto R, Kunieda T.	4. 発行年 2016年
2. 出版社 Oxford University Press, London	5. 総ページ数 印刷中
3. 書名 Invasive Studies of the Human Epileptic Brain: Principles and Practice of Invasive Brain Recordings and Stimulation in Epilepsy: Chapter 36 Cortico-cortical evoked potential mapping (Section 5: Human Brain Mapping)	

1. 著者名 池田昭夫	4. 発行年 2015年
2. 出版社 日本医学出版	5. 総ページ数 574
3. 書名 内科処方実践マニュアル 改訂第2版：神経疾患、てんかん	

1. 著者名 池田昭夫	4. 発行年 2015年
2. 出版社 医学書院	5. 総ページ数 671
3. 書名 臨床てんかん学：B. 局在論からみたてんかん発作. 第7章てんかん発作の症候学.	

1. 著者名 池田昭夫、赤松直樹、小林勝弘、酒田あゆみ、末永和榮、飛松省三、橋本修治、松浦雅人.	4. 発行年 2015年
2. 出版社 臨床神経生理学会	5. 総ページ数 101
3. 書名 臨床神経生理学：日本臨床神経生理学会ペーパレス脳波の記録・判読指針小委員会：デジタル脳波の記録・判読指針	

1. 著者名 井上岳司、池田昭夫	4. 発行年 2016年
2. 出版社 メディカルレビュー社	5. 総ページ数 232
3. 書名 神経内科外来シリーズ4 てんかん外来： 外来診察の基本的な流れ，鑑別診断.	

1. 著者名 小林勝哉、人見健文、松本理器、池田昭夫	4. 発行年 2016年
2. 出版社 中外医学社	5. 総ページ数 232
3. 書名 Annual Review 2016 神経：てんかんにおけるBorderzone	

1. 著者名 村井智彦、井上岳司、池田昭夫	4. 発行年 2016年
2. 出版社 メディカルレビュー社	5. 総ページ数 807
3. 書名 EBMに基づく脳神経疾患の基本治療指針 第4版：第7章 てんかん 1 包括的な治療指針	

1. 著者名 井上岳司、人見健文	4. 発行年 2015年
2. 出版社 医学書院	5. 総ページ数 671
3. 書名 臨床てんかん学：1. シアリドーシス．I．進行性ミオクローヌステんかん．第11章てんかんおよびてんかん類似症候群	

1. 著者名 井上岳司、人見健文	4. 発行年 2015年
2. 出版社 医学書院	5. 総ページ数 671
3. 書名 臨床てんかん学：2. ゴーシェ病．I．進行性ミオクローヌステんかん．第11章てんかんおよびてんかん類似症候群	

1. 著者名 人見健文、池田昭夫	4. 発行年 2015年
2. 出版社 南江堂	5. 総ページ数 301
3. 書名 神経疾患最新の治療2015-2017：本態性振戦	

1. 著者名 太田 真紀子、中野 智	4. 発行年 2015年
2. 出版社 日本臨床社	5. 総ページ数 887
3. 書名 免疫性神経疾患（チャプター名：その他の免疫性神経疾患 膠原病および類縁疾患に伴う神経筋障害 Susac症候群）	

1. 著者名 石田紗恵子、池田昭夫	4. 発行年 2015年
2. 出版社 医学書院	5. 総ページ数 671
3. 書名 臨床てんかん学：13. さまざまな焦点を伴う家族性部分てんかん．L. 遺伝子変位がてんかんだけでなく脳症も生ずるか，遺伝子変異が脳の形態異常をもたらしそれが間接的にてんかんの原因となる疾患．第11章 てんかんおよびてんかん類似症候群	

1. 著者名 下竹昭寛、松本理器	4. 発行年 2015年
2. 出版社 医学書院	5. 総ページ数 671
3. 書名 臨床てんかん学：5. 頭頂葉てんかん．D. 年齢非依存性焦点性てんかん．第11章てんかんおよびてんかん類似症候群	

1. 著者名 井内盛遠、松本理器	4. 発行年 2015年
2. 出版社 医学書院	5. 総ページ数 671
3. 書名 臨床てんかん学：1. 側頭葉てんかん．D．年齢非依存性焦点性てんかん．第11章てんかんおよびてんかん類似症候群	

1. 著者名 人見健文、池田昭夫	4. 発行年 2015年
2. 出版社 医学書院	5. 総ページ数 671
3. 書名 臨床てんかん学：8. 良性成人型家族性ミオクローヌステんかん．I．進行性ミオクローヌステんかん．第11章てんかんおよびてんかん類似症候群	

1. 著者名 十川純平、人見健文	4. 発行年 2015年
2. 出版社 医学書院	5. 総ページ数 671
3. 書名 臨床てんかん学：7. DRPLA．I．進行性ミオクローヌステんかん．第11章てんかんおよびてんかん類似症候群	

1. 著者名 太田真紀子、人見健文	4. 発行年 2015年
2. 出版社 医学書院	5. 総ページ数 671
3. 書名 臨床てんかん学：4. Lafora病．I．進行性ミオクローヌステんかん．第11章てんかんおよびてんかん類似症候群	

1. 著者名 宇佐美清英、松本理器	4. 発行年 2015年
2. 出版社 医学書院	5. 総ページ数 671
3. 書名 臨床てんかん学：2. 前頭葉てんかん（ジャクソン発作を除く）. D. 年齢非依存性焦点性てんかん. 第11章てんかんおよびてんかん類似症候群	

1. 著者名 小林勝哉、人見健文	4. 発行年 2015年
2. 出版社 医学書院	5. 総ページ数 671
3. 書名 臨床てんかん学：5. セロイドリポフスチン病. I. 進行性ミオクローヌステんかん. 第11章てんかんおよびてんかん類似症候群.	

1. 著者名 小林勝哉、人見健文	4. 発行年 2015年
2. 出版社 医学書院	5. 総ページ数 671
3. 書名 臨床てんかん学：6. Unverricht-Lundborg病. I. 進行性ミオクローヌステんかん. 第11章てんかんおよびてんかん類似症候群.	

1. 著者名 村井智彦、人見健文	4. 発行年 2015年
2. 出版社 医学書院	5. 総ページ数 671
3. 書名 臨床てんかん学：3. 赤色ぼろ線維・ミオクローヌステんかん症候群(MERRF). I. 進行性ミオクローヌステんかん. 第11章てんかんおよびてんかん類似症候群.	

1. 著者名 芝田純也、松本理器	4. 発行年 2015年
2. 出版社 医学書院	5. 総ページ数 671
3. 書名 臨床てんかん学：4. Jackson発作関連てんかん．D．年齢非依存性焦点性てんかん．第11章てんかんおよびてんかん類似症候群．	

1. 著者名 金澤恭子、松本理器	4. 発行年 2015年
2. 出版社 医学書院	5. 総ページ数 671
3. 書名 臨床てんかん学：3. 後頭葉てんかん．D．年齢非依存性焦点性てんかん．第11章てんかんおよびてんかん類似症候群．	

1. 著者名 麓直浩、池田昭夫	4. 発行年 2015年
2. 出版社 医学書院	5. 総ページ数 671
3. 書名 臨床てんかん学：12. 家族性側頭葉てんかん．L. 遺伝子変位がてんかんだけでなく脳症も生ずるか、遺伝子変異が脳の形態異常をもたらすそれが間接的にてんかんの原因となる疾患．第11章てんかんおよびてんかん類似症候群．	

1. 著者名 吉村 元、松本理器	4. 発行年 2016年
2. 出版社 メディカルレビュー社	5. 総ページ数 232
3. 書名 神経内科シリーズ4、てんかん外来：診断に必要な検査．II外来診察の基本的な流れ．	

1. 著者名 人見健文、池田昭夫	4. 発行年 2015年
2. 出版社 診断と治療社	5. 総ページ数 101
3. 書名 デジタル脳波記録・判読の手引き（池田昭夫主編集：松本理器，人見健文副編集）：1記録、第2部指針に基づいた実例提示。	

1. 著者名 十川純平、松本理器	4. 発行年 2016年
2. 出版社 中外医学社	5. 総ページ数 印刷中
3. 書名 ここが知りたい！臨床神経生理：意識障害。	

1. 著者名 大封昌子、松本理器	4. 発行年 2016年
2. 出版社 中外医学社	5. 総ページ数 印刷中
3. 書名 ここが知りたい！臨床神経生理：脳死・脳波。	

1. 著者名 人見健文、寺田清人、池田昭夫	4. 発行年 2016年
2. 出版社 診断と治療社	5. 総ページ数 印刷中
3. 書名 不随意運動の診断と治療 改訂第2版：第9章ミオクローヌス、第1部不随意運動。	

1. 著者名 井上岳司、池田昭夫	4. 発行年 2016年
2. 出版社 中外医学社	5. 総ページ数 印刷中
3. 書名 ここが知りたい！臨床神経生理：脳波．脳波レポート（作成・判読所見）	

1. 著者名 下竹昭寛、池田昭夫	4. 発行年 2016年
2. 出版社 中外医学社	5. 総ページ数 印刷中
3. 書名 ここが知りたい！臨床神経生理：脳波．てんかん 総論	

1. 著者名 兼本浩祐 主編集、池田昭夫ら、副編集．	4. 発行年 2015年
2. 出版社 医学書院	5. 総ページ数 671
3. 書名 臨床てんかん学．	

1. 著者名 Nagamine T, and Matsuhashi M.	4. 発行年 2016年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 330
3. 書名 Clinical Applications of Magnetoencephalography Part II: Motor System 2. Basic Functions and Clinical Applications	

〔産業財産権〕

[その他]

京都大学大学院医学研究科てんかん・運動異常生理学講座
<http://epilepsy.med.kyoto-u.ac.jp/research>
 京都大学大学院医学研究科てんかん・運動異常生理学講座 業績
<http://epilepsy.med.kyoto-u.ac.jp/results>
 てんかん・運動異常生理学講座 京都大学 -> 業績
<http://epilepsy.med.kyoto-u.ac.jp/results>
 京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座臨床神経学(神経内科) -> 研究紹介 -> 神経生理学
http://www.kuhp.kyoto-u.ac.jp/~neurology/laboratory/lab_3_5.htm
 京都大学大学院医学研究科てんかん・運動異常生理学講座 研究成果(和文)
<http://epilepsy.med.kyoto-u.ac.jp/research>
 京都大学大学院医学研究科てんかん・運動異常生理学講座 研究成果(英文)
http://epilepsy.med.kyoto-u.ac.jp/research_en

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	松本 理器 (Matsumoto Riki) (00378754)	神戸大学・医学研究科・教授 (14501)	
研究分担者	長峯 隆 (Nagamine Takashi) (10231490)	札幌医科大学・医学部・教授 (20101)	
研究分担者	菊池 隆幸 (Kikuchi Takayuki) (40625084)	京都大学・医学研究科・助教 (14301)	
研究分担者	小林 勝弘 (Kobayashi Katsuhiro) (60273984)	岡山大学・医歯薬学総合研究科・教授 (15301)	
研究分担者	國枝 武治 (Kunieda Takeharu) (60609931)	愛媛大学・医学系研究科・教授 (16301)	

